

第6次江南市総合計画に係る市民意向調査  
報告書

平成28年10月

江南市

## 目 次

1 調査概要 .....	1
2 調査結果 .....	2
2.1 回答者の属性 .....	2
2.1.1 性別 .....	2
2.1.2 年齢構成 .....	2
2.1.3 居住地域 .....	3
2.1.4 同居家族 .....	3
2.1.5 職業 .....	5
2.1.6 居住期間 .....	5
2.2 定住意識 .....	6
2.2.1 住みやすさ .....	6
2.2.2 定住意向 .....	6
2.2.3 転居理由 .....	7
2.3 江南市の将来の姿について .....	11
2.3.1 経済発展のあり方について .....	11
2.3.2 働き続けられる環境づくりのあり方について .....	14
2.3.3 江南市の公共サービスのあり方について .....	17
2.3.4 江南市のまちづくりのあり方について .....	20
2.3.5 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて .....	23
2.4 江南市の取り組みに関する満足度と重要度について .....	41
2.4.1 現状の満足度・今後の重要度の分析 .....	41
2.4.2 分析結果 .....	54
2.5 個別施策について .....	56
2.5.1 シティプロモーションについて .....	56
2.5.2 公共施設のあり方について .....	63
2.6 個別計画の中間見直しに関する調査 .....	67
2.6.1 男女共同参画について .....	67
2.6.2 生涯学習について .....	71
2.7 江南市を魅力的なまちにするためのアイデア等について .....	77
3 調査のまとめ .....	81
巻末資料：調査票 .....	85

# 1 調査概要

## ■ 目的

本調査は、第6次総合計画策定の基礎資料とするため、広く市民が考える「江南市の現状と将来のあるべき姿」を把握することを目的に実施しました。

## ■ 調査方法

調査対象	江南市に居住する満18歳以上の方から、無作為抽出した3,000人を対象
調査区域	市内全域
配布回収方法	郵送配布・回収
調査時期	2016年4月8日（金）～2016年4月28日（木）

## ■ 配布回収状況

配布数	回収数	回収率	有効回答	有効回答率
3,000票	1,212票	40.4%	1,211票	99.9%

## ■ 設問の構成

あなた自身のこと	性別／年齢／居住地域（小学校区）／同居家族の人数／同居している人／勤務形態／江南市の居住期間
居住に関する考え	住みやすさ／居住意向／市外に移りたい（移る）理由
今後の江南市のあり方	経済発展のあり方／働き続けられる環境づくりのあり方／公共サービスのあり方／まちづくりのあり方／市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて
満足度と重要度	江南市の取り組み（46項目）に関する満足度と重要度
個別の施策	シティプロモーションについて／公共施設のあり方
個別計画の中間見直しのための調査	男女共同参画について／生涯学習について
自由記述	江南市を魅力的なまちにするためのアイデア等

## ■ 表・グラフ等の見方

- ・表・グラフ中の構成比（％）は、小数第2位を四捨五入して表示しているため、合計が100％にはならないことがあります。
- ・複数回答式の設問の場合、回答割合は回答者数を分母として算出しています。  
そのため、選択肢ごとの回答の割合を合計した場合、100％を超える場合があります。
- ・設問や選択肢は、実際の調査票のものを要約して標記してある場合があります。
- ・性別や年齢などの属性別で特徴が現れているものについて、クロス分析<sup>\*1</sup>を行っているものがあります。  
（\*1：クロス分析とは、設問の回答票を属性別に集計・分析を行うことを言います。）

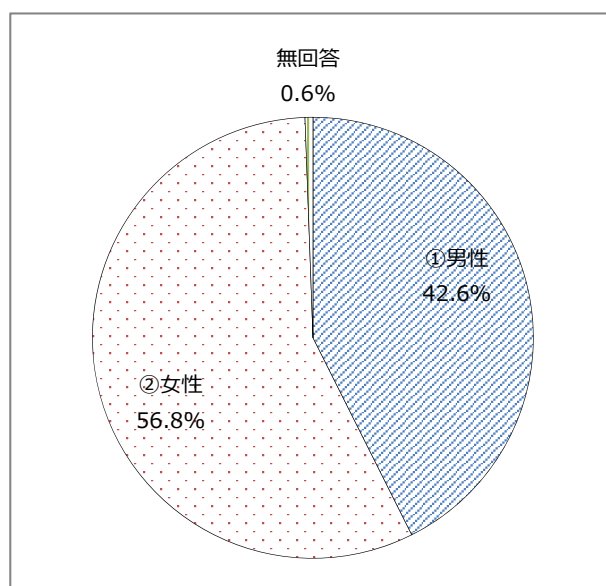
## 2 調査結果

### 2.1 回答者の属性

#### 2.1.1 性別

回答者の性別は、「①男性」42.6%、「②女性」56.8%となっており、女性の割合がやや多くなっています。

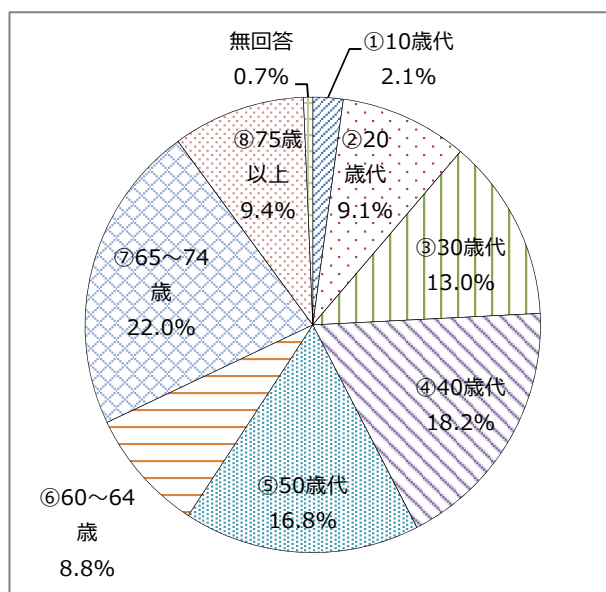
	回答数	構成比
①男性	516	42.6%
②女性	688	56.8%
無回答	7	0.6%
合計	1,211	100.0%



#### 2.1.2 年齢構成

回答者の年齢構成は、「⑦65歳～74歳」の割合が一番多く 22.0%、次いで「④40歳代」の 18.2%、「⑤50歳代」の 16.8%の順となっています。

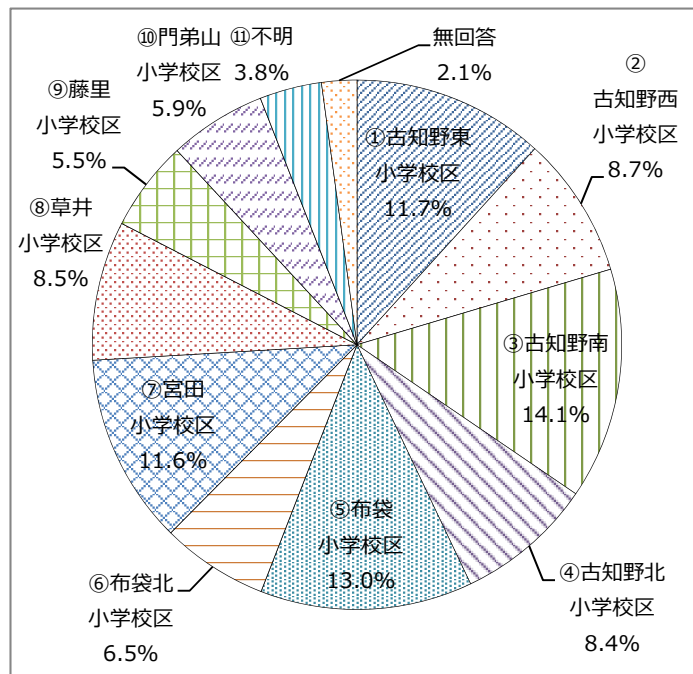
	回答数	構成比
①10歳代	26	2.1%
②20歳代	110	9.1%
③30歳代	157	13.0%
④40歳代	221	18.2%
⑤50歳代	203	16.8%
⑥60～64歳	106	8.8%
⑦65～74歳	266	22.0%
⑧75歳以上	114	9.4%
無回答	8	0.7%
合計	1,211	100.0%



### 2.1.3 居住地域

回答者の居住地域は、「③古知野南小学校区」の割合が一番多く 14.1%、次いで「⑤布袋小学校区」が 13.0%になっています。

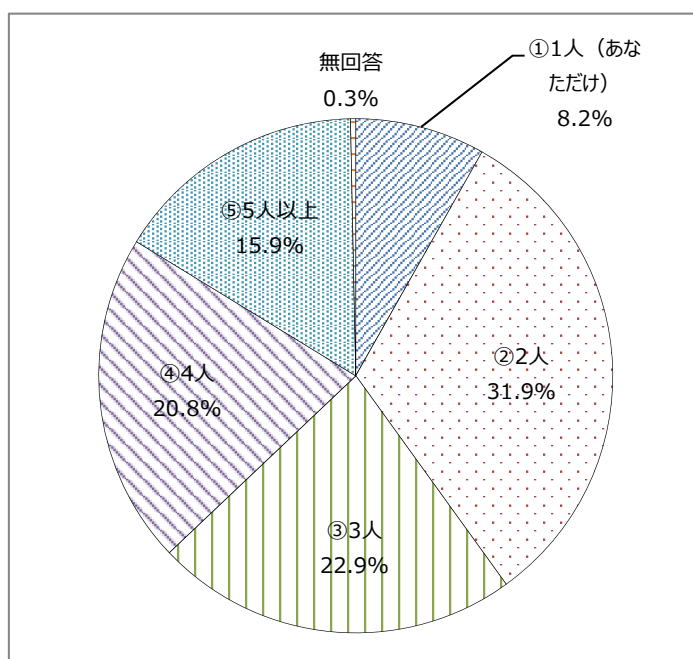
	回答数	構成比
①古知野東小学校区	142	11.7%
②古知野西小学校区	105	8.7%
③古知野南小学校区	171	14.1%
④古知野北小学校区	102	8.4%
⑤布袋小学校区	157	13.0%
⑥布袋北小学校区	79	6.5%
⑦宮田小学校区	141	11.6%
⑧草井小学校区	103	8.5%
⑨藤里小学校区	67	5.5%
⑩門弟山小学校区	72	5.9%
⑪不明	46	3.8%
無回答	26	2.1%
合計	1,211	100.0%



### 2.1.4 同居家族

回答者の同居家族の人数は、「② 2人」が最も多く、次いで「③ 3人」、「④ 4人」の順となっています。「① 1人（あなただけ）」の回答数が最も少なくなっています。また、同居家族の構成では、「①就学前の子ども」が最も多く、次いで「②小・中学生の子ども」、「⑥その他」の順となっています。

	回答数	構成比
①1人（あなただけ）	99	8.2%
②2人	386	31.9%
③3人	277	22.9%
④4人	252	20.8%
⑤5人以上	193	15.9%
無回答	4	0.3%
合計	1,211	100.0%

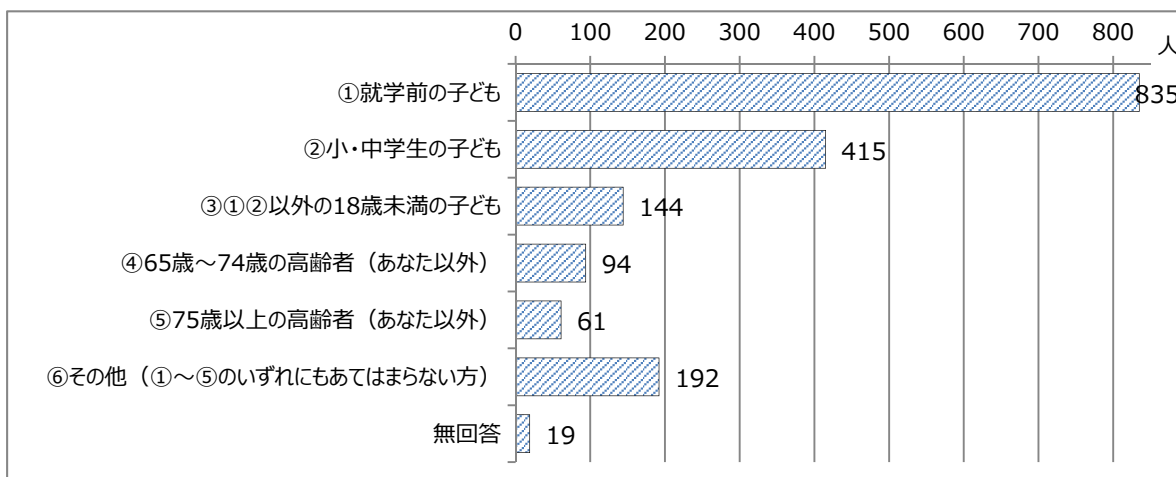


## 同居家族構成(複数回答可)

(同居家族の人数が「2人」以上の回答)

	回答数	構成比
①就学前の子ども	835	75.4%
②小・中学生の子ども	415	37.5%
③①②以外の18歳未満の子ども	144	13.0%
④65歳～74歳の高齢者(あなた以外)	94	8.5%
⑤75歳以上の高齢者(あなた以外)	61	5.5%
⑥その他(①～⑤のいずれにもあてはまらない方)	192	17.3%
無回答	19	1.7%

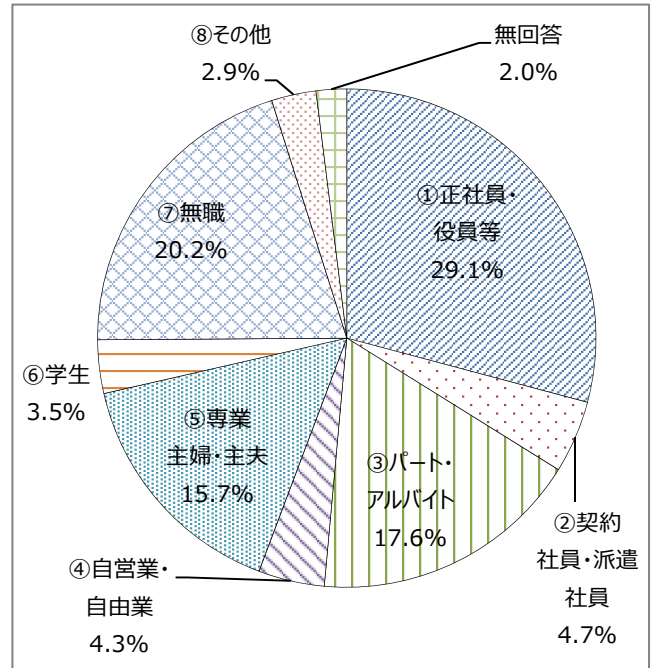
(回答者数 = 1,108)



## 2.1.5 職業

回答者の職業は、「①正社員・役員等」の方の割合が最も多く29.1%で、次いで「⑦無職」が20.2%、「③パート・アルバイト」が17.6%の順となっています。

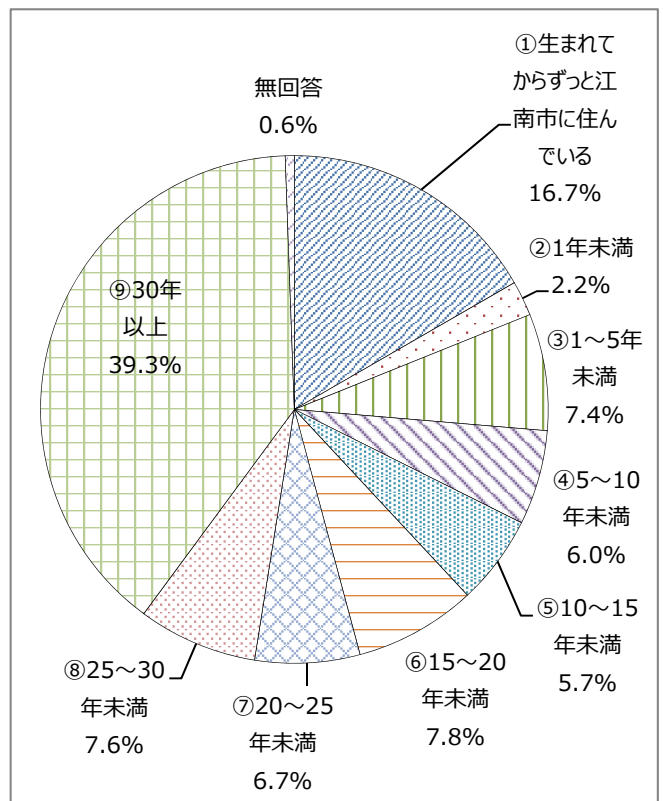
	回答数	構成比
①正社員・役員等	353	29.1%
②契約社員・派遣社員	57	4.7%
③パート・アルバイト	213	17.6%
④自営業・自由業	52	4.3%
⑤専業主婦・主夫	190	15.7%
⑥学生	42	3.5%
⑦無職	245	20.2%
⑧その他	35	2.9%
無回答	24	2.0%
合計	1,211	100.0%



## 2.1.6 居住期間

回答者の通算居住期間は、「⑨30年以上」の割合が39.3%と最も多くなっています。次いで、「①生まれてからずっと江南市に住んでいる」が16.7%となっています。

	回答数	構成比
①生まれてからずっと江南市に住んでいる	202	16.7%
②1年未満	27	2.2%
③1年以上5年未満	90	7.4%
④5年以上10年未満	73	6.0%
⑤10年以上15年未満	69	5.7%
⑥15年以上20年未満	94	7.8%
⑦20年以上25年未満	81	6.7%
⑧25年以上30年未満	92	7.6%
⑨30年以上	476	39.3%
無回答	7	0.6%
合計	1,211	100.0%

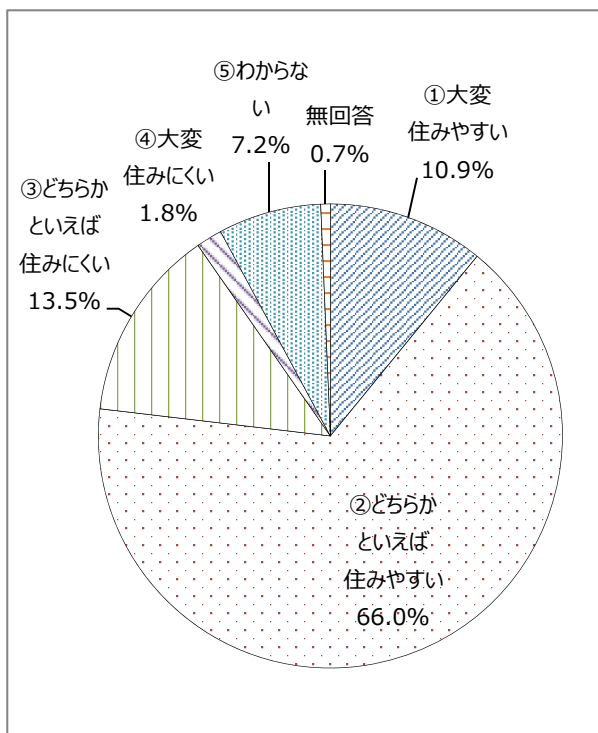


## 2.2 定住意識

### 2.2.1 住みやすさ

住みやすさについては、「①大変住みやすい」と「②どちらかといえば住みやすい」との回答を合わせると、76.9%となっています。

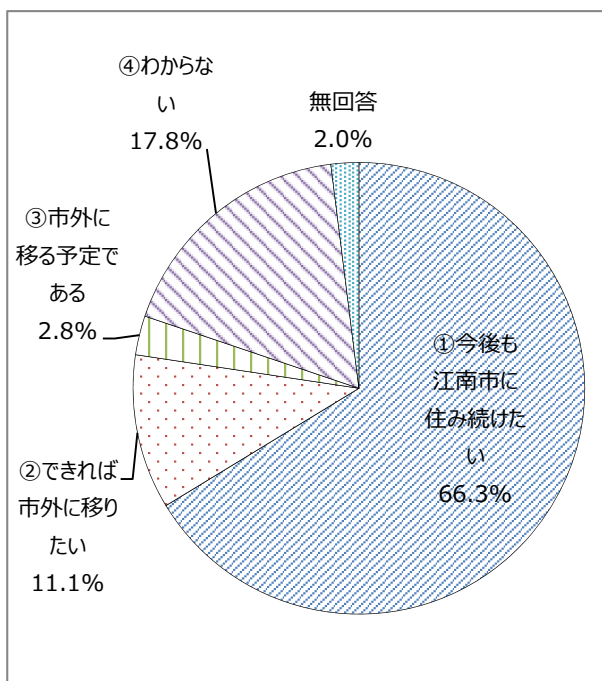
	回答数	構成比
①大変住みやすい	132	10.9%
②どちらかといえば住みやすい	799	66.0%
③どちらかといえば住みにくい	163	13.5%
④大変住みにくい	22	1.8%
⑤わからない	87	7.2%
無回答	8	0.7%
合計	1,211	100.0%



### 2.2.2 定住意向

定住意向については、「①今後も江南市に住み続けたい」との意向が 66.3%と高く、次いで「④わからない」17.8%、「②できれば市外に移りたい」11.1%となっています。

	回答数	構成比
①今後も江南市に住み続けたい	803	66.3%
②できれば市外に移りたい	134	11.1%
③市外に移る予定である	34	2.8%
④わからない	216	17.8%
無回答	24	2.0%
合計	1,211	100.0%



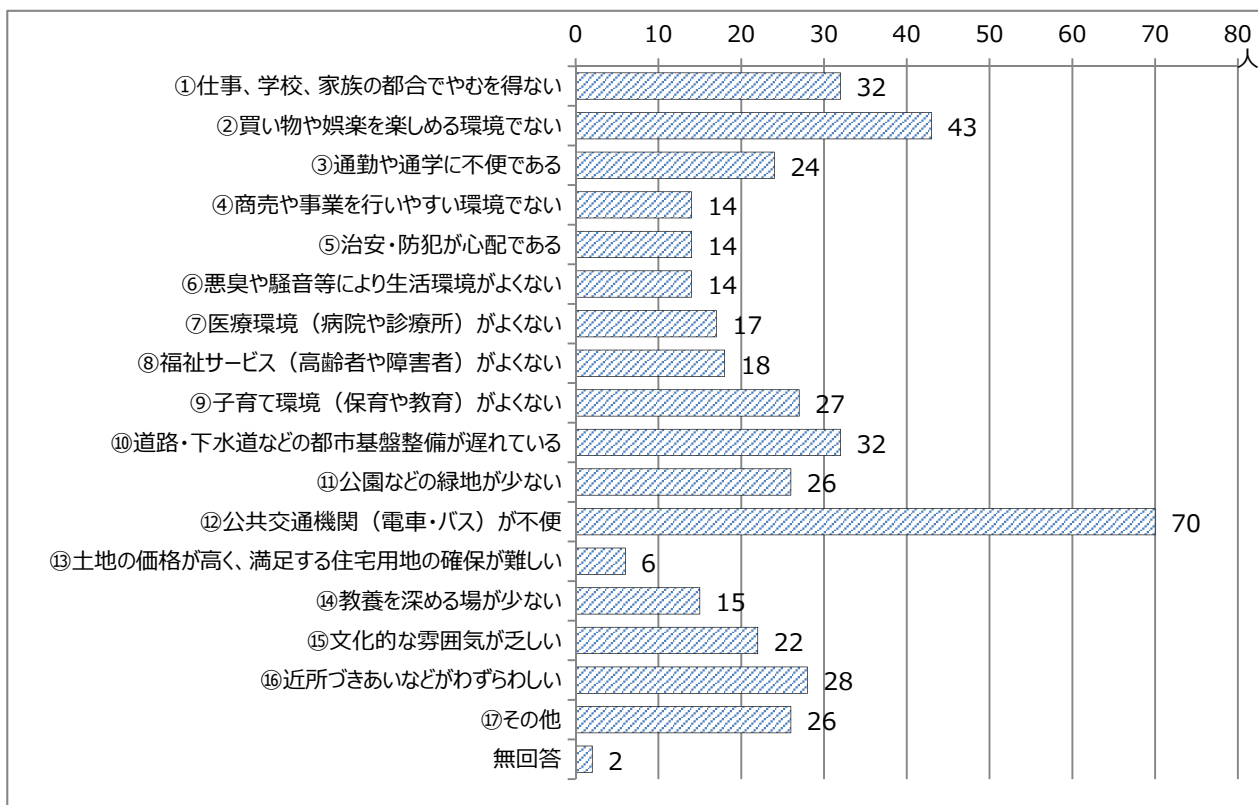


### 2.2.3 転居理由

定住意向で「②できれば市外へ移りたい」または「③市外に移る予定である」を選択した 168 人の転居理由は、「⑫公共交通機関（電車・バス）が不便」の回答が一番多く 70 人、次いで「②買い物や娯楽を楽しめる環境でない」が 43 人、「①仕事、学校、家族の都合でやむを得ない」、「⑩道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている」がともに 32 人の順となっています。

（3 つまで選択可）

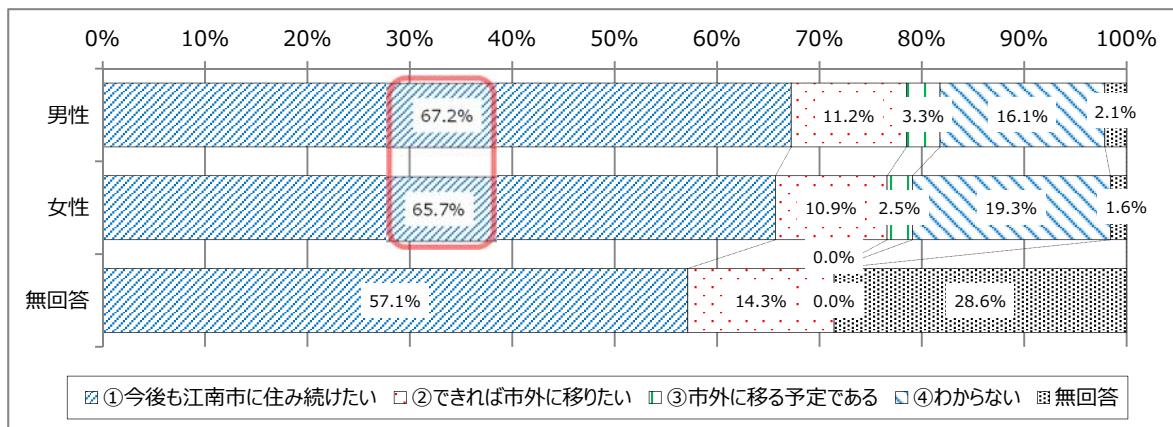
	回答数	構成比
①仕事、学校、家族の都合でやむを得ない	32	19.0%
②買い物や娯楽を楽しめる環境でない	43	25.6%
③通勤や通学に不便である	24	14.3%
④商売や事業を行いやすい環境でない	14	8.3%
⑤治安・防犯が心配である	14	8.3%
⑥悪臭や騒音等により生活環境がよくない	14	8.3%
⑦医療環境（病院や診療所）がよくない	17	10.1%
⑧福祉サービス（高齢者や障害者）がよくない	18	10.7%
⑨子育て環境（保育や教育）がよくない	27	16.1%
⑩道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている	32	19.0%
⑪公園などの緑地が少ない	26	15.5%
⑫公共交通機関（電車・バス）が不便	70	41.7%
⑬土地の価格が高く、満足する住宅用地の確保が難しい	6	3.6%
⑭教養を深める場が少ない	15	8.9%
⑮文化的な雰囲気乏しい	22	13.1%
⑯近所づきあいなどがわずらわしい	28	16.7%
⑰その他	26	15.5%
無回答	2	1.2%
合計	168	



◆クロス分析

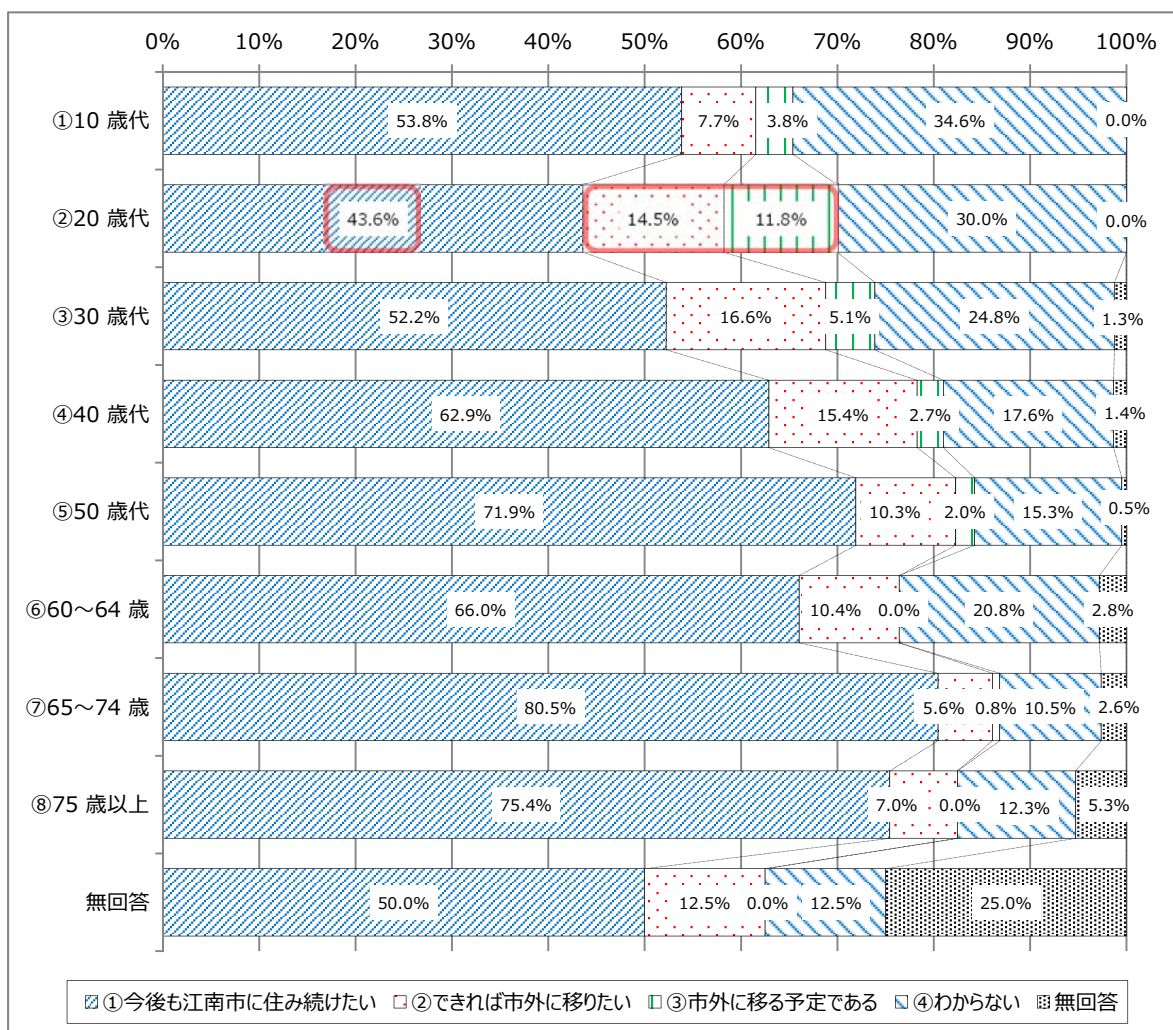
①性別

居住意向を性別で見ると、性別間での差異は特になく、男女ともに「①今後も江南市に住み続けたい」が65～67%程度で、「②できれば市外に移りたい」は10%程度となっています。



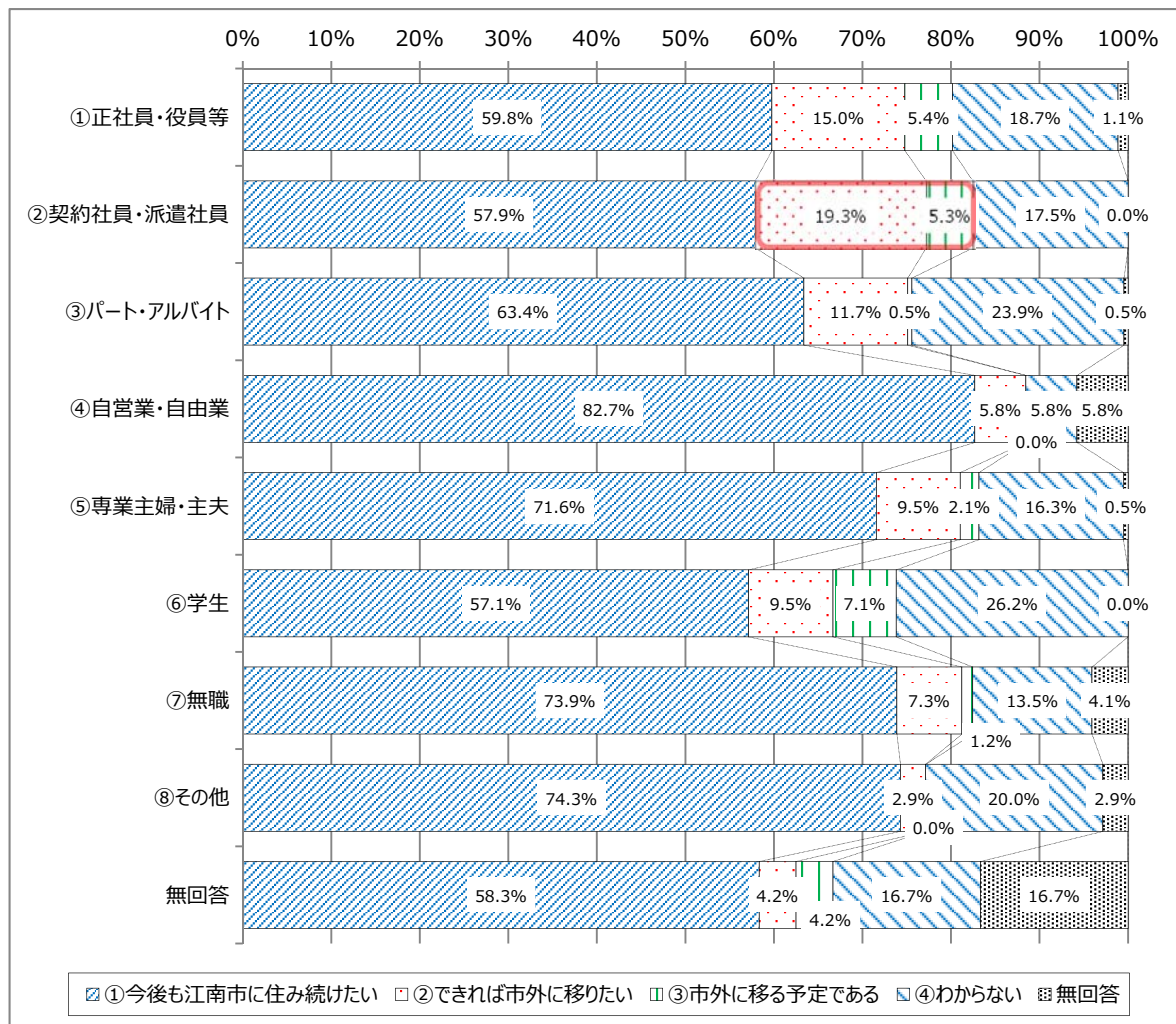
②年齢別

居住意向を年齢別に見ると、20歳代が「①今後も江南市に住み続けたい」が50%を下回る結果となっており、「②できれば市外に移りたい」、「③市外に移る予定である」が、それぞれ14.5%、11.8%であり、合計すると26.3%が転出意向を示しており、他の年齢層に比べ高くなっています。



### ③職業別

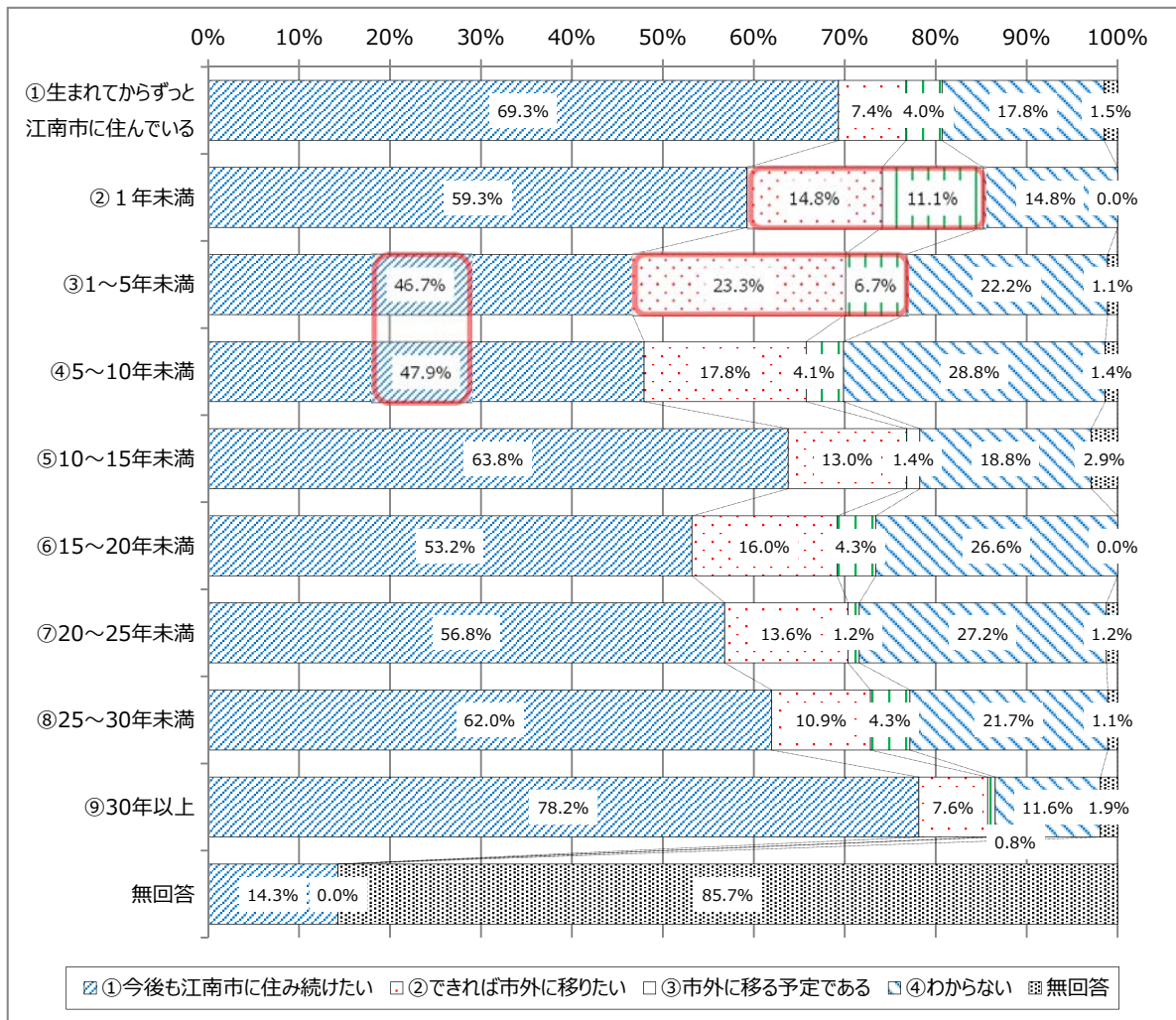
職業別で見ると「契約社員・派遣社員」が、「②できれば市外に移りたい」が 19.3%と最も多くなっています。「③市外に移る予定である」の 5.3%と合計すると 24.6%が転出意向を示しており、他の職業に比べて高くなっています。



#### ④居住期間別

居住意向を居住期間別で見ると、「①今後も江南市に住み続けたい」が50%を下回っているのは、居住期間が1～5年未満の方（46.7%）、5～10年未満の方（47.9%）となっています。

また、「②できれば市外に移りたい」、「③市外に移る予定である」が最も多いのは、1～5年未満の30%（23.3%+6.7%）、次いで1年未満の25.9%（14.8%+11.1%）の順となっており、この居住期間の転出意向が他に比べて高くなっています。



## 2.3 江南市の将来の姿について

### 2.3.1 経済発展のあり方について

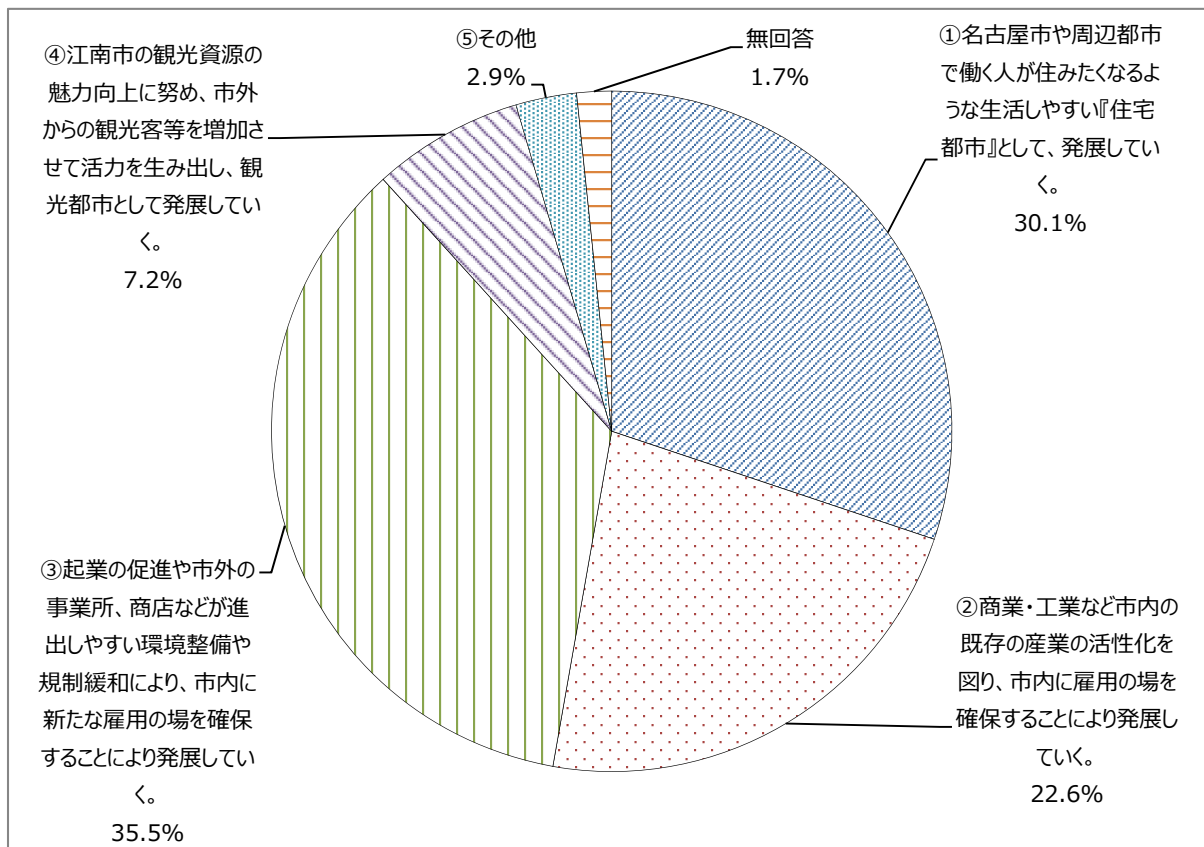
江南市は、市外への通勤・通学者が多く、昼間人口が夜間人口に比べ少ないという特色があります。

また、市内の産業経済は横ばいの状況にあり、納税義務者一人あたりの課税所得も減少傾向にあります。このような地域経済の縮小を克服し、地方創生に向けた地域の自立が求められています。

こうした状況下における江南市の経済発展のあり方についての意向は、最も多いのが「③起業の促進や市外の事業所、商店などが進出しやすい環境整備や規制緩和により、市内に新たな雇用の場を確保することにより発展していく。」の35.5%、次いで、「①名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい『住宅都市』として、発展していく。」が30.1%となっています。

一方、最も少ない回答は、その他、無回答を除き、「④江南市の観光資源の魅力向上に努め、市外からの観光客等を増加させて活力を生み出し、観光都市として発展していく。」の7.2%となっています。

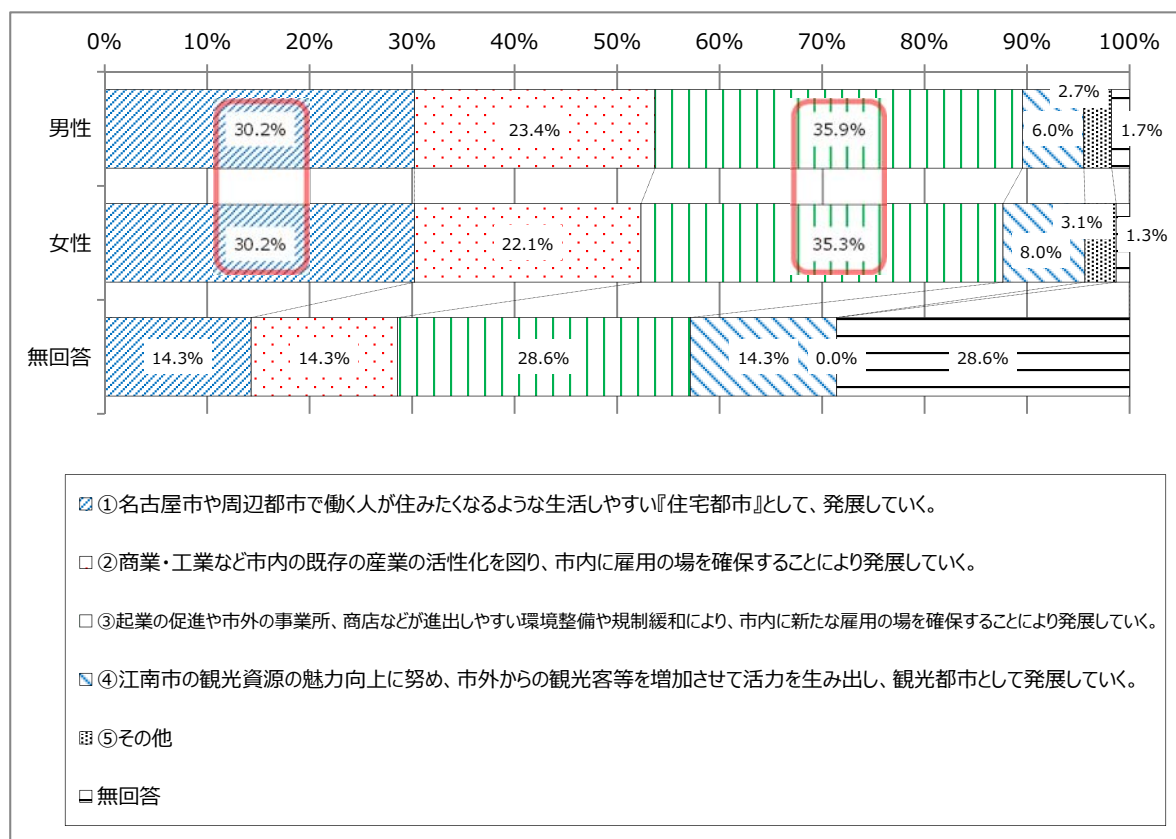
	回答数	構成比
①名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい『住宅都市』として、発展していく。	365	30.1%
②商業・工業など市内の既存の産業の活性化を図り、市内に雇用の場を確保することにより発展していく。	274	22.6%
③起業の促進や市外の事業所、商店などが進出しやすい環境整備や規制緩和により、市内に新たな雇用の場を確保することにより発展していく。	430	35.5%
④江南市の観光資源の魅力向上に努め、市外からの観光客等を増加させて活力を生み出し、観光都市として発展していく。	87	7.2%
⑤その他	35	2.9%
無回答	20	1.7%
合計	1,211	100.0%



◆クロス分析

①性別

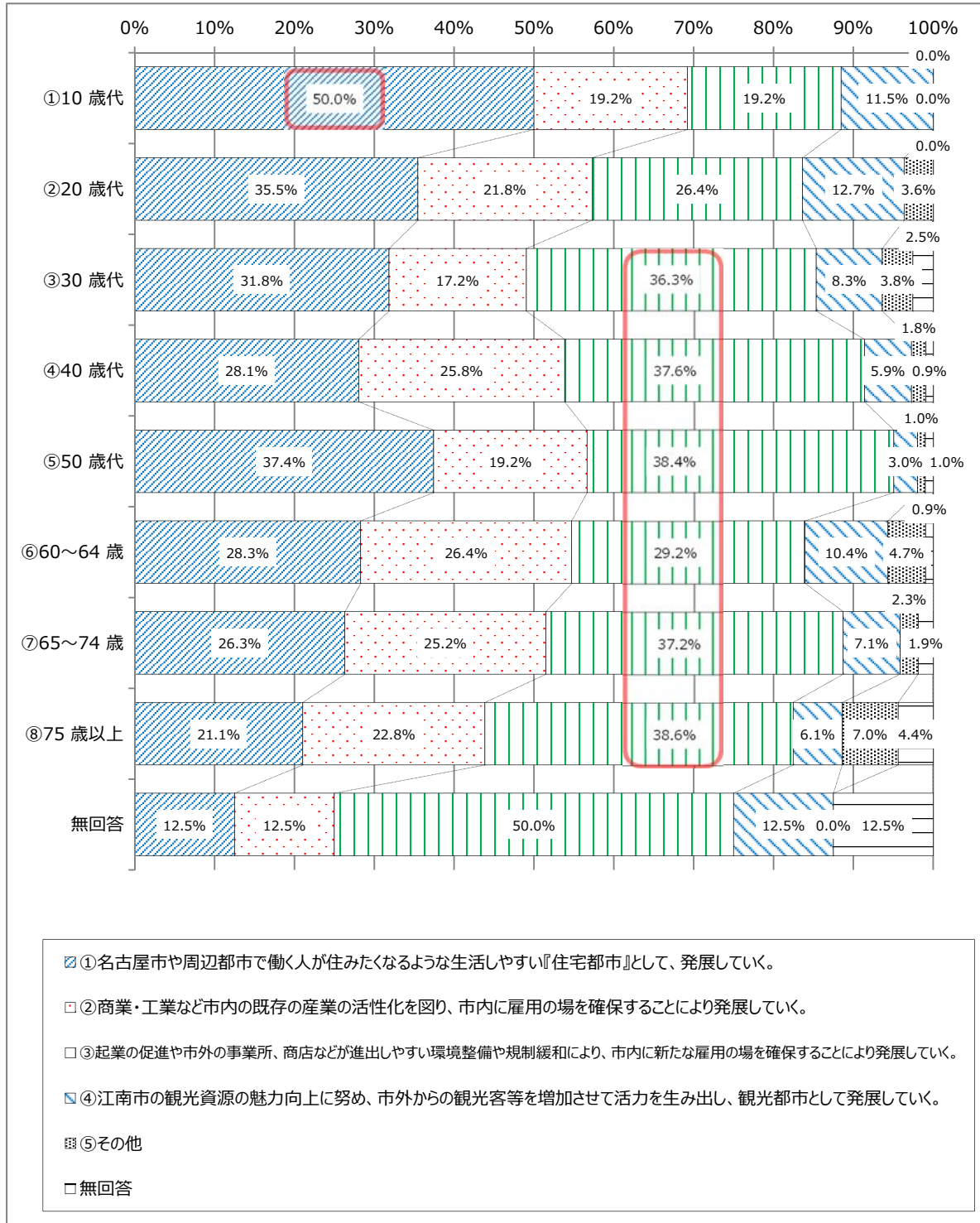
江南市の経済発展のあり方についての意向を性別で見ると、男女とも大きな差異はありません。最も多かったのは、「③起業の促進や市外の事業所、商店などが進出しやすい環境整備や規制緩和により、市内に新たな雇用の場を確保することにより発展していく。」が約35%程度で、次いで「①名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい『住宅都市』として、発展していく。」の約30%となっています。



②年齢別

江南市の経済発展のあり方についての意向を年齢別で見ると10歳代では、「①名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい『住宅都市』として、発展していく。」が50.0%と最も多くなっています。

30歳代以上では、「③起業の促進や市外の事業所、商店などが進出しやすい環境整備や規制緩和により、市内に新たな雇用の場を確保することにより発展していく。」が概ね30%台と最も多くなっています。

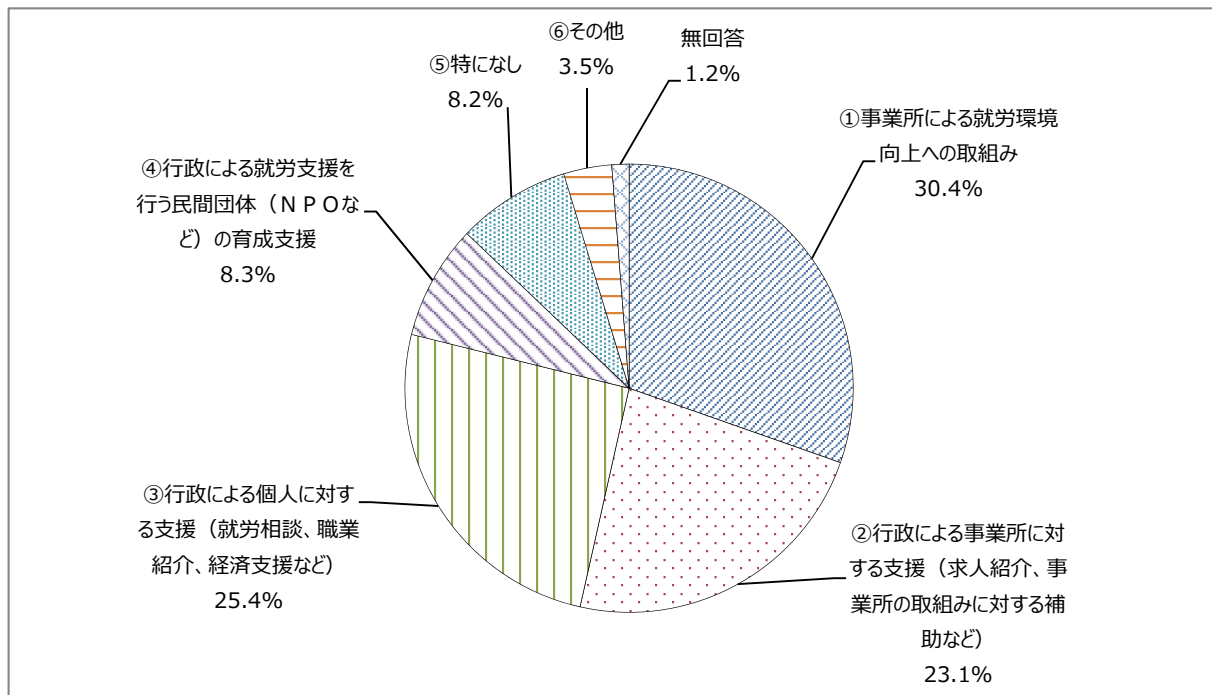


### 2.3.2 働き続けられる環境づくりのあり方について

ライフスタイルの多様化が進み、柔軟な働き方が求められ、子育て世代の働きやすさ、介護のための離職の防止、高齢者の活躍の場の確保などの環境整備の必要性が高まっています。

こうした状況下における江南市の就労環境のあり方についての意向は、最も多いのが「①事業所による就労環境向上への取組み」の 30.4%、次いで、「③行政による個人に対する支援（就労相談、職業紹介、経済支援など）」が 25.4%となっています。一方、最も少ない回答は、その他、無回答、特になしを除き、「④行政による就労支援を行う民間団体（NPOなど）の育成支援」の 8.3%となっています。

	回答数	構成比
①事業所による就労環境向上への取組み	368	30.4%
②行政による事業所に対する支援（求人紹介、事業所の取組みに対する補助など）	280	23.1%
③行政による個人に対する支援（就労相談、職業紹介、経済支援など）	307	25.4%
④行政による就労支援を行う民間団体（NPOなど）の育成支援	100	8.3%
⑤特になし	99	8.2%
⑥その他	42	3.5%
無回答	15	1.2%
合計	1,211	100.0%

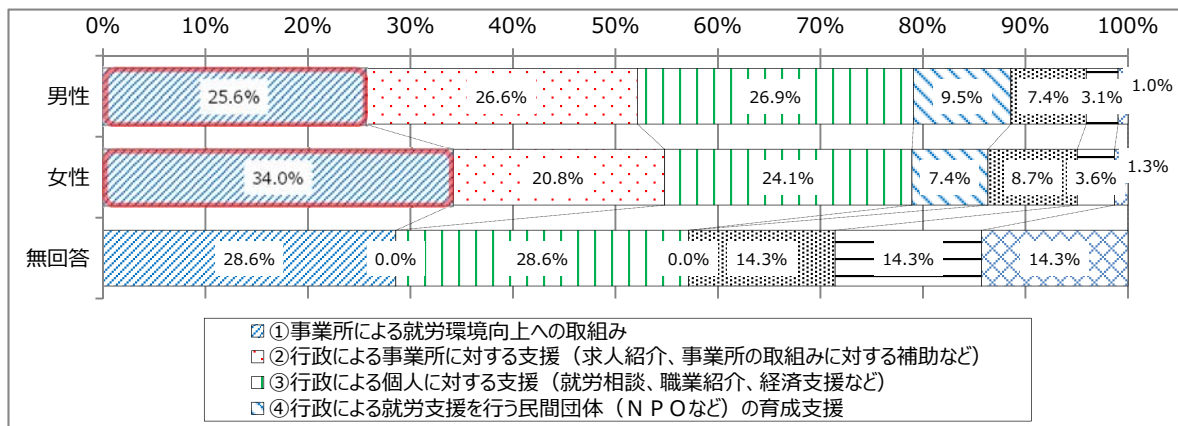




◆クロス分析

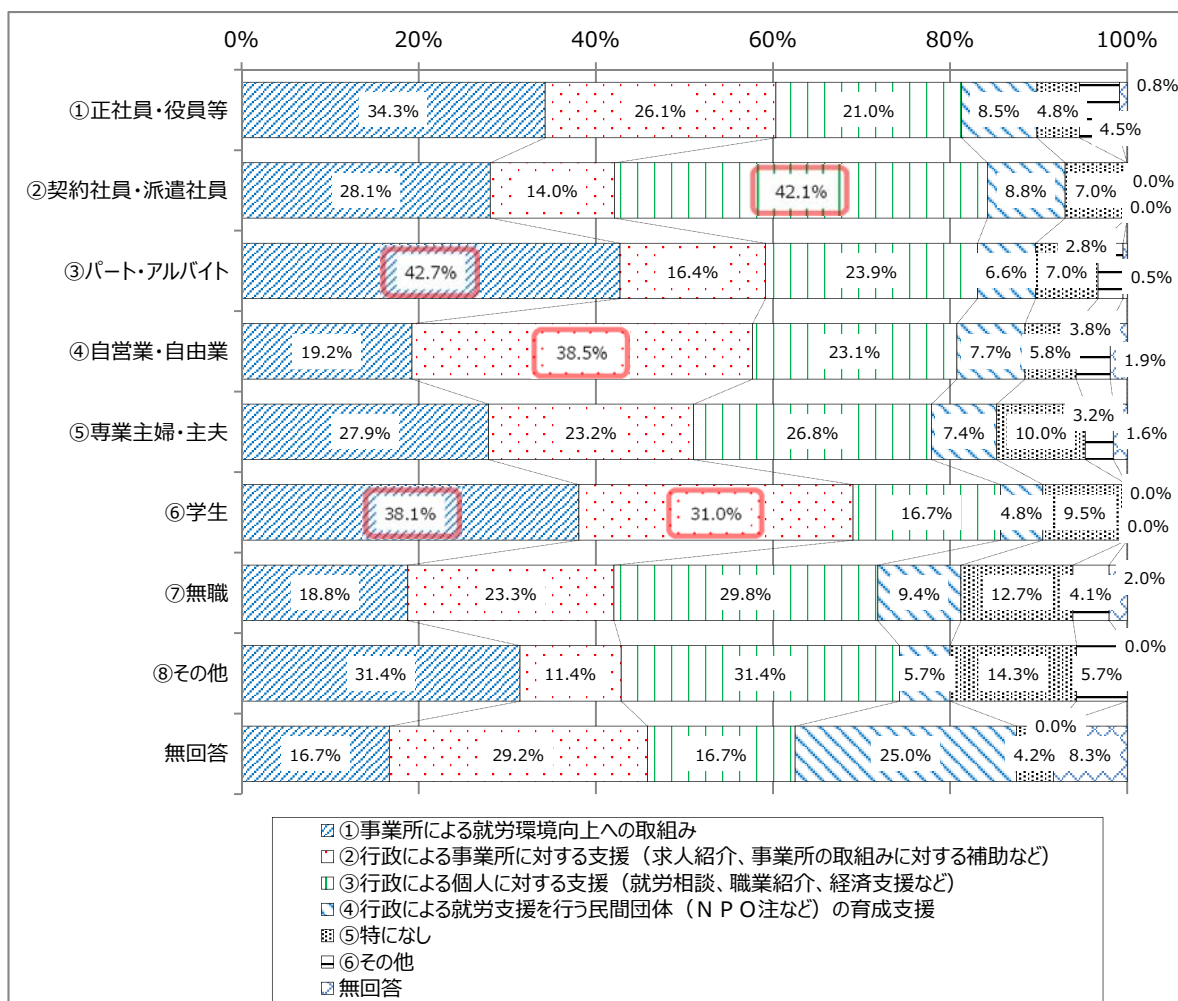
①性別

就労環境のあり方についての意向を性別で見ると、女性は、「①事業所による就労環境向上への取組み」を求める傾向が見られ、男性 25.6%に比べ、女性 34.0%と約 8 ポイント程度上回っています。



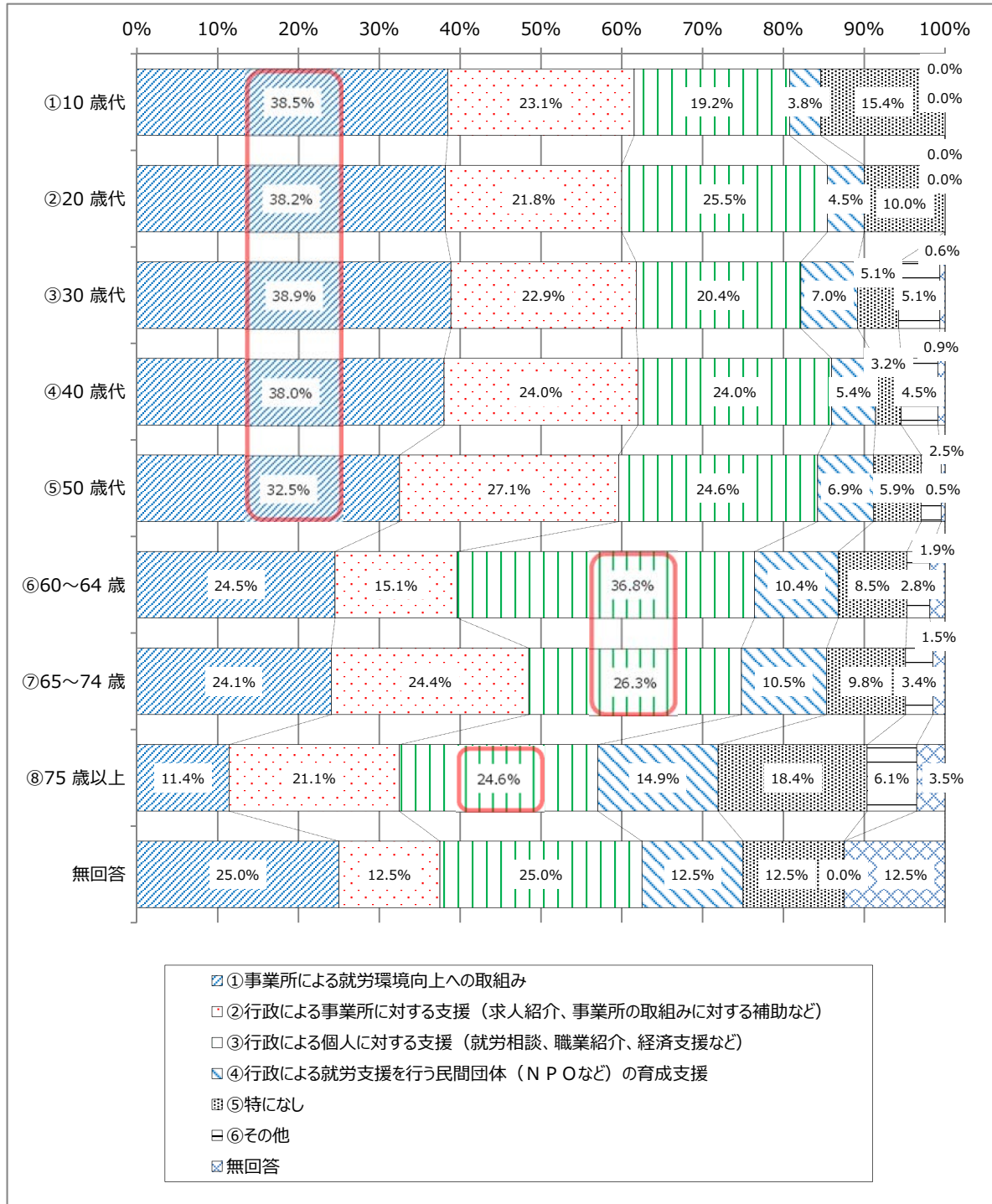
②職業別

就労環境のあり方についての意向を職業別で見ると、契約社員・派遣社員では、他の職業に比べ「③行政による個人に対する支援」を求める傾向が見られ、パート・アルバイトや学生は、「①事業所による就労環境向上への取組み」を、自営業・自由業や学生は「②行政による事業所に対する支援」を求める傾向が見られます。



### ③年齢別

就労環境のあり方についての意向を年齢別で見ると、10歳代～50歳代までは「①事業所による就労環境向上への取組み」が最も多くなっていますが、定年を迎える60歳以上は、「③行政による個人に対する支援（就労相談、職業紹介、経済支援など）」が最も多くなっています。

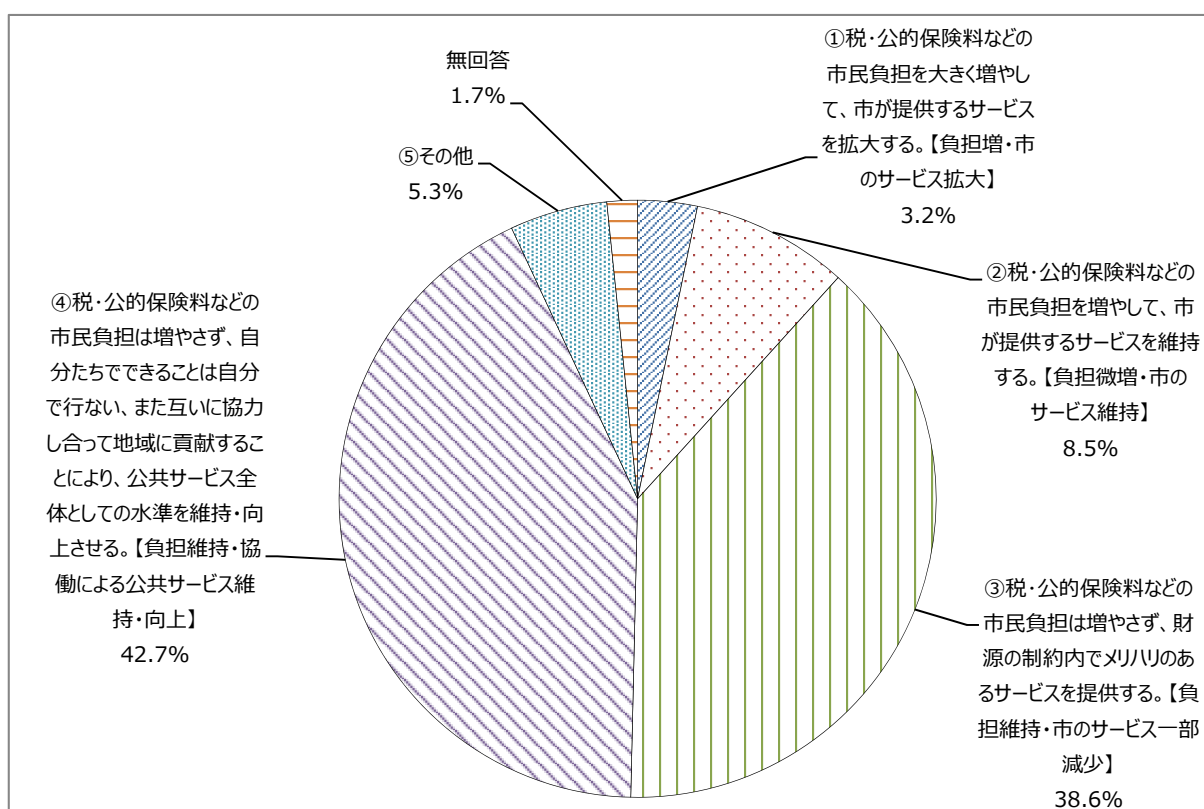


### 2.3.3 江南市の公共サービスのあり方について

今後、人口減少・少子高齢化が一層進展する社会を迎えることになると、増加する高齢世代を、減少する若い世代で支えていくことが必要となります。このことは、「税や公的保険料を負担する人が少なくなる一方で、税などでまかなわれる公共サービスを必要とする人が増える」ことを意味しています。

こうした状況下における江南市の公共サービスのあり方についての意向は、最も多いのが「④【負担維持・協働による公共サービス維持・向上】」の42.7%、次いで、「③【負担維持・市のサービス一部減少】」が38.6%となっています。一方、最も少ない回答は、その他、無回答を除き、「【負担増・市のサービス拡大】」の3.2%となっています。

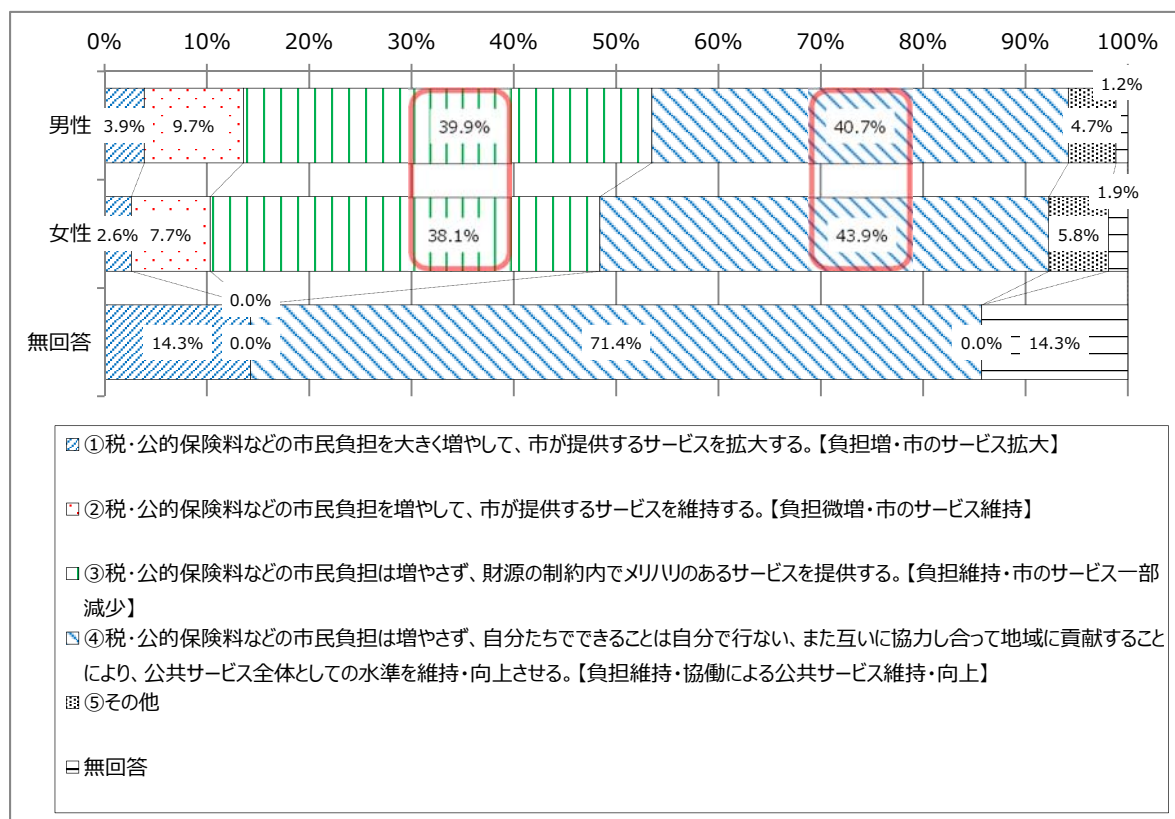
江南市の公共サービスのあり方	回答数	構成比
①税・公的保険料などの市民負担を大きく増やして、市が提供するサービスを拡大する。【負担増・市のサービス拡大】	39	3.2%
②税・公的保険料などの市民負担を増やして、市が提供するサービスを維持する。【負担微増・市のサービス維持】	103	8.5%
③税・公的保険料などの市民負担は増やさず、財源の制約内でメリハリのあるサービスを提供する。【負担維持・市のサービス一部減少】	468	38.6%
④税・公的保険料などの市民負担は増やさず、自分たちでできることは自分で行ない、また互いに協力し合って地域に貢献することにより、公共サービス全体としての水準を維持・向上させる。【負担維持・協働による公共サービス維持・向上】	517	42.7%
⑤その他	64	5.3%
無回答	20	1.7%
合計	1,211	100.0%



◆クロス分析

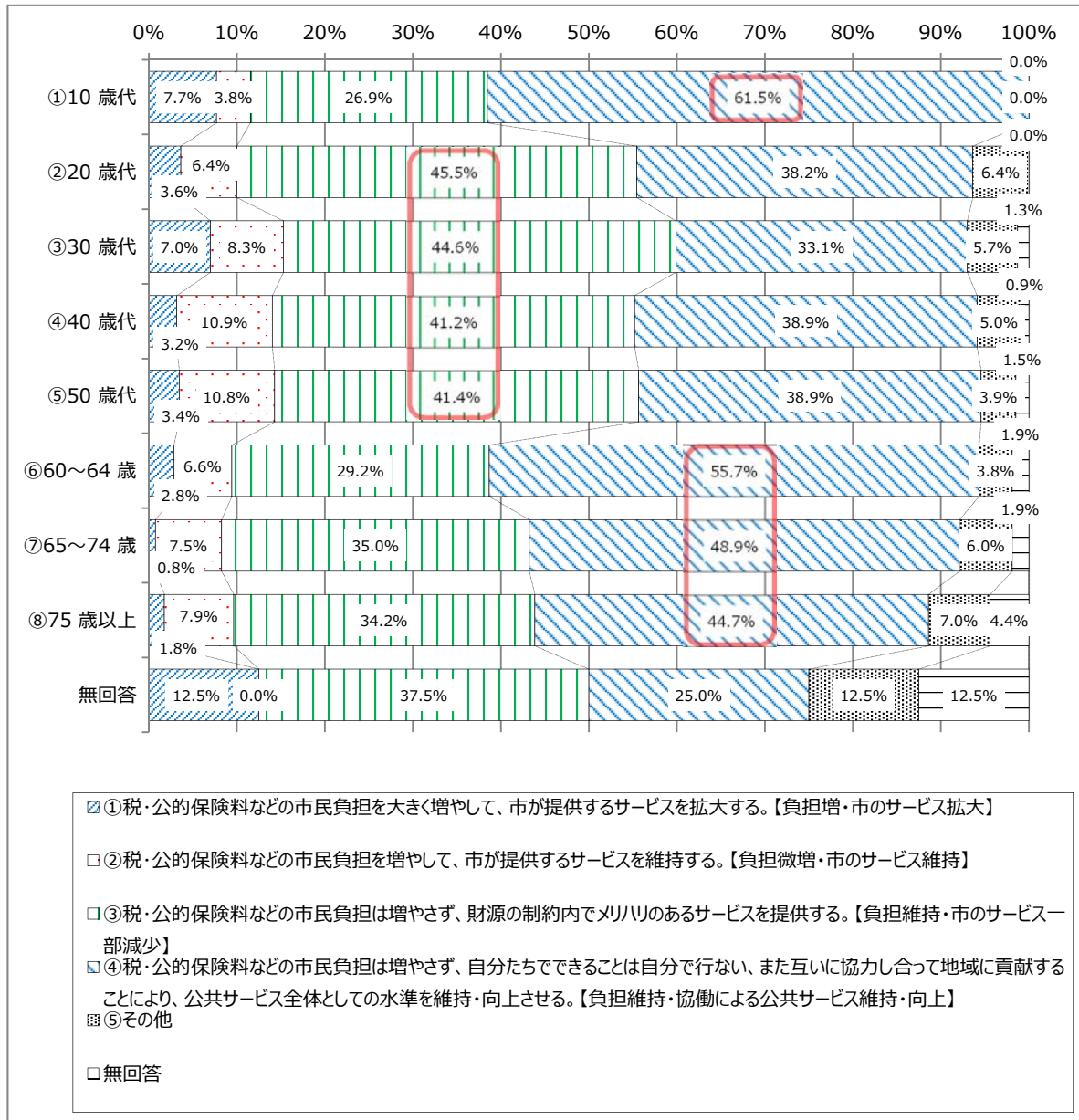
①性別

江南市の公共サービスのあり方についての意向を性別で見ると、男女とも概ね同様の傾向を示しています。「④【負担維持・協働による公共サービス維持・向上】」が最も多く約 40～43%程度となっており、次いで「③の【負担維持・市のサービス一部減少】」が約 38～40%程度となっています。



## ②年齢別

江南市の公共サービスのあり方についての意向を年齢別で見ると、10歳代と60歳以上は、「④【負担維持・協働による公共サービス維持・向上】」が最も多くなっていますが、20～50歳代の年齢層では「③【負担維持・市のサービス一部減少】」が最も多くなっています。

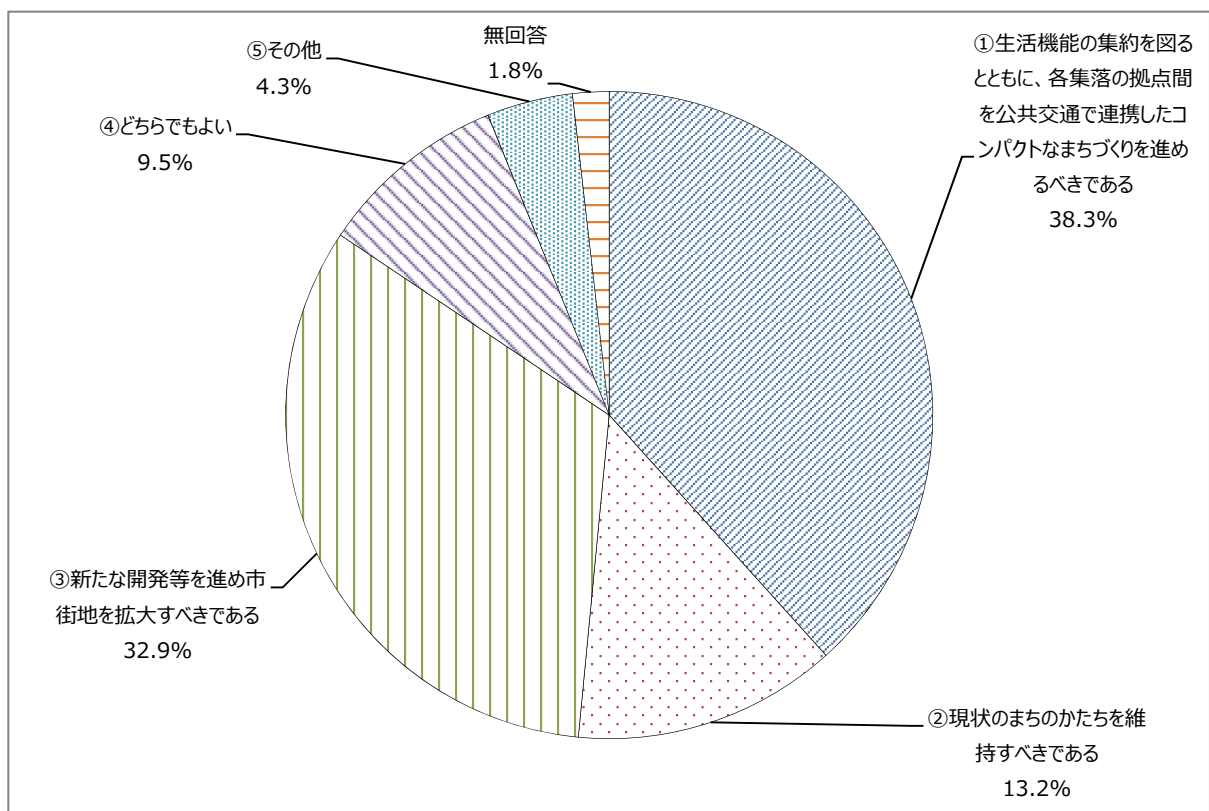


### 2.3.4 江南市のまちづくりのあり方について

人口減少社会を迎え、国からは、持続的な都市経営や、高齢者の生活環境・子育て環境の確保などのために、医療・福祉・商業等の生活機能を集約したコンパクトなまちづくりを進めることが重要という考え方が示されています。

こうした状況下における江南市のまちづくりのあり方についての意向は、最も多いのが「①生活機能の集約を図るとともに、各集落の拠点間を公共交通で連携したコンパクトなまちづくりを進めるべきである」の38.3%、次いで、「③新たな開発等を進め市街地を拡大すべきである」が32.9%、「②現状のまちのかたちを維持すべきである」が13.2%となっています。

江南市のまちづくりのあり方	回答数	構成比
①生活機能の集約を図るとともに、各集落の拠点間を公共交通で連携したコンパクトなまちづくりを進めるべきである	464	38.3%
②現状のまちのかたちを維持すべきである	160	13.2%
③新たな開発等を進め市街地を拡大すべきである	398	32.9%
④どちらでもよい	115	9.5%
⑤その他	52	4.3%
無回答	22	1.8%
合計	1,211	100.0%

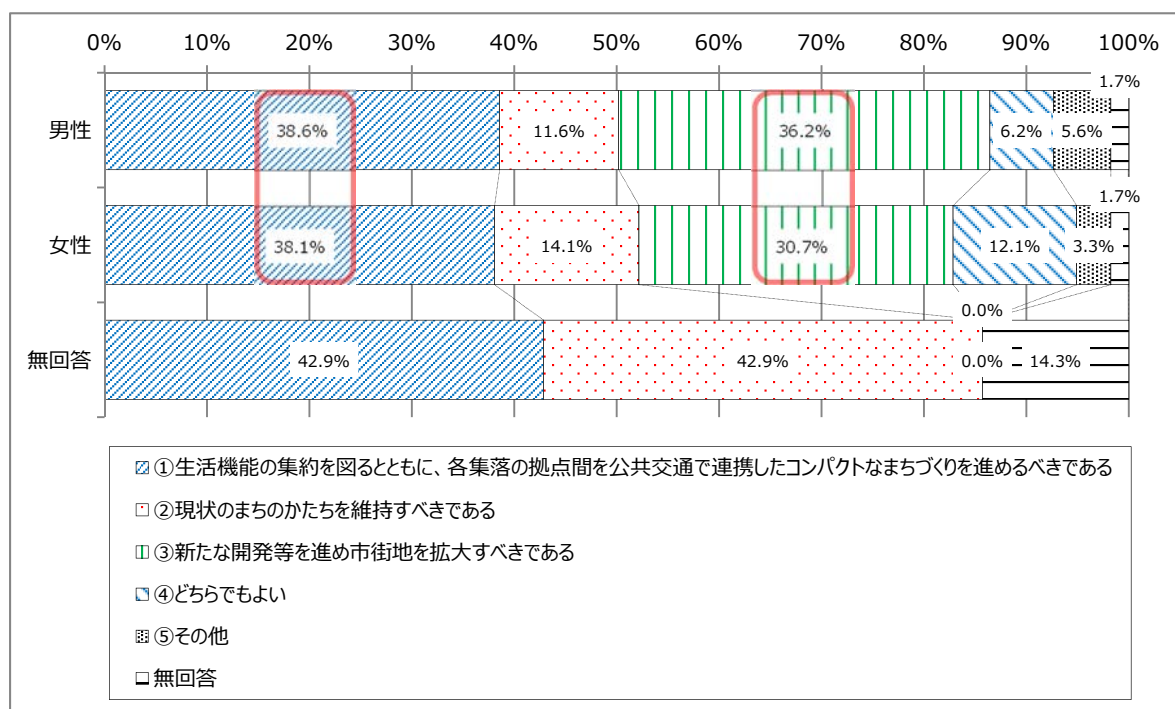


◆クロス分析

①性別

江南市のまちづくりのあり方についての意向を性別で見ると、男女とも概ね同様の傾向を示しています。

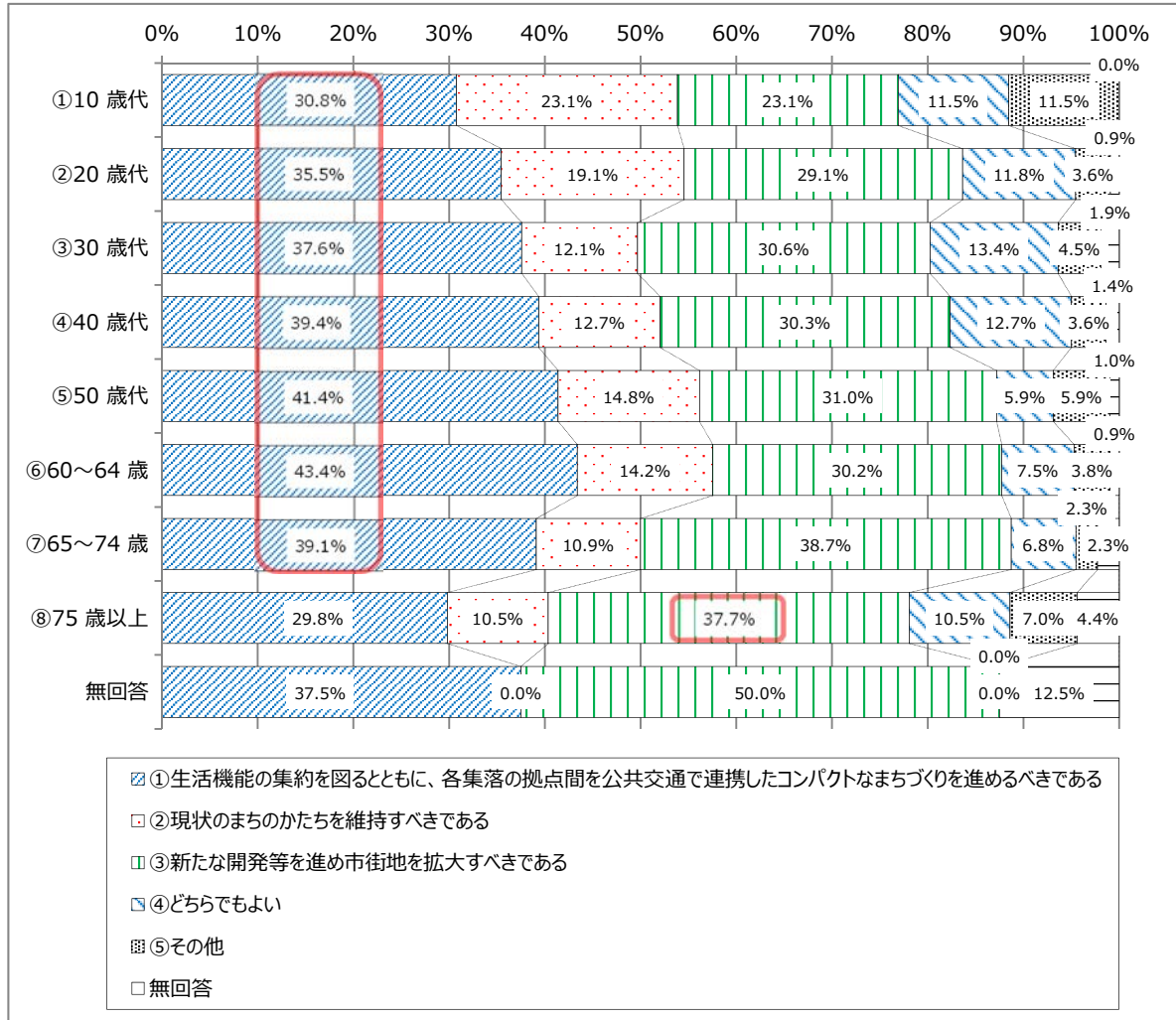
「①生活機能の集約を図るとともに、各集落の拠点間を公共交通で連携したコンパクトなまちづくりを進めるべきである」が最も多く約 38%程度となっており、次いで「③新たな開発等を進め市街地を拡大すべきである」が約 30～36%程度となっています。



②年齢別

75歳以上の年齢層を除き、「①生活機能の集約を図るとともに、各集落の拠点間を公共交通で連携したコンパクトなまちづくりを進めるべきである」が最も多くなっています。64歳までは年齢が上がるに連れて割合が増加しますが、65歳以上になると割合が減少する傾向にあります。

一方、75歳以上では、「①生活機能の集約を図るとともに、各集落の拠点間を公共交通で連携したコンパクトなまちづくりを進めるべきである」が他の年齢層と比べて最も少なく、「③新たな開発等を進め市街地を拡大すべきである」が最も高い結果となっています。



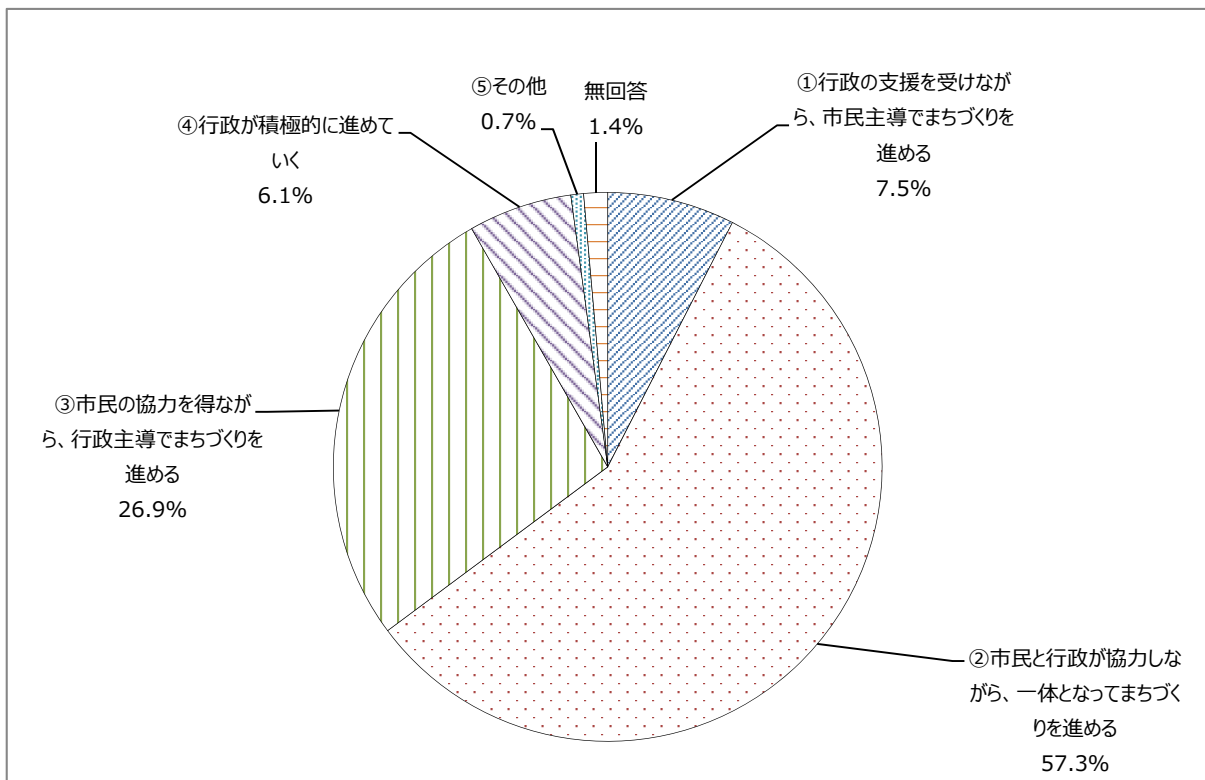


### 2.3.5 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

#### (1) 今後の江南市のまちづくりの進め方、市民と行政の関係のあり方について

最も多いのは「②市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める」の 57.3%で、次いで「③市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める」の 26.9%の順となっています。

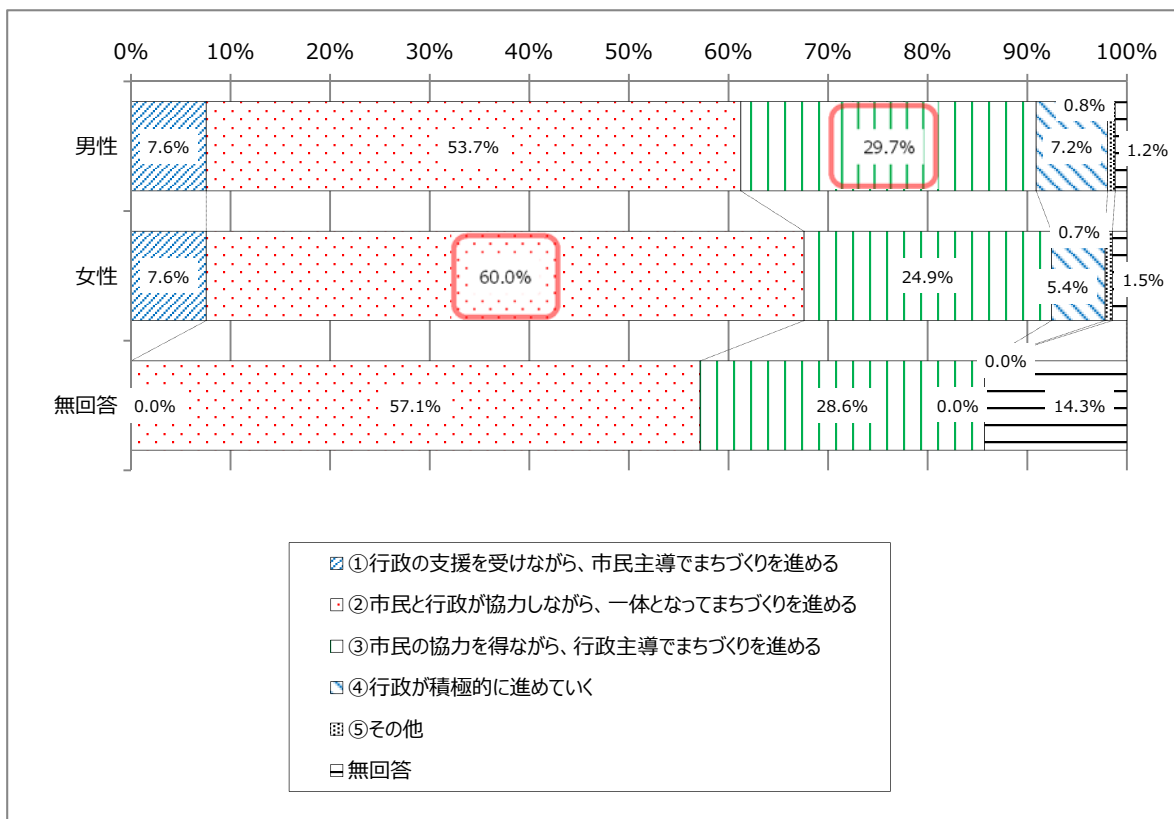
市民と行政の関係のあり方	回答数	構成比
①行政の支援を受けながら、市民主導でまちづくりを進める	91	7.5%
②市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める	694	57.3%
③市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める	326	26.9%
④行政が積極的に進めていく	74	6.1%
⑤その他	9	0.7%
無回答	17	1.4%
合計	1,211	100.0%



◆クロス分析

①性別

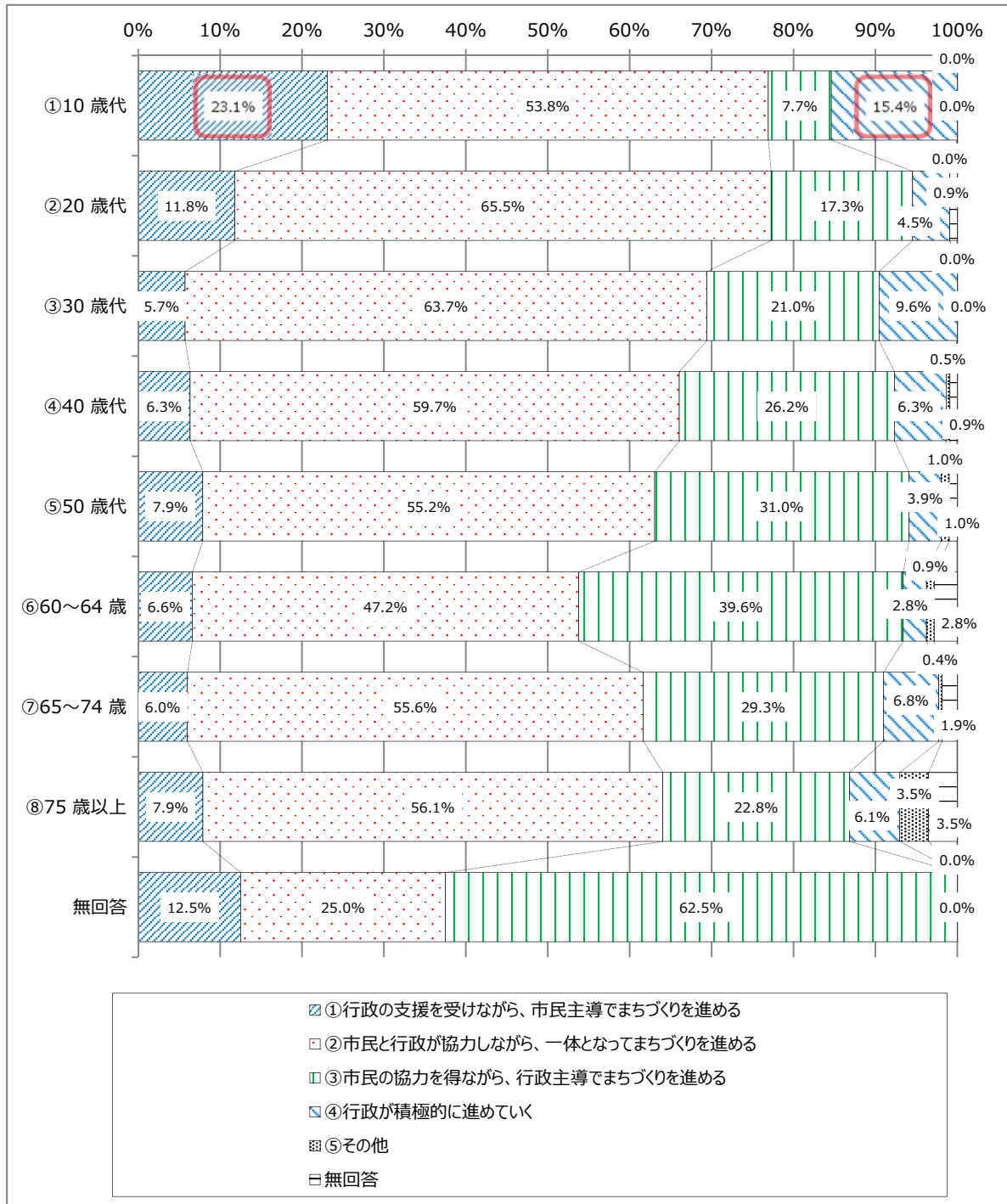
今後の江南市のまちづくりの進め方、市民と行政の関係のあり方について、性別で見ると、「②市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める」は女性の割合が高く、「③市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める」、「④行政が積極的に進めていく」は共に男性の割合が高くなっています。



## ②年齢別

今後の江南市のまちづくりの進め方、市民と行政の関係のあり方について、年齢別で見ると、特徴的なのは10歳代で、他の年齢層に比べて、「①行政の支援を受けながら、市民主導でまちづくりを進める」の割合が高いとともに、「④行政が積極的に進めていく」の割合も高くなっています。

全ての年齢で最も多いのは、「②市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める」となっていますが、年齢が上がるに連れて「②市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める」が減少し、「③市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める」の割合が高くなる傾向にあり、65歳以上になると減少に転じます。

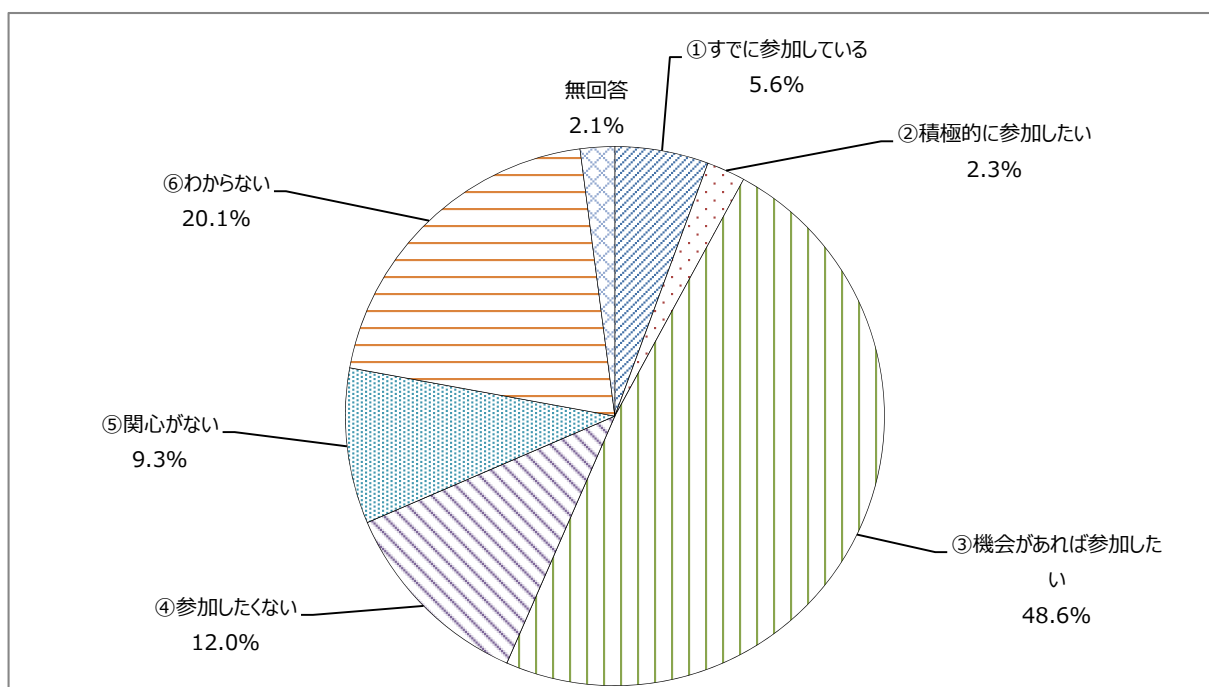


(2) あなたは、今後、市政やまちづくりの活動に参加したいと思いますか。

最も多いのは「③機会があれば参加したい」の 48.6%で、次いで「④参加したくない」の 12.0%の順となっています。

「①すでに参加している」、「②積極的に参加したい」、「③機会があれば参加したい」を合計すると、56.5%となっており、市民の市政やまちづくりの活動への参加意向は高い傾向にあります。

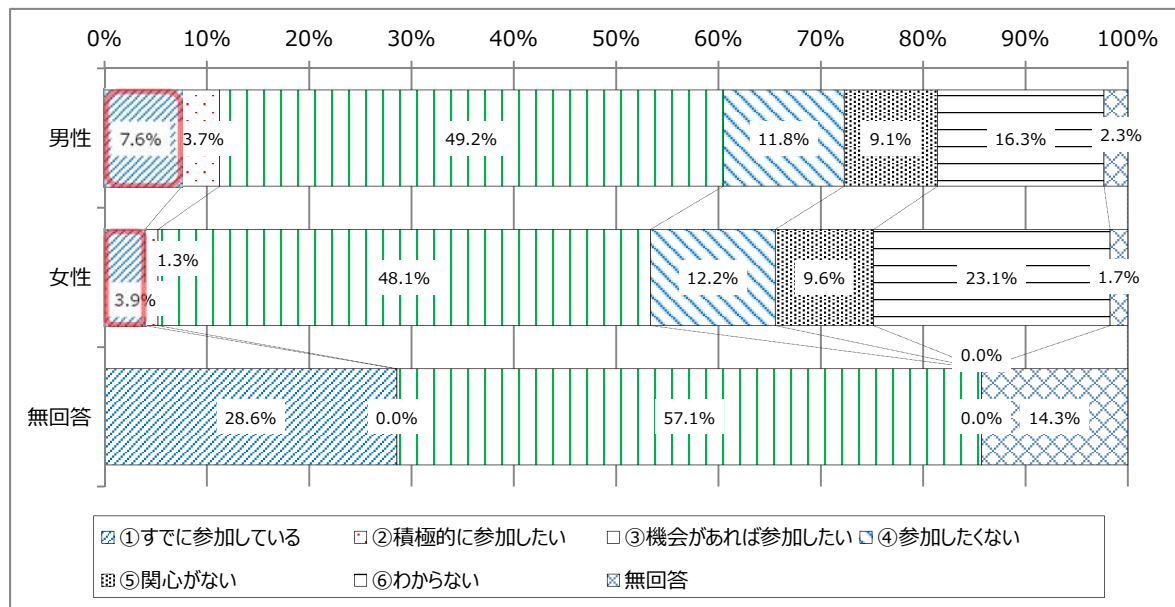
市政やまちづくりの活動への参加意向	回答数	構成比
①すでに参加している	68	5.6%
②積極的に参加したい	28	2.3%
③機会があれば参加したい	589	48.6%
④参加したくない	145	12.0%
⑤関心がない	113	9.3%
⑥わからない	243	20.1%
無回答	25	2.1%
合計	1,211	100.0%



◆クロス分析

①性別

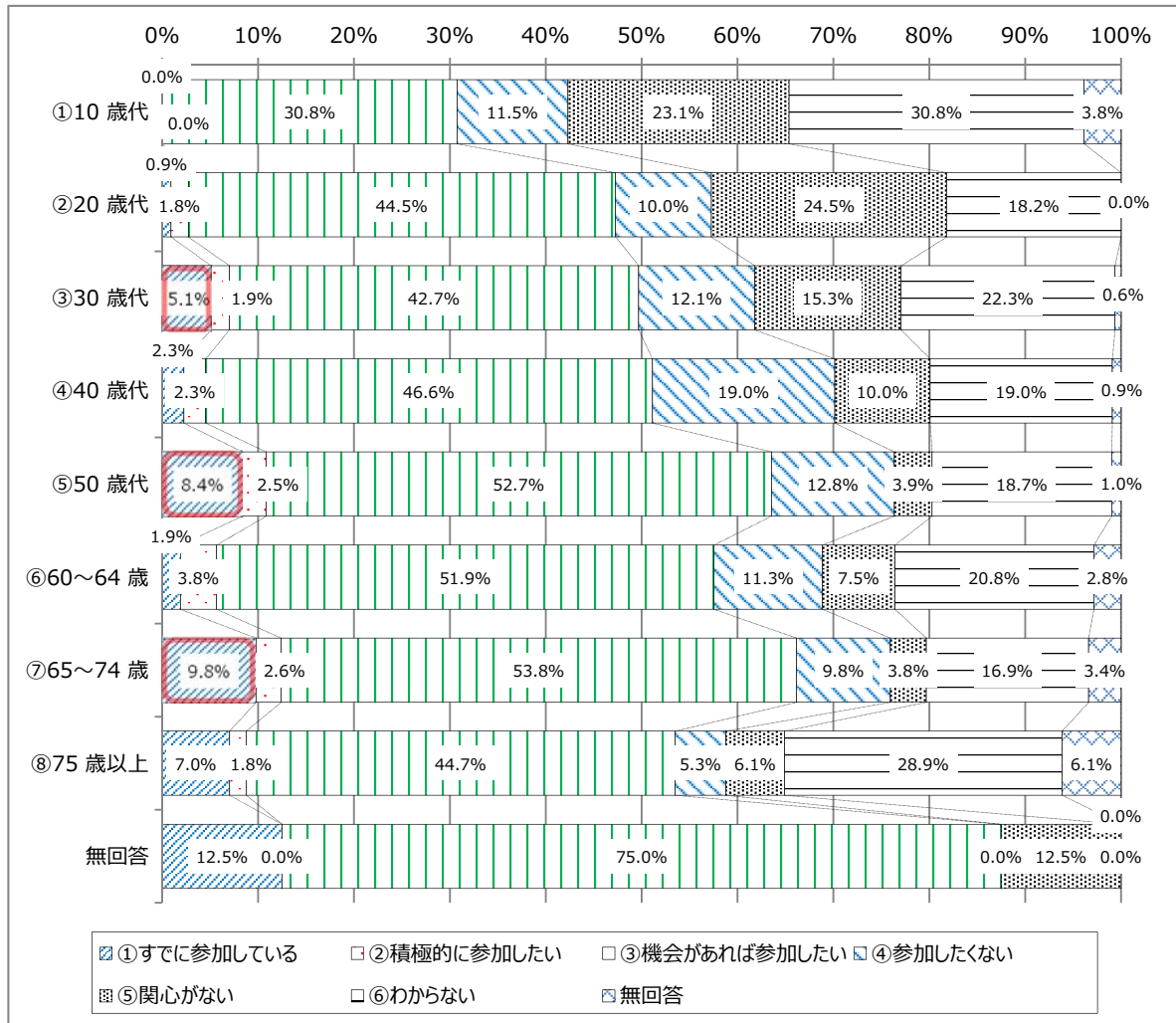
今後の市政やまちづくり活動への参加について性別で見ると、「①すでに活動に参加している」の割合は、男性が女性に比べて、概ね2倍となっています。



## ②年齢別

今後の市政やまちづくり活動への参加について年齢別に見ると、10 歳代では「①すでに活動に参加している」は 0%ですが、年齢層が上がるに連れて、割合が高くなる傾向を示しています。最も参加率が高くなるのが、65～74 歳の 9.8%であり、次いで 50 歳代の 8.4%、30 歳代の 5.1%の順となっています。

「③機会があれば参加したい」は、年齢層が高くなるに連れて割合が高くなり、75 歳以上になると減少に転じます。

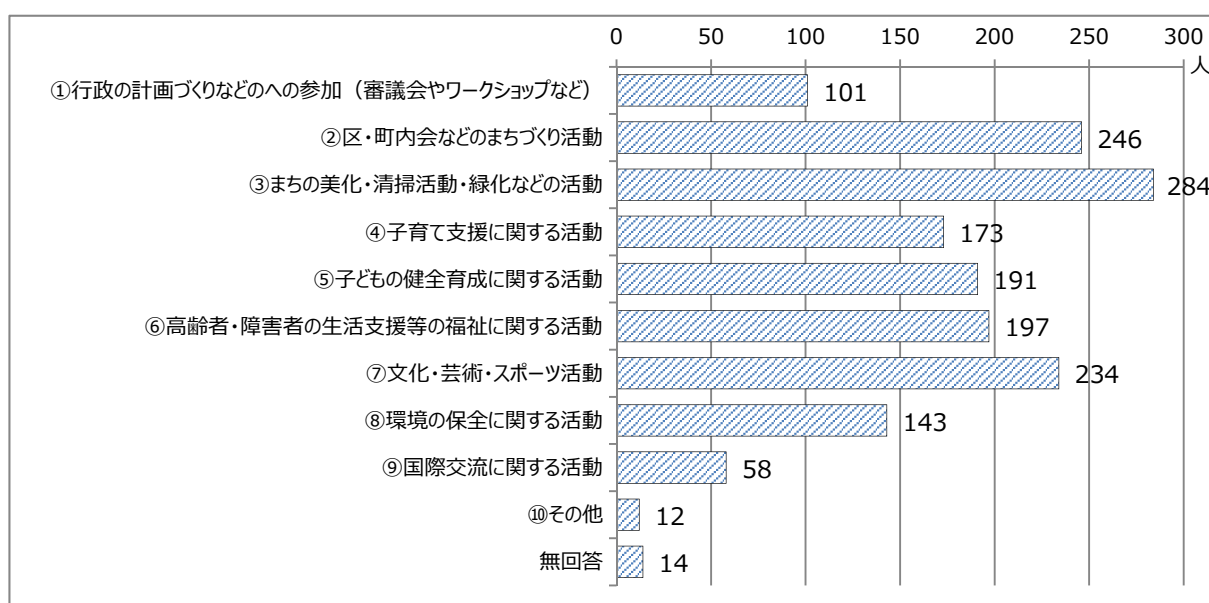


(3) あなたは、どのような市政やまちづくり活動に参加していますか、または、参加しようと思いますか。(複数回答可)

市政やまちづくり活動への参加意向で、最も多いのは「③まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」の41.5%で、次いで「②区・町内会などのまちづくり活動」の35.9%、「⑦文化・芸術・スポーツ活動」の34.2%の順となっています。

	回答数	構成比
①行政の計画づくりなどのへの参加（審議会やワークショップなど）	101	14.7%
②区・町内会などのまちづくり活動	246	35.9%
③まちの美化・清掃活動・緑化などの活動	284	41.5%
④子育て支援に関する活動	173	25.3%
⑤子どもの健全育成に関する活動	191	27.9%
⑥高齢者・障害者の生活支援等の福祉に関する活動	197	28.8%
⑦文化・芸術・スポーツ活動	234	34.2%
⑧環境の保全に関する活動	143	20.9%
⑨国際交流に関する活動	58	8.5%
⑩その他	12	1.8%
無回答	14	2.0%

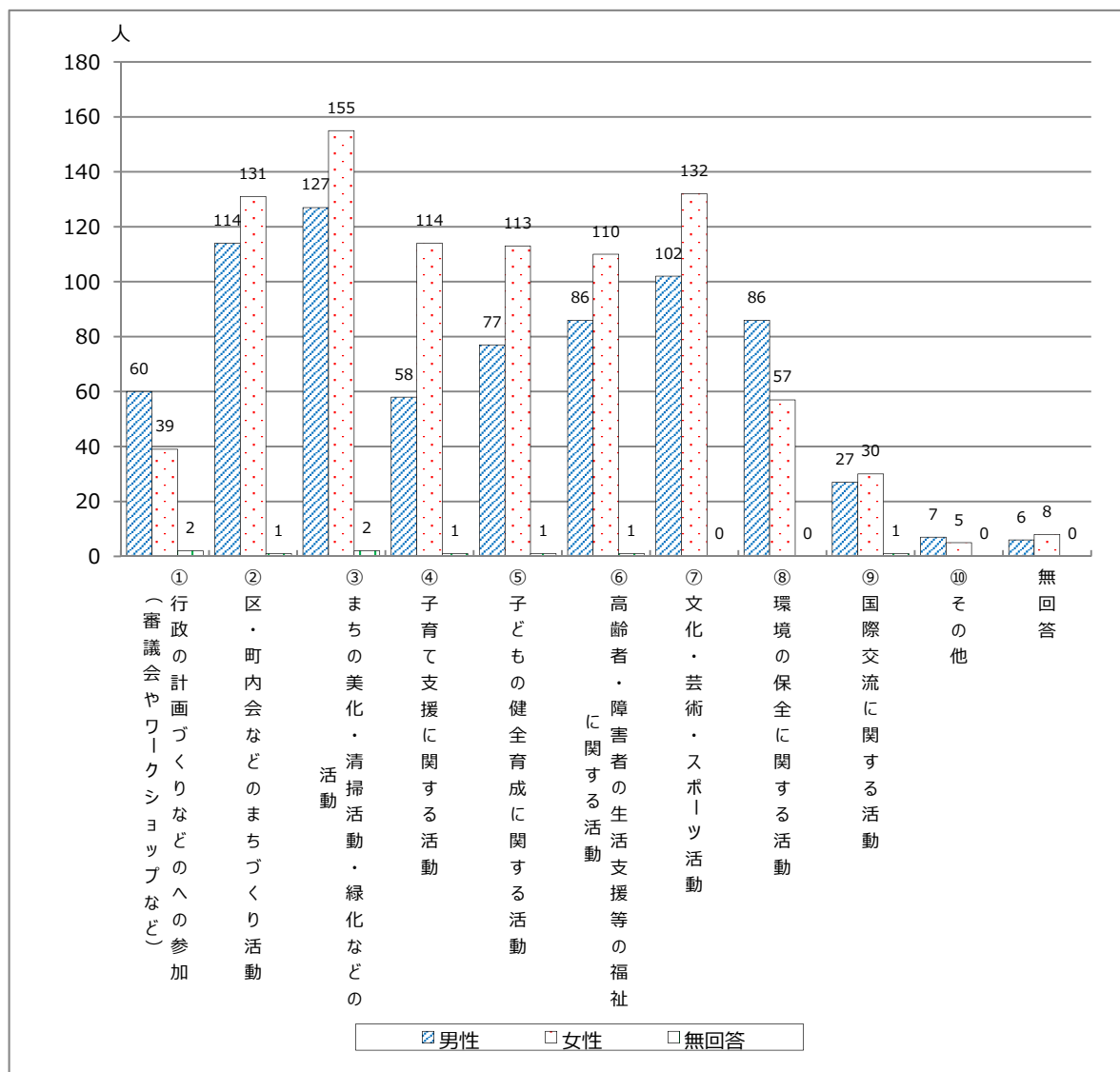
(回答者数 = 685)



◆クロス分析

①性別（複数回答）

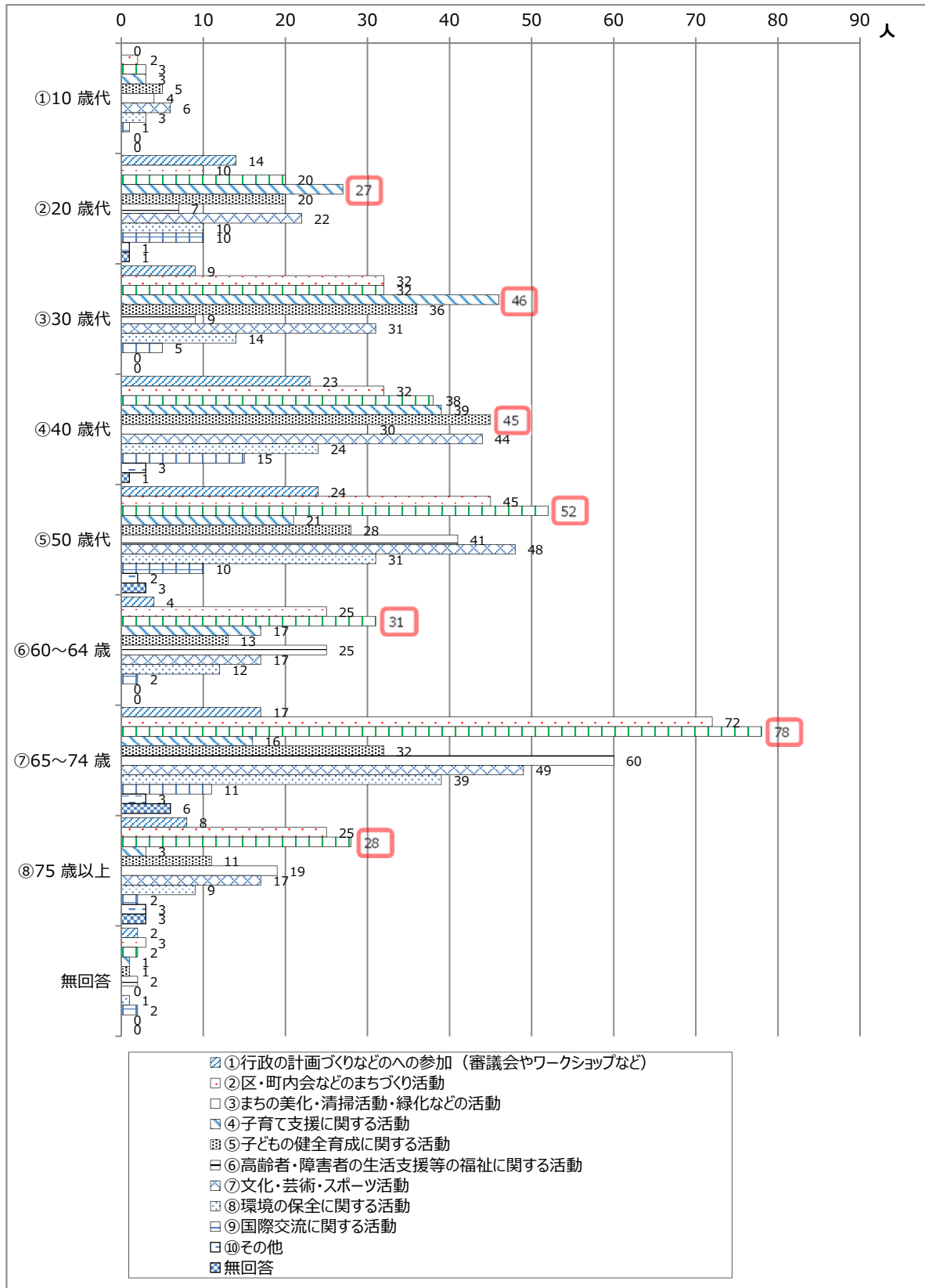
市政やまちづくり活動への参加意向を性別で見ると、男女とも概ね同様の傾向を示しています。最も参加意向が多いのは「③まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」で、次いで「②区・町内会などのまちづくり活動」、「⑦文化・芸術・スポーツ活動」の順となっています。





②年齢別（複数回答）

市政やまちづくり活動への参加意向を年齢別で見ると、20 歳代～30 歳代では、「④子育て支援に関する活動」が最も多くなっています。40 歳代では「⑤子どもの健全育成に関する活動」が最も多く、50 歳代以上では「③まちの美化・清掃活動・緑化などの活動」が最も多くなっています。

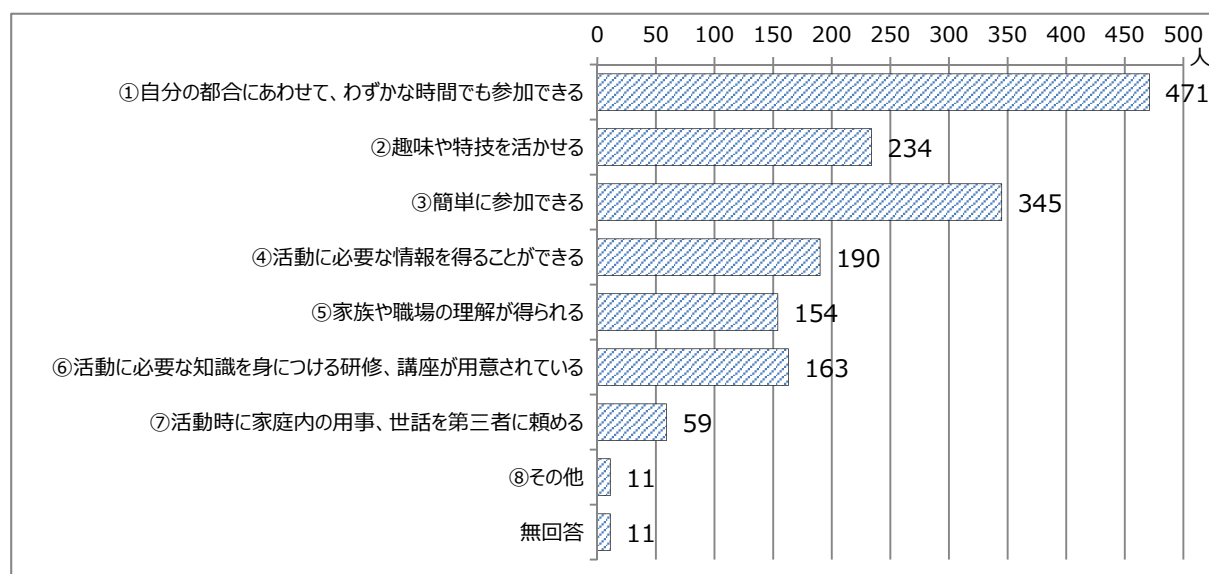


(4) あなたは、市政やまちづくりの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。(複数回答可)

参加しやすさについては、「①自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」が最も多く68.8%で、次いで「③簡単に参加できる」の50.4%、「②趣味や特技を活かせる」が34.2%となっています。

	回答数	構成比
①自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	471	68.8%
②趣味や特技を活かせる	234	34.2%
③簡単に参加できる	345	50.4%
④活動に必要な情報を得ることができる	190	27.7%
⑤家族や職場の理解が得られる	154	22.5%
⑥活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	163	23.8%
⑦活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	59	8.6%
⑧その他	11	1.6%
無回答	11	1.6%

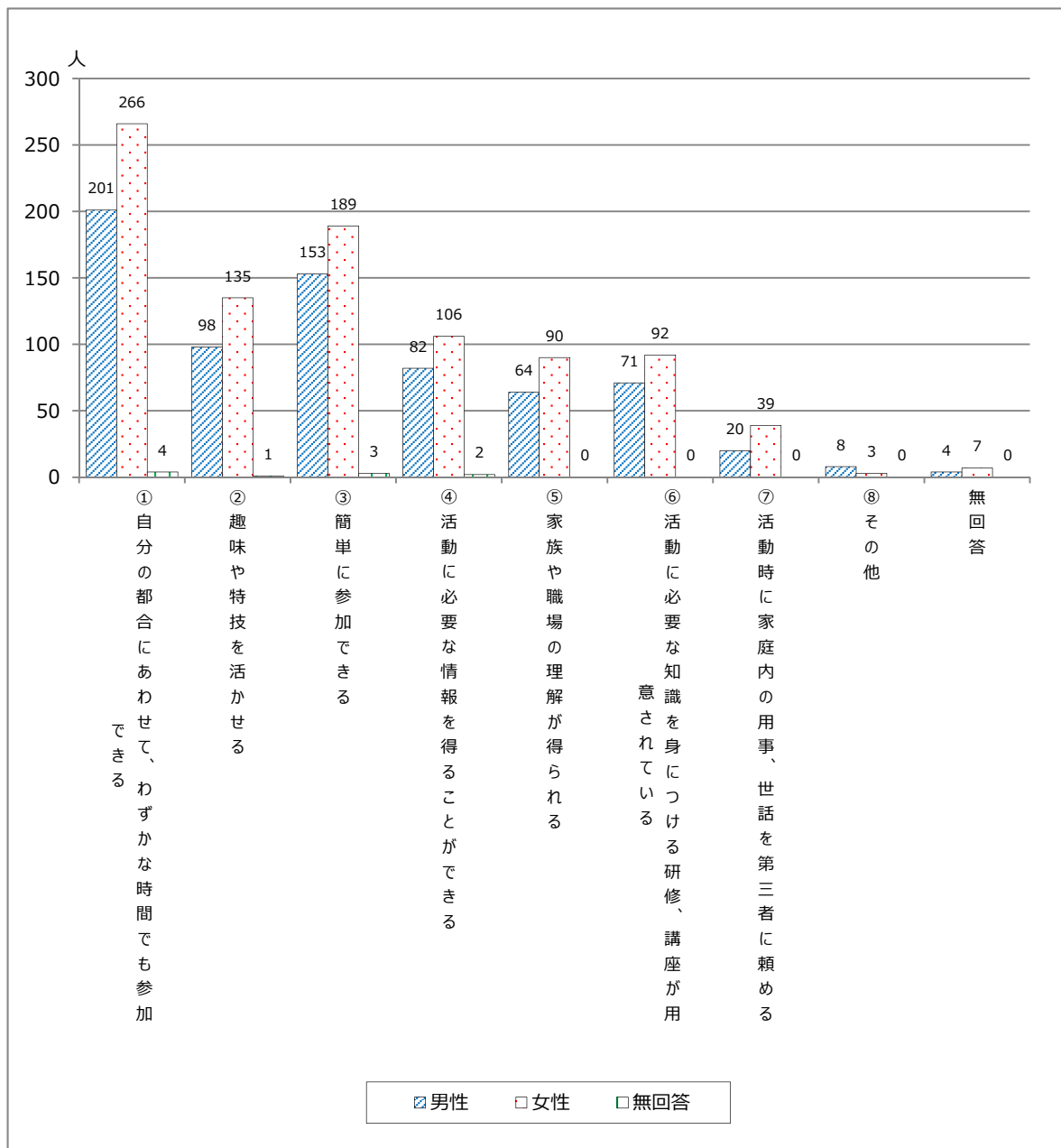
(回答者数 = 685)



◆クロス分析

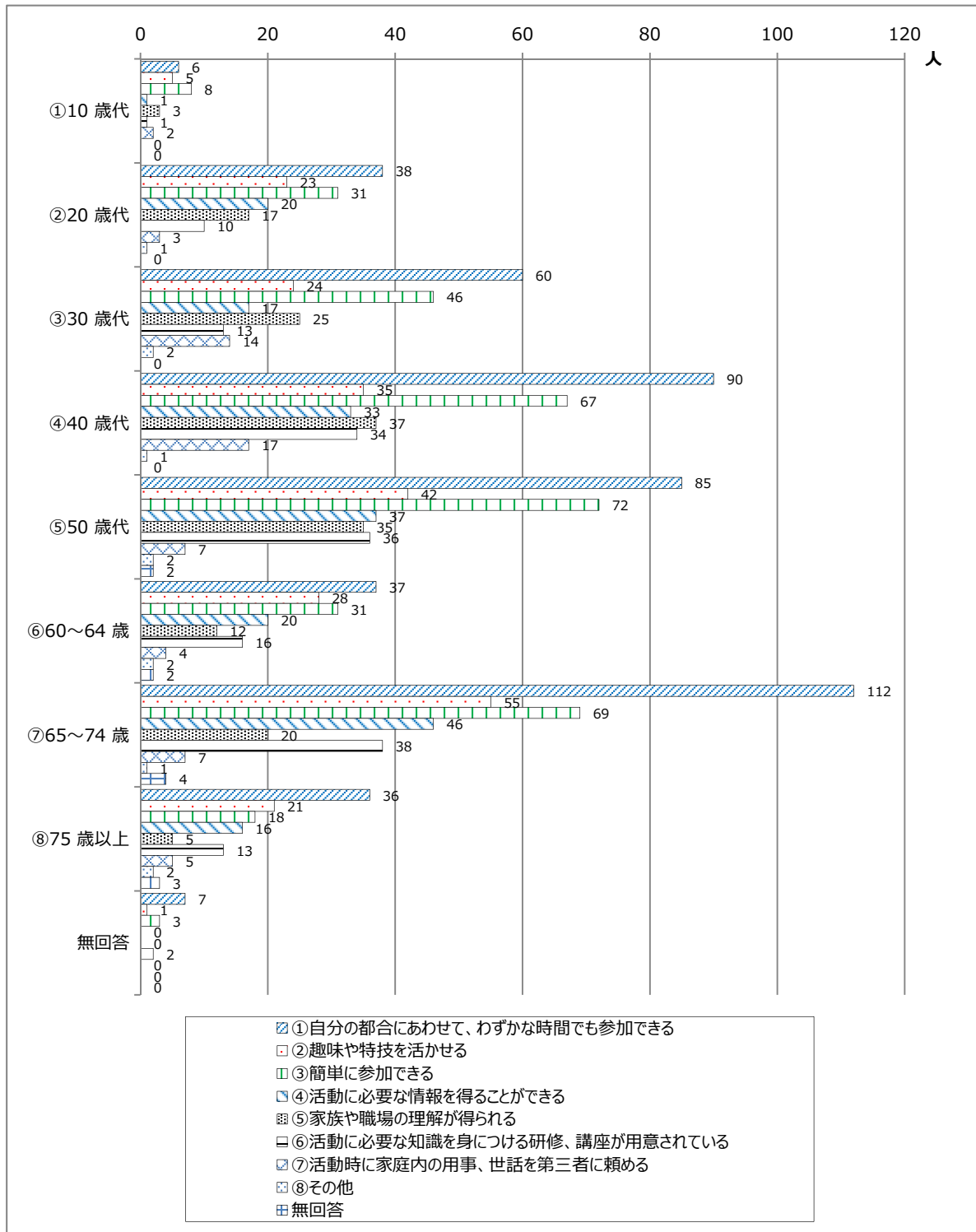
①性別（複数回答）

参加しやすさを性別で見ると、男女とも概ね同様の傾向を示しており、最も多いのは「①自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」となっています。



②年齢別（複数回答）

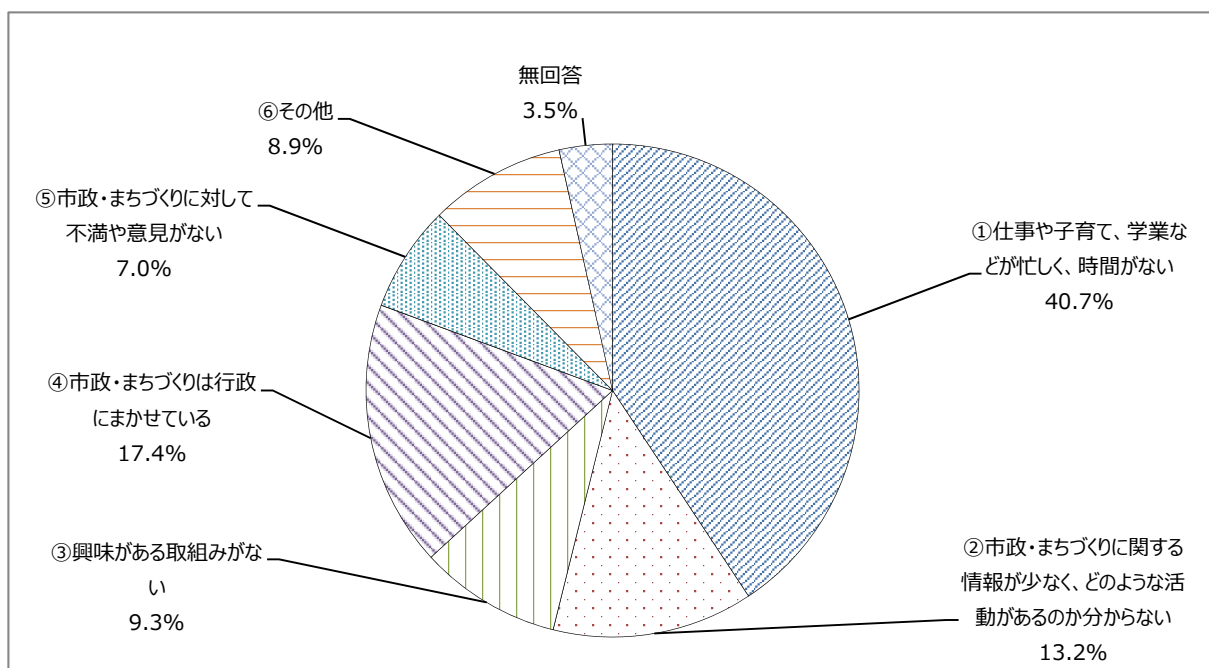
参加しやすさを年齢別で見ると、どの年代も概ね同じ傾向を示しており、最も多い順に「①自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」、次いで「③簡単に参加できる」、「②趣味や特技を活かせる」の順となっています。



(5) 市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由は何ですか。

市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由で最も多いのは、「①仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない」で 40.7%となっており、次いで、「④市政・まちづくりは行政にまかせている」の 17.4%、「②市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない」の 13.2%となっています。

	回答数	構成比
①仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない	105	40.7%
②市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない	34	13.2%
③興味がある取組みがない	24	9.3%
④市政・まちづくりは行政にまかせている	45	17.4%
⑤市政・まちづくりに対して不満や意見がない	18	7.0%
⑥その他	23	8.9%
無回答	9	3.5%
合計	258	100.0%

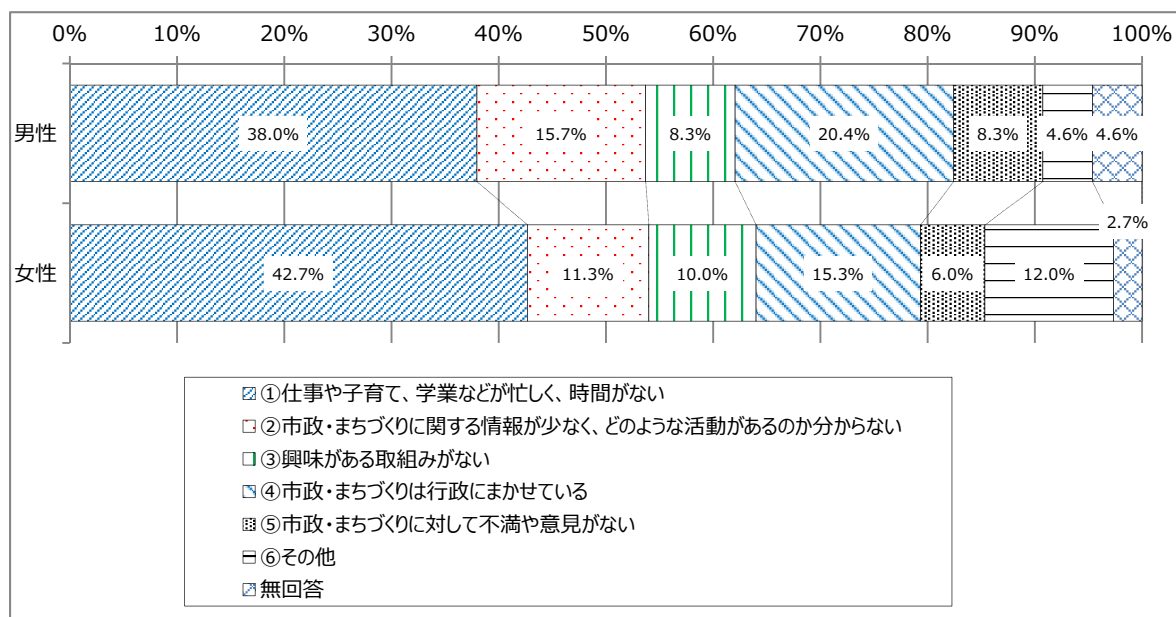


◆クロス分析

①性別

市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由を性別で見ると、「①仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない」では、男性に比べ女性が 4.7 ポイント上回っています。次いで「④市政・まちづくりは行政にまかせている」は男性が 5.1 ポイント上回っています。

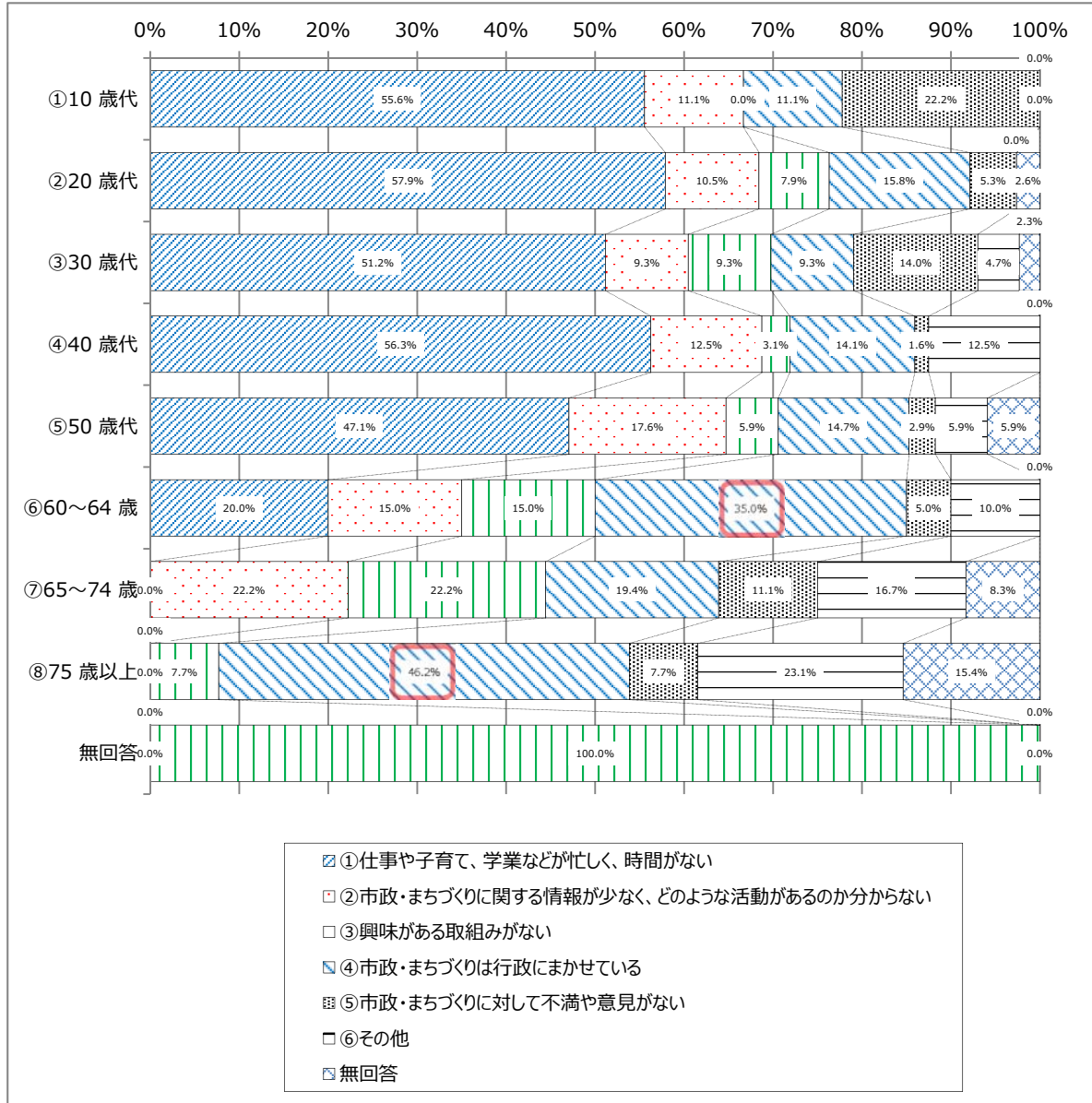
「②市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない」については、男性が 4.4 ポイント上回っています。



## ②年齢別

市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由を年齢別で見ると、10歳代から50歳代では、概ね同じ傾向を示しており、「①仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない」が最も多く、次いで、「④市政・まちづくりは行政にまかせている」、「②市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない」の順となっています。

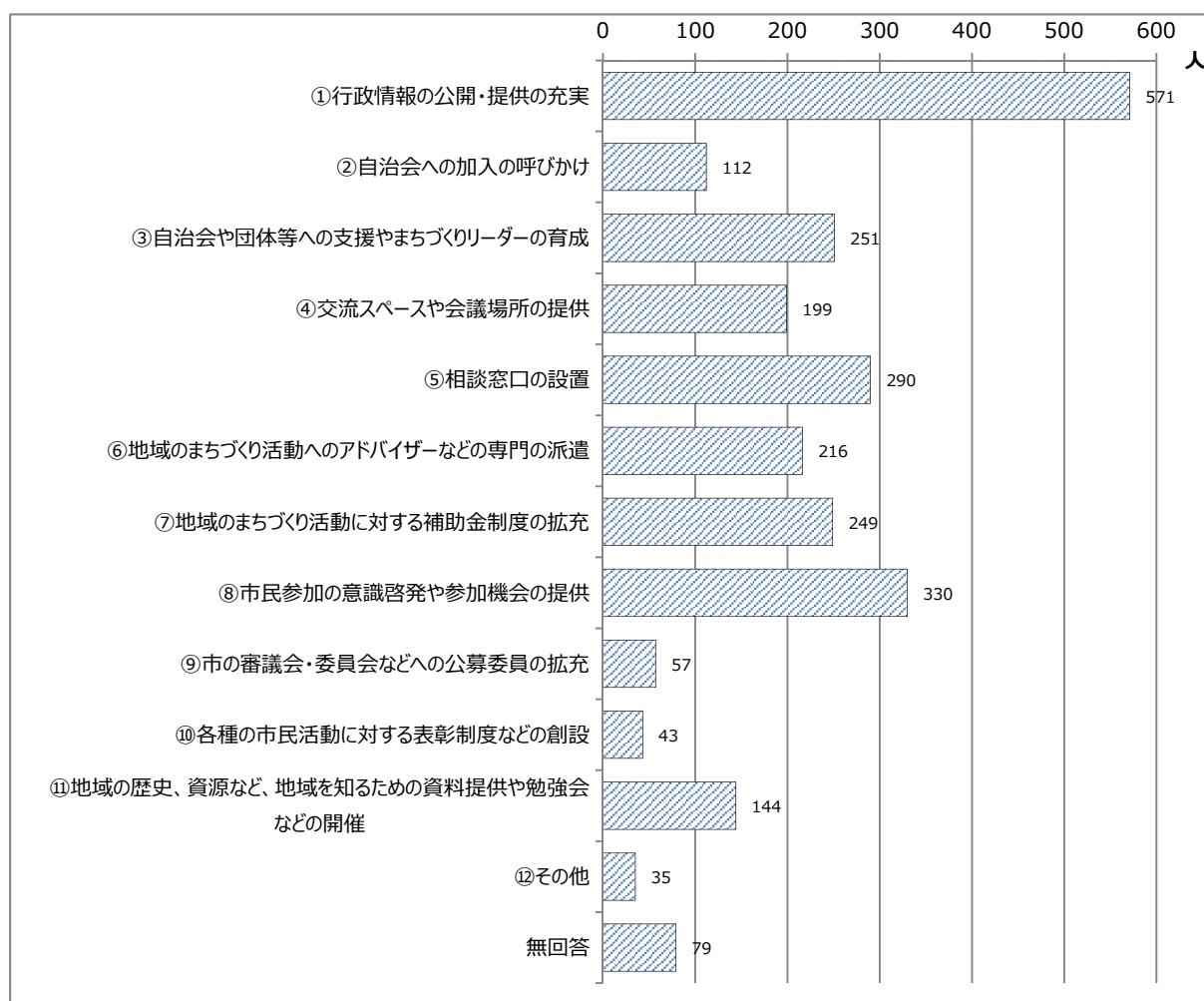
60～64歳では「④市政・まちづくりは行政にまかせている」が最も多く35.0%となっています。75歳以上も同様に46.2%と高くなっています。



(6) 市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後、行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで選択可)

市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後、行政においてどのような取り組みが必要だと思いますかについて、最も多かったのは、「①行政情報の公開・提供の充実」で 47.2%、次いで「⑧市民参加の意識啓発や参加機会の提供」の 27.3%、「⑤相談窓口の設置」の 23.9%の順となっています。

	回答数	構成比
①行政情報の公開・提供の充実	571	47.2%
②自治会への加入の呼びかけ	112	9.2%
③自治会や団体等への支援やまちづくりリーダーの育成	251	20.7%
④交流スペースや会議場所の提供	199	16.4%
⑤相談窓口の設置	290	23.9%
⑥地域のまちづくり活動へのアドバイザーなどの専門の派遣	216	17.8%
⑦地域のまちづくり活動に対する補助金制度の拡充	249	20.6%
⑧市民参加の意識啓発や参加機会の提供	330	27.3%
⑨市の審議会・委員会などへの公募委員の拡充	57	4.7%
⑩各種の市民活動に対する表彰制度などの創設	43	3.6%
⑪地域の歴史、資源など、地域を知るための資料提供や勉強会などの開催	144	11.9%
⑫その他	35	2.9%
無回答	79	6.5%

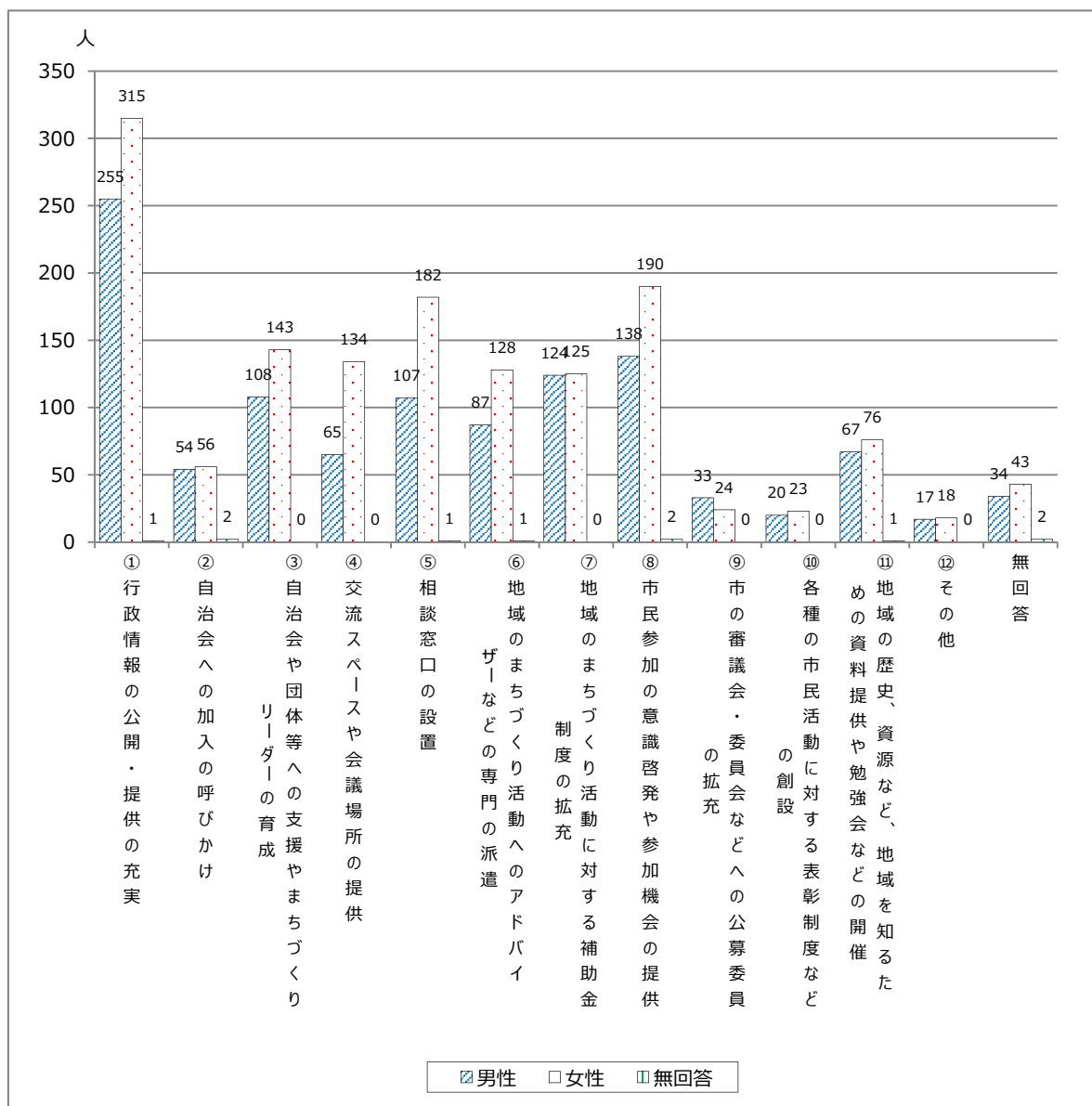




◆クロス分析

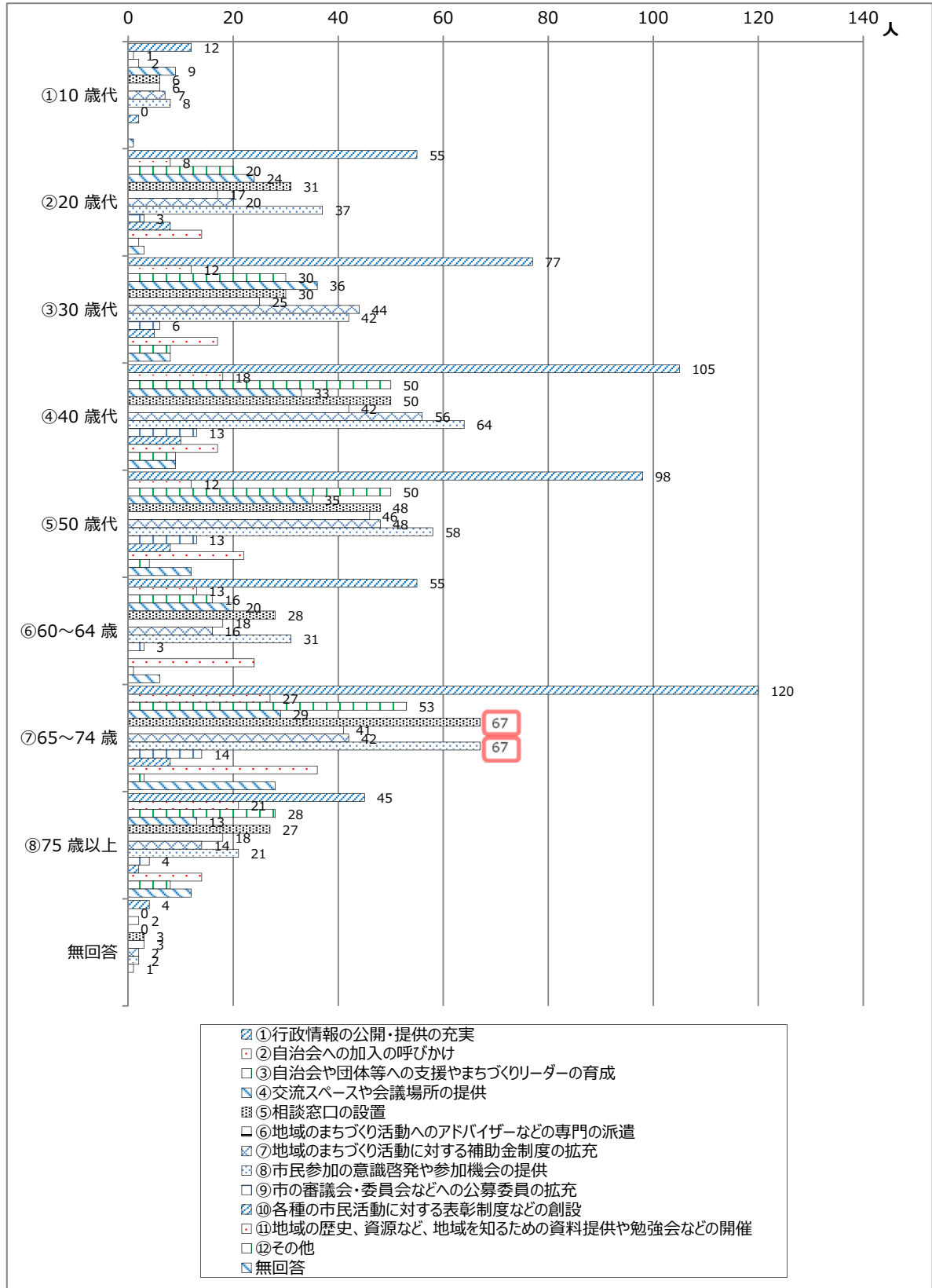
①性別

市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後、行政においてどのような取り組みが必要だと思うかについて性別で見ると、男女ともに同様の傾向となっており、最も多かったのは、「①行政情報の公開・提供の充実」で、次いで、「⑧市民参加の意識啓発や参加機会の提供」、「⑤相談窓口の設置」の順となっています。



②年齢別

市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後、行政においてどのような取り組みが必要だと思うかについて年齢別で見ると、65～74歳では他の年齢に比べ「⑤相談窓口の設置」および「⑧市民参加の意識啓発や参加機会の提供」の割合が高くなっています。



## 2.4 江南市の取り組みに関する満足度と重要度について

### 2.4.1 現状の満足度・今後の重要度の分析

毎日の生活の中で、生活環境や行政サービス、公共施設などの46の取り組みについて、現状にどの程度満足しているか（以下「現状の満足度」とする）、また、今後の取り組みがどの程度重要か（以下「今後の重要度」とする）を回答していただきました。

現状の満足度は、項目ごとに「満足している」を+2点、「一応満足している」を+1点、「どちらとも言えない」を0点、「やや不満である」を-1点、「不満である」を-2点とし、今後の重要度は、項目ごとに「重要である」を+2点、「やや重要である」を+1点、「どちらとも言えない」を0点、「あまり重要ではない」を-1点、「重要ではない」を-2点とし、46の取り組みについての満足度・重要度をグラフ化し、全設問の満足度・重要度の平均値を評価軸として、今後の取り組みの方向性について分析を行いました。

#### ◆現状の満足度の平均値の求め方

「満足している」	: +2点×「満足している」の回答数
「一応満足している」	: +1点×「一応満足している」の回答数
「どちらとも言えない」	: 0点×「どちらとも言えない」の回答数
「やや不満である」	: -1点×「やや不満である」の回答数
「不満である」	: -2点×「不満である」の回答数

**平均値**  
= 点数の総合計を  
総回答数（無回答を除く）で割る

#### ◆今後の重要度の平均値の求め方

「重要である」	: +2点×「重要である」の回答数
「やや重要である」	: +1点×「やや重要である」の回答数
「わからない」	: 0点×「わからない」の回答数
「あまり重要ではない」	: -1点×「あまり重要ではない」の回答数
「重要ではない」	: -2点×「重要ではない」の回答数

**平均値**  
= 点数の総合計を  
総回答数（無回答を除く）で割る

《計算例》「1:地球環境の保全」の満足度の平均値

$$\begin{aligned} & (\text{満足している} : 53 \times 2 \text{点} + \text{一応満足している} : 405 \times 1 \text{点} + \text{どちらとも言えない} : 594 \times 0 \text{点} \\ & + \text{やや不満である} : 85 \times -1 \text{点} + \text{不満である} : 25 \times -2 \text{点}) \div (\text{合計} : 1,211 - \text{無回答} : 49) \\ & = (106 + 405 + 0 + (-85) + (-50)) \div 1,162 \\ & = 376 \div 1,162 \\ & = 0.32 \end{aligned}$$

◆満足度・重要度の上位 10 位・下位 10 位

満足度・重要度の上位 10 位および下位 10 位を下表に示します。なお、個別の満足度・重要度の結果については、p.44～53を参照下さい。

	順位	現状の満足度	平均値	今後の重要度	平均値
上位 10 位	1	12:安全な水の安定供給	1.15	12:安全な水の安定供給	1.37
	2	38:社会保障制度の充実	0.64	2:公害の抑制	1.35
	3	3:ごみの減量・リサイクル	0.59	37:地域医療体制の整備	1.33
	4	18:安全な通学の確保	0.56	38:社会保障制度の充実	1.32
	5	11:良好な住宅環境	0.49	10:河川の整備	1.28
	6	37:地域医療体制の整備	0.48	18:安全な通学の確保	1.28
	7	2:公害の抑制	0.44	33:消防・救急体制の充実	1.27
	8	33:消防・救急体制の充実	0.43	6:安全な道路・歩行空間の整備	1.27
	9	19:教育環境の充実	0.34	3:ごみの減量・リサイクル	1.26
	10	1:地球環境の保全	0.32	13:高齢者の生活支援	1.25
	∫	∫	∫	∫	∫
下位 10 位	37	6:安全な道路・歩行空間の整備	-0.25	39:市民相談の充実	0.89
	38	21:図書館機能の充実	-0.31	20:生涯学習環境の充実	0.88
	39	45:公平・適正な課税・収納	-0.43	43:市民への情報提供	0.82
	40	41:公共交通の充実	-0.51	46:議会情報の公開	0.79
	41	25:商店街の活性化	-0.53	28:農業の振興	0.78
	42	27:雇用の場の確保	-0.66	22:スポーツ・レクリエーションの充実	0.68
	43	5:駅前・市街地の活性化	-0.67	29:観光の振興	0.66
	44	29:観光の振興	-0.67	23:男女共同参画の推進	0.62
	45	7:自転車通行環境の整備	-0.69	42:市民活動の活性化	0.62
	46	26:創業・起業支援	-0.73	24:文化・交流活動の活性化	0.44

◆満足度・重要度の調査結果と前回調査結果（平成18年度市民意向調査）との比較

前回調査との比較を見ると、満足度は概ね上がり、その結果、相対的に重要度が下がる傾向にあることが推測されます。なお、満足度が減少した項目は「28:農業の振興」と「29:観光の振興」の2項目のみとなっています。また、重要度が増加した項目は「4:秩序あるまちなみの形成」、「5:駅前・市街地の活性化」、「21:図書館機能の充実」、「22:スポーツ・レクリエーションの充実」、「27:雇用の場の確保」、「28:農業の振興」、「29:観光の振興」、「41:公共交通の充実」となっています。

	平成28年度 調査項目 No	平成18年度 調査項目 No	平成28年度 ①満足度 平均値	平成18年度 ②満足度 平均値	満足度増減 ①-② H28-H18	平成28年度 ③重要度 平均値	平成18年度 ④重要度 平均値	重要度増減 ③-④ H28-H18
まちづくり分野	1:地球環境の保全	9	0.32	0.07	0.26	1.13	1.34	-0.21
	2:公害の抑制	10	0.44	0.04	0.41	1.35	1.46	-0.11
	3:ごみの減量・リサイクル	8	0.59	0.46	0.13	1.26	1.41	-0.15
	4:秩序あるまちなみの形成	28	-0.20	-0.65	0.44	1.08	1.04	0.04
	5:駅前・市街地の活性化	29	-0.67	-1.22	0.54	0.99	0.96	0.03
	6:安全な道路・歩行空間の整備	24	-0.25	-0.47	0.22	1.27	1.36	-0.09
	7:自転車通行環境の整備	-	-0.69	-	-	1.10	-	-
	8:公園整備・緑化の推進	30	0.01	-0.57	0.58	0.92	1.05	-0.13
	9:下水道の整備	25	0.24	-0.17	0.41	1.12	1.34	-0.22
	10:河川の整備	26	0.31	0.03	0.28	1.28	1.37	-0.09
	11:良好な住宅環境	27	0.49	0.05	0.45	1.02	1.17	-0.14
	12:安全な水の安定供給	31	1.15	0.91	0.24	1.37	1.55	-0.18
ひとづくり分野	13:高齢者の生活支援	21	0.09	-0.12	0.20	1.25	1.42	-0.17
	14:高齢者の生きがいづくり	20	0.05	-0.23	0.28	1.16	1.31	-0.15
	15:保育サービスの充実	22	0.09	-0.24	0.33	1.20	1.30	-0.10
	16:子育て支援の充実	23	0.12	-0.22	0.34	1.15	1.27	-0.12
	17:多様な教育の推進	32	0.05	-0.31	0.36	1.11	1.40	-0.29
	18:安全な通学の確保	34	0.56	-0.21	0.76	1.28	1.51	-0.24
	19:教育環境の充実	33	0.34	-0.06	0.40	1.19	1.38	-0.19
	20:生涯学習環境の充実	35	0.00	-0.32	0.32	0.88	0.97	-0.09
	21:図書館機能の充実	36	-0.31	-0.62	0.30	0.93	0.89	0.03
	22:スポーツ・レクリエーションの充実	37	-0.13	-0.57	0.44	0.68	0.66	0.02
	23:男女共同参画の推進	38	-0.03	-0.42	0.39	0.62	0.63	-0.01
	24:文化・交流活動の活性化	40	-0.25	-0.47	0.22	0.44	0.44	0.00
づくり分野	25:商店街の活性化	14	-0.53	-0.93	0.40	0.92	0.94	-0.02
	26:創業・起業支援	-	-0.73	-	-	1.01	-	-
	27:雇用の場の確保	13	-0.66	-0.84	0.19	0.99	0.95	0.03
	28:農業の振興	11	-0.16	0.00	-0.16	0.78	0.61	0.17
	29:観光の振興	12	-0.67	-0.42	-0.25	0.66	0.38	0.28
づくり分野	30:地域防災	2	0.05	-0.46	0.51	1.15	1.45	-0.30
	31:災害への備え	3	-0.02	-1.13	1.11	1.23	1.44	-0.21
	32:地域防犯	1	0.31	-0.51	0.82	1.13	1.50	-0.37
	33:消防・救急体制の充実	4	0.43	0.06	0.37	1.27	1.53	-0.26
	34:障害者の生活支援	19	0.06	-0.15	0.21	1.10	1.32	-0.22
	35:福祉相談体制の整備	16	0.01	-0.25	0.26	1.05	1.37	-0.32
	36:健康づくり	17	0.15	-0.10	0.25	0.90	1.21	-0.32
	37:地域医療体制の整備	18	0.48	0.03	0.45	1.33	1.61	-0.28
	38:社会保障制度の充実	15	0.64	0.22	0.42	1.32	1.62	-0.30
行政分野	39:市民相談の充実	5	-0.03	-0.26	0.23	0.89	0.95	-0.06
	40:迅速・適切な行政サービス	6	-0.01	-0.32	0.30	0.95	1.12	-0.17
	41:公共交通の充実	7	-0.51	-0.95	0.44	1.09	0.95	0.14
	42:市民活動の活性化	42	-0.10	-0.44	0.33	0.62	0.82	-0.20
	43:市民への情報提供	41	-0.15	-0.56	0.41	0.82	1.15	-0.32
	44:効率的な行財政運営	43	-0.24	-0.60	0.36	0.90	1.15	-0.25
	45:公平・適正な課税・収納	44	-0.43	-0.85	0.42	1.08	1.42	-0.34
	46:議会情報の公開	45	-0.13	-0.59	0.46	0.79	1.06	-0.27
平均値			<b>0.00</b>	-0.33	0.36	<b>1.04</b>	1.18	-0.14

◆現状の満足度（内訳）

【現状の満足度】

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

	満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	無回答	合計
1:地球環境の保全	53 4.4%	405 33.4%	594 49.1%	85 7.0%	25 2.1%	49 4.0%	1,211 100.0%
2:公害の抑制	118 9.7%	580 47.9%	254 21.0%	172 14.2%	60 5.0%	27 2.2%	1,211 100.0%
3:ごみの減量・リサイクル	96 7.9%	639 52.8%	346 28.6%	80 6.6%	25 2.1%	25 2.1%	1,211 100.0%
4:秩序あるまちなみの形成	17 1.4%	249 20.6%	506 41.8%	297 24.5%	112 9.2%	30 2.5%	1,211 100.0%
5:駅前・市街地の活性化	13 1.1%	124 10.2%	381 31.5%	384 31.7%	281 23.2%	28 2.3%	1,211 100.0%
6:安全な道路・歩行空間の整備	34 2.8%	302 24.9%	353 29.1%	326 26.9%	171 14.1%	25 2.1%	1,211 100.0%
7:自転車通行環境の整備	20 1.7%	121 10.0%	364 30.1%	375 31.0%	300 24.8%	31 2.6%	1,211 100.0%
8:公園整備・緑化の推進	51 4.2%	353 29.1%	457 37.7%	207 17.1%	116 9.6%	27 2.2%	1,211 100.0%
9:下水道の整備	112 9.2%	454 37.5%	341 28.2%	166 13.7%	112 9.2%	26 2.1%	1,211 100.0%
10:河川の整備	151 12.5%	439 36.3%	316 26.1%	168 13.9%	106 8.8%	31 2.6%	1,211 100.0%
11:良好な住宅環境	83 6.9%	571 47.2%	400 33.0%	87 7.2%	35 2.9%	35 2.9%	1,211 100.0%
12:安全な水の安定供給	430 35.5%	554 45.7%	157 13.0%	31 2.6%	11 0.9%	28 2.3%	1,211 100.0%
13:高齢者の生活支援	34 2.8%	248 20.5%	724 59.8%	118 9.7%	48 4.0%	39 3.2%	1,211 100.0%
14:高齢者の生きがいづくり	26 2.1%	206 17.0%	787 65.0%	115 9.5%	43 3.6%	34 2.8%	1,211 100.0%
15:保育サービスの充実	38 3.1%	243 20.1%	685 56.6%	125 10.3%	46 3.8%	74 6.1%	1,211 100.0%
16:子育て支援の充実	39 3.2%	229 18.9%	724 59.8%	98 8.1%	38 3.1%	83 6.9%	1,211 100.0%
17:多様な教育の推進	21 1.7%	221 18.2%	722 59.6%	127 10.5%	38 3.1%	82 6.8%	1,211 100.0%
18:安全な通学の確保	114 9.4%	512 42.3%	429 35.4%	66 5.5%	20 1.7%	70 5.8%	1,211 100.0%
19:教育環境の充実	72 5.9%	383 31.6%	564 46.6%	79 6.5%	32 2.6%	81 6.7%	1,211 100.0%
20:生涯学習環境の充実	27 2.2%	197 16.3%	725 59.9%	140 11.6%	53 4.4%	69 5.7%	1,211 100.0%
21:図書館機能の充実	35 2.9%	195 16.1%	490 40.5%	250 20.6%	190 15.7%	51 4.2%	1,211 100.0%

## 【現状の満足度】

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	無回答	合計
22:スポーツ・レクリエーションの充実	28 2.3%	186 15.4%	640 52.8%	223 18.4%	84 6.9%	50 4.1%	1,211 100.0%
23:男女共同参画の推進	24 2.0%	145 12.0%	807 66.6%	128 10.6%	49 4.0%	58 4.8%	1,211 100.0%
24:文化・交流活動の活性化	13 1.1%	65 5.4%	782 64.6%	200 16.5%	86 7.1%	65 5.4%	1,211 100.0%
25:商店街の活性化	38 3.1%	204 16.8%	321 26.5%	327 27.0%	289 23.9%	32 2.6%	1,211 100.0%
26:創業・起業支援	7 0.6%	29 2.4%	506 41.8%	343 28.3%	275 22.7%	51 4.2%	1,211 100.0%
27:雇用の場の確保	6 0.5%	36 3.0%	551 45.5%	321 26.5%	244 20.1%	53 4.4%	1,211 100.0%
28:農業の振興	20 1.7%	192 15.9%	629 51.9%	221 18.2%	98 8.1%	51 4.2%	1,211 100.0%
29:観光の振興	14 1.2%	80 6.6%	471 38.9%	313 25.8%	291 24.0%	42 3.5%	1,211 100.0%
30:地域防災	26 2.1%	246 20.3%	706 58.3%	139 11.5%	51 4.2%	43 3.6%	1,211 100.0%
31:災害への備え	31 2.6%	298 24.6%	536 44.3%	222 18.3%	82 6.8%	42 3.5%	1,211 100.0%
32:地域防犯	57 4.7%	440 36.3%	527 43.5%	110 9.1%	40 3.3%	37 3.1%	1,211 100.0%
33:消防・救急体制の充実	85 7.0%	446 36.8%	548 45.3%	73 6.0%	19 1.6%	40 3.3%	1,211 100.0%
34:障害者の生活支援	36 3.0%	222 18.3%	715 59.0%	129 10.7%	48 4.0%	61 5.0%	1,211 100.0%
35:福祉相談体制の整備	25 2.1%	198 16.4%	741 61.2%	132 10.9%	51 4.2%	64 5.3%	1,211 100.0%
36:健康づくり	39 3.2%	276 22.8%	705 58.2%	98 8.1%	42 3.5%	51 4.2%	1,211 100.0%
37:地域医療体制の整備	142 11.7%	501 41.4%	362 29.9%	118 9.7%	51 4.2%	37 3.1%	1,211 100.0%
38:社会保障制度の充実	170 14.0%	542 44.8%	348 28.7%	74 6.1%	33 2.7%	44 3.6%	1,211 100.0%
39:市民相談の充実	28 2.3%	217 17.9%	694 57.3%	154 12.7%	75 6.2%	43 3.6%	1,211 100.0%
40:迅速・適切な行政サービス	23 1.9%	245 20.2%	673 55.6%	143 11.8%	82 6.8%	45 3.7%	1,211 100.0%
41:公共交通の充実	36 3.0%	169 14.0%	377 31.1%	345 28.5%	248 20.5%	36 3.0%	1,211 100.0%
42:市民活動の活性化	14 1.2%	157 13.0%	756 62.4%	163 13.5%	71 5.9%	50 4.1%	1,211 100.0%
43:市民への情報提供	16 1.3%	171 14.1%	684 56.5%	203 16.8%	90 7.4%	47 3.9%	1,211 100.0%

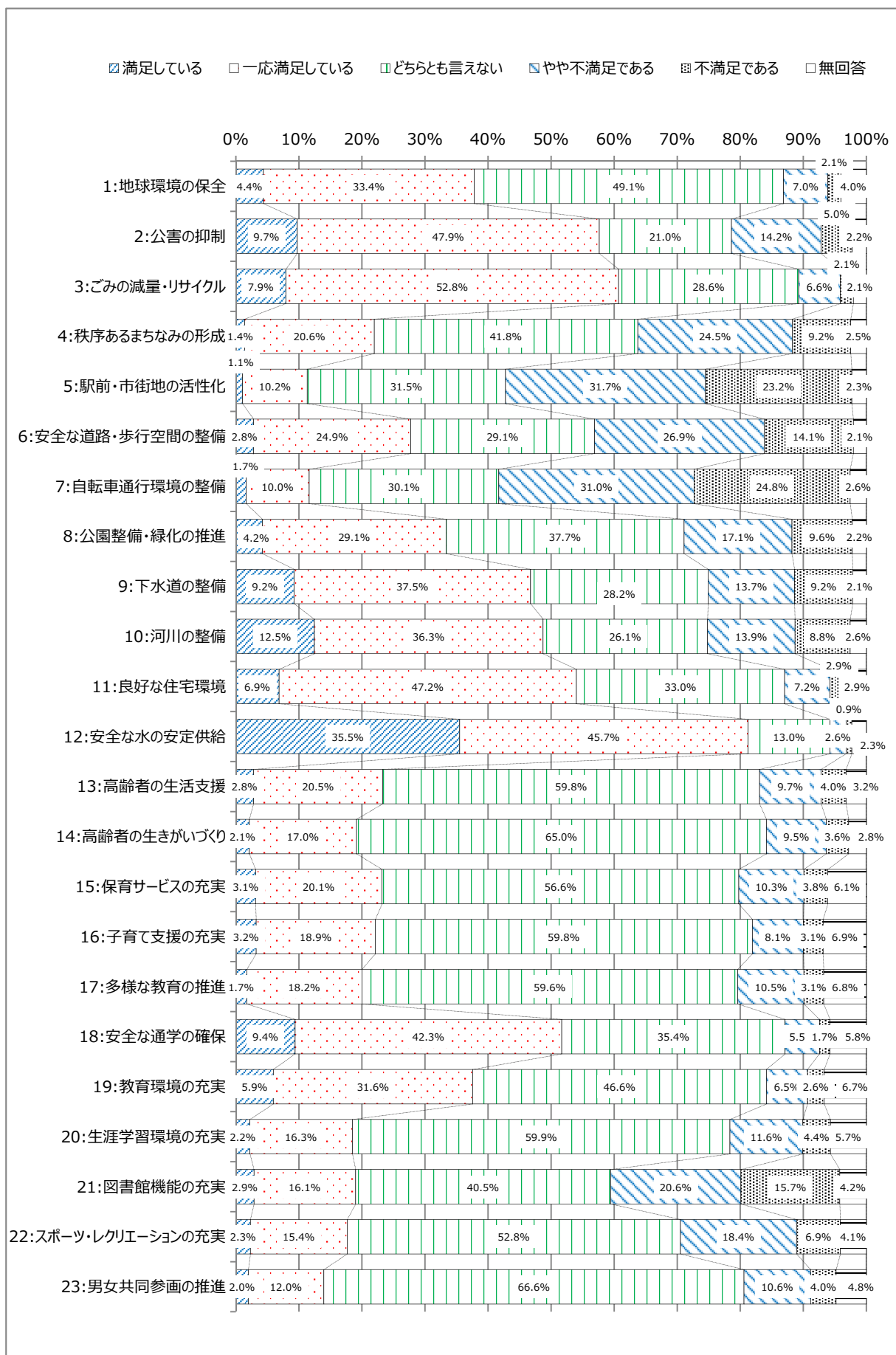
## 【現状の満足度】

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

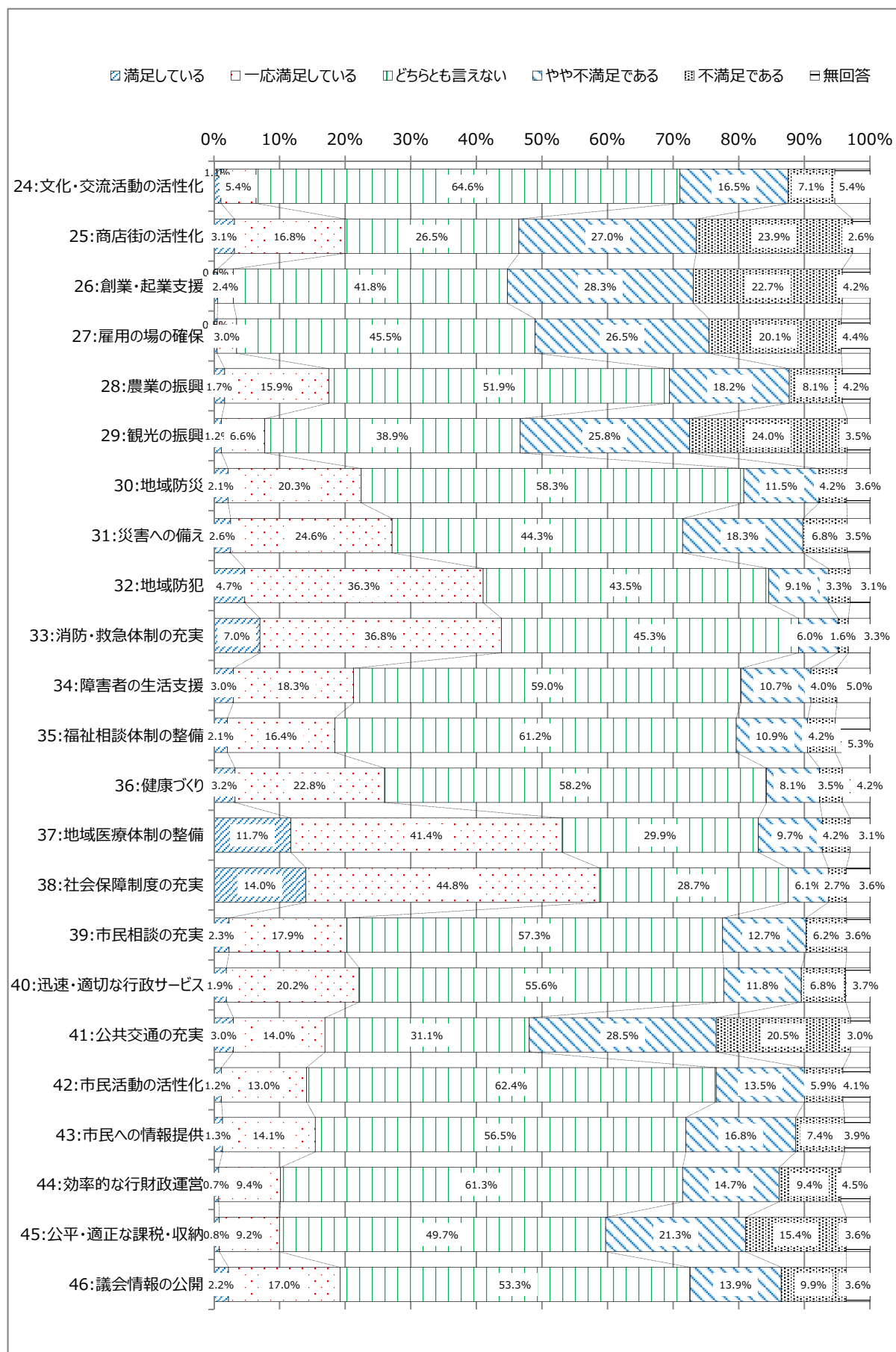
	満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	無回答	合計
44:効率的な行財政運営	9 0.7%	114 9.4%	742 61.3%	178 14.7%	114 9.4%	54 4.5%	1,211 100.0%
45:公平・適正な課税・収納	10 0.8%	111 9.2%	602 49.7%	258 21.3%	186 15.4%	44 3.6%	1,211 100.0%
46:議会情報の公開	27 2.2%	206 17.0%	646 53.3%	168 13.9%	120 9.9%	44 3.6%	1,211 100.0%



【現状の満足度】



【現状の満足度】



◆今後の重要度（内訳）

【今後の重要度】

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
1:地球環境の保全	425 35.1%	484 40.0%	185 15.3%	39 3.2%	5 0.4%	73 6.0%	1,211 100.0%
2:公害の抑制	561 46.3%	457 37.7%	114 9.4%	18 1.5%	2 0.2%	59 4.9%	1,211 100.0%
3:ごみの減量・リサイクル	483 39.9%	507 41.9%	142 11.7%	20 1.7%	1 0.1%	58 4.8%	1,211 100.0%
4:秩序あるまちなみの形成	392 32.4%	493 40.7%	235 19.4%	33 2.7%	1 0.1%	57 4.7%	1,211 100.0%
5:駅前・市街地の活性化	368 30.4%	469 38.7%	251 20.7%	54 4.5%	5 0.4%	64 5.3%	1,211 100.0%
6:安全な道路・歩行空間の整備	501 41.4%	492 40.6%	138 11.4%	20 1.7%	4 0.3%	56 4.6%	1,211 100.0%
7:自転車通行環境の整備	420 34.7%	483 39.9%	203 16.8%	37 3.1%	10 0.8%	58 4.8%	1,211 100.0%
8:公園整備・緑化の推進	296 24.4%	528 43.6%	283 23.4%	46 3.8%	4 0.3%	54 4.5%	1,211 100.0%
9:下水道の整備	441 36.4%	462 38.2%	216 17.8%	32 2.6%	7 0.6%	53 4.4%	1,211 100.0%
10:河川の整備	545 45.0%	423 34.9%	164 13.5%	20 1.7%	4 0.3%	55 4.5%	1,211 100.0%
11:良好な住宅環境	341 28.2%	529 43.7%	235 19.4%	35 2.9%	3 0.2%	68 5.6%	1,211 100.0%
12:安全な水の安定供給	621 51.3%	374 30.9%	121 10.0%	26 2.1%	6 0.5%	63 5.2%	1,211 100.0%
13:高齢者の生活支援	528 43.6%	402 33.2%	200 16.5%	11 0.9%	7 0.6%	63 5.2%	1,211 100.0%
14:高齢者の生きがいづくり	462 38.2%	438 36.2%	231 19.1%	13 1.1%	8 0.7%	59 4.9%	1,211 100.0%
15:保育サービスの充実	500 41.3%	369 30.5%	243 20.1%	6 0.5%	5 0.4%	88 7.3%	1,211 100.0%
16:子育て支援の充実	466 38.5%	358 29.6%	283 23.4%	6 0.5%	2 0.2%	96 7.9%	1,211 100.0%
17:多様な教育の推進	416 34.4%	405 33.4%	281 23.2%	4 0.3%	2 0.2%	103 8.5%	1,211 100.0%
18:安全な通学の確保	503 41.5%	446 36.8%	167 13.8%	8 0.7%	2 0.2%	85 7.0%	1,211 100.0%
19:教育環境の充実	452 37.3%	442 36.5%	213 17.6%	14 1.2%	1 0.1%	89 7.3%	1,211 100.0%
20:生涯学習環境の充実	293 24.2%	441 36.4%	361 29.8%	24 2.0%	7 0.6%	85 7.0%	1,211 100.0%
21:図書館機能の充実	334 27.6%	446 36.8%	316 26.1%	29 2.4%	15 1.2%	71 5.9%	1,211 100.0%

## 【今後の重要度】

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

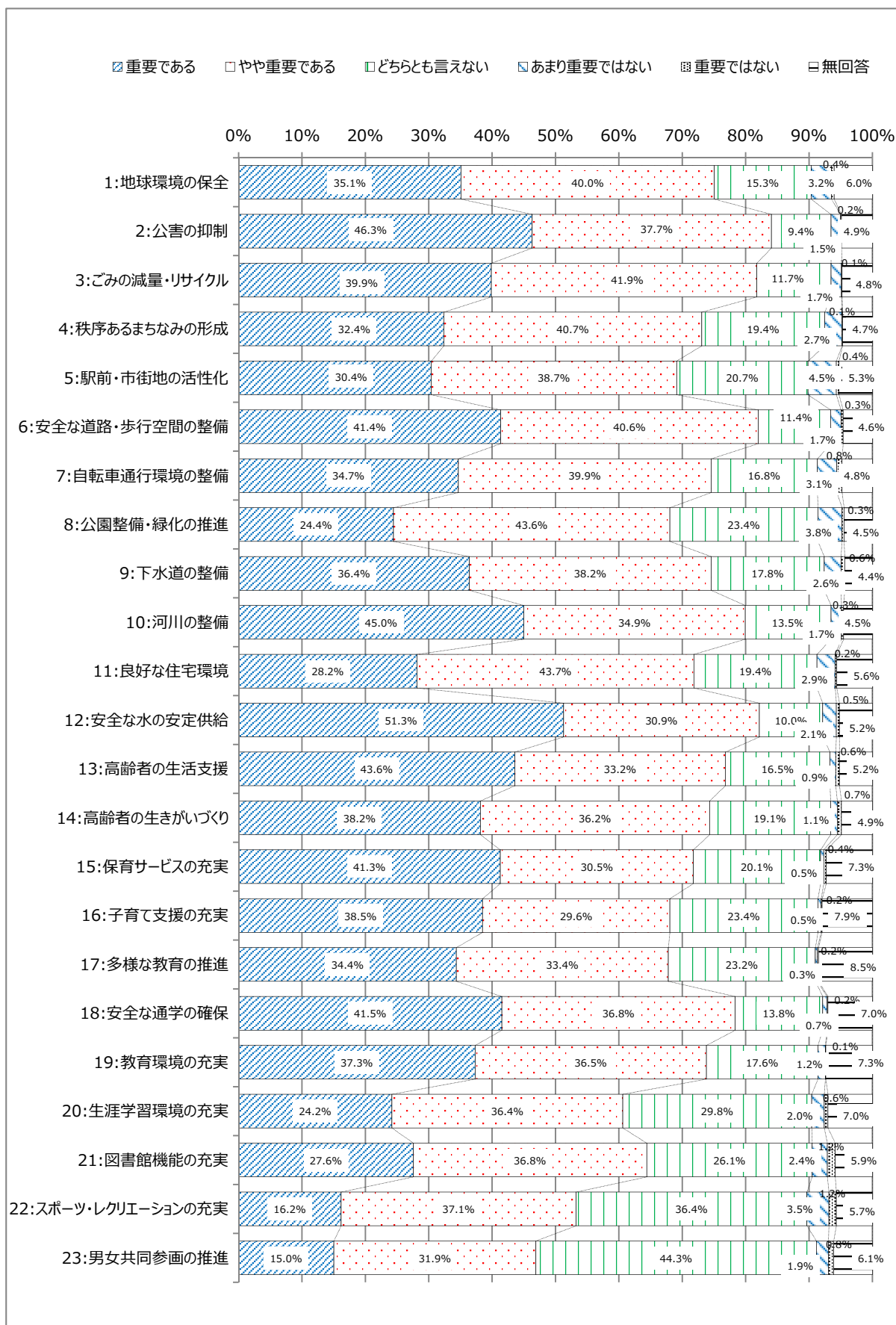
	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
22:スポーツ・レクリエーションの充実	196 16.2%	449 37.1%	441 36.4%	42 3.5%	14 1.2%	69 5.7%	1,211 100.0%
23:男女共同参画の推進	182 15.0%	386 31.9%	536 44.3%	23 1.9%	10 0.8%	74 6.1%	1,211 100.0%
24:文化・交流活動の活性化	143 11.8%	326 26.9%	583 48.1%	58 4.8%	26 2.1%	75 6.2%	1,211 100.0%
25:商店街の活性化	316 26.1%	513 42.4%	241 19.9%	54 4.5%	19 1.6%	68 5.6%	1,211 100.0%
26:創業・起業支援	370 30.6%	461 38.1%	266 22.0%	27 2.2%	11 0.9%	76 6.3%	1,211 100.0%
27:雇用の場の確保	353 29.1%	464 38.3%	279 23.0%	30 2.5%	10 0.8%	75 6.2%	1,211 100.0%
28:農業の振興	247 20.4%	459 37.9%	378 31.2%	33 2.7%	16 1.3%	78 6.4%	1,211 100.0%
29:観光の振興	239 19.7%	418 34.5%	372 30.7%	81 6.7%	31 2.6%	70 5.8%	1,211 100.0%
30:地域防災	432 35.7%	464 38.3%	224 18.5%	12 1.0%	4 0.3%	75 6.2%	1,211 100.0%
31:災害への備え	481 39.7%	456 37.7%	190 15.7%	5 0.4%	6 0.5%	73 6.0%	1,211 100.0%
32:地域防犯	410 33.9%	496 41.0%	210 17.3%	17 1.4%	6 0.5%	72 5.9%	1,211 100.0%
33:消防・救急体制の充実	516 42.6%	424 35.0%	195 16.1%	4 0.3%	1 0.1%	71 5.9%	1,211 100.0%
34:障害者の生活支援	394 32.5%	472 39.0%	243 20.1%	13 1.1%	5 0.4%	84 6.9%	1,211 100.0%
35:福祉相談体制の整備	375 31.0%	447 36.9%	290 23.9%	9 0.7%	4 0.3%	86 7.1%	1,211 100.0%
36:健康づくり	282 23.3%	475 39.2%	347 28.7%	21 1.7%	3 0.2%	83 6.9%	1,211 100.0%
37:地域医療体制の整備	551 45.5%	437 36.1%	145 12.0%	9 0.7%	3 0.2%	66 5.5%	1,211 100.0%
38:社会保障制度の充実	545 45.0%	418 34.5%	166 13.7%	5 0.4%	2 0.2%	75 6.2%	1,211 100.0%
39:市民相談の充実	284 23.5%	480 39.6%	359 29.6%	18 1.5%	4 0.3%	66 5.5%	1,211 100.0%
40:迅速・適切な行政サービス	317 26.2%	475 39.2%	333 27.5%	17 1.4%	3 0.2%	66 5.5%	1,211 100.0%
41:公共交通の充実	384 31.7%	519 42.9%	216 17.8%	23 1.9%	5 0.4%	64 5.3%	1,211 100.0%
42:市民活動の活性化	174 14.4%	415 34.3%	500 41.3%	42 3.5%	7 0.6%	73 6.0%	1,211 100.0%
43:市民への情報提供	245 20.2%	477 39.4%	392 32.4%	27 2.2%	0 0.0%	70 5.8%	1,211 100.0%

## 【今後の重要度】

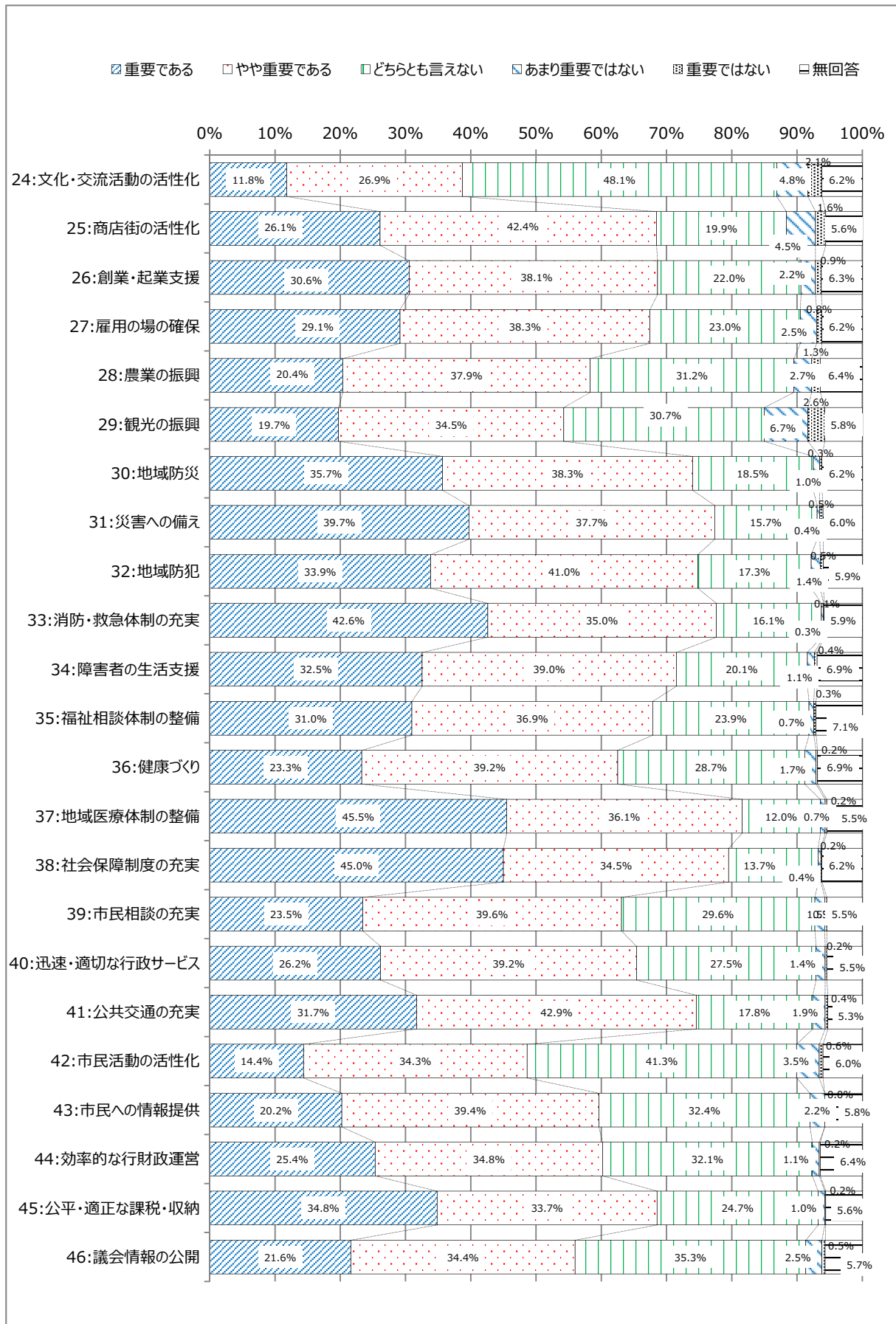
[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
44:効率的な行財政運営	307 25.4%	422 34.8%	389 32.1%	13 1.1%	2 0.2%	78 6.4%	1,211 100.0%
45:公平・適正な課税・収納	422 34.8%	408 33.7%	299 24.7%	12 1.0%	2 0.2%	68 5.6%	1,211 100.0%
46:議会情報の公開	262 21.6%	416 34.4%	428 35.3%	30 2.5%	6 0.5%	69 5.7%	1,211 100.0%

【今後の重要度】



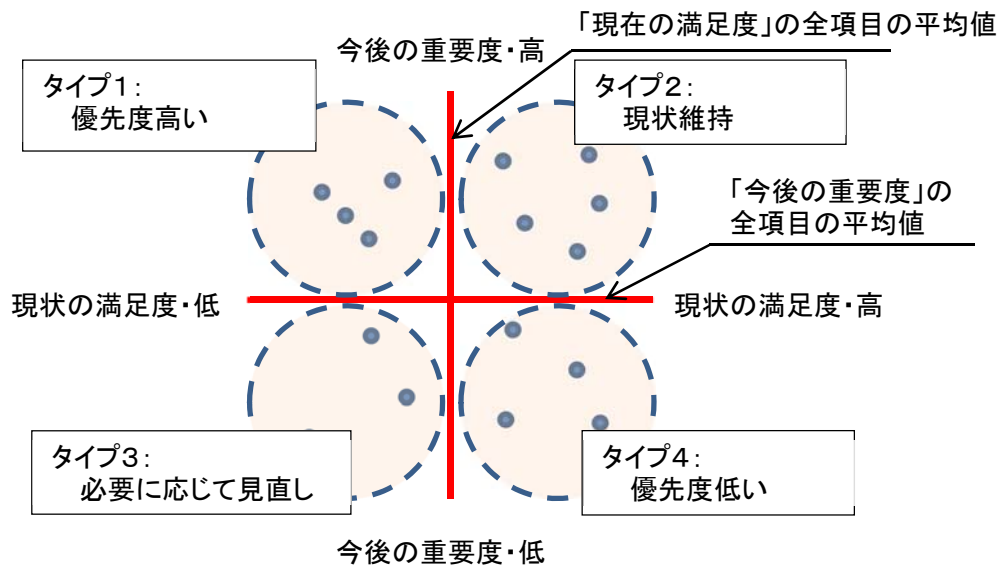
【今後の重要度】



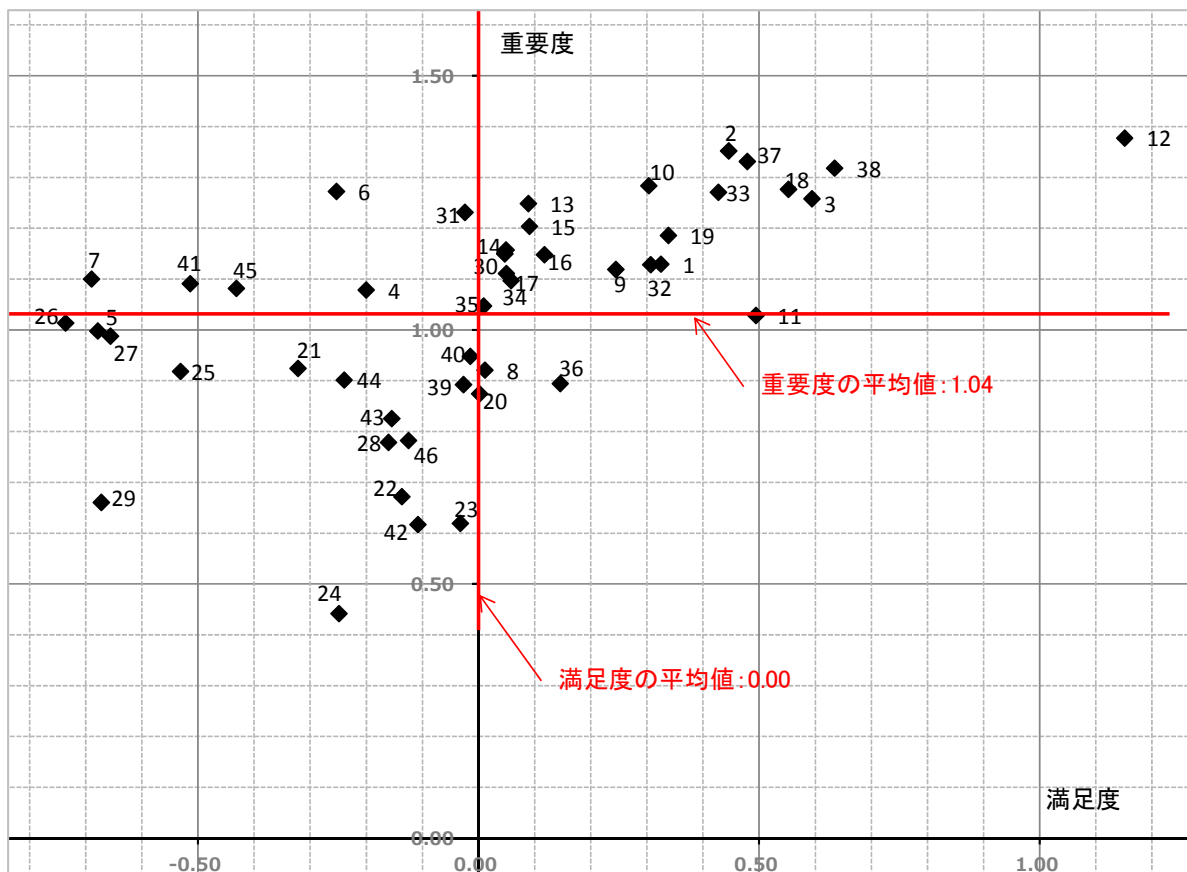
## 2.4.2 分析結果

46の取り組みについて満足度・重要度を図化すると、下図のようになっています。

全ての取り組みの重要度は0以上となっており、平均値は1.04となりました。また、満足度は低いものと高いものが見られますが、平均値は0.00となりました。この平均値を軸とした評価軸を赤線で示しています。この評価軸を基に、今後の取組の方向性をタイプ分類すると、次頁の表のようになります。



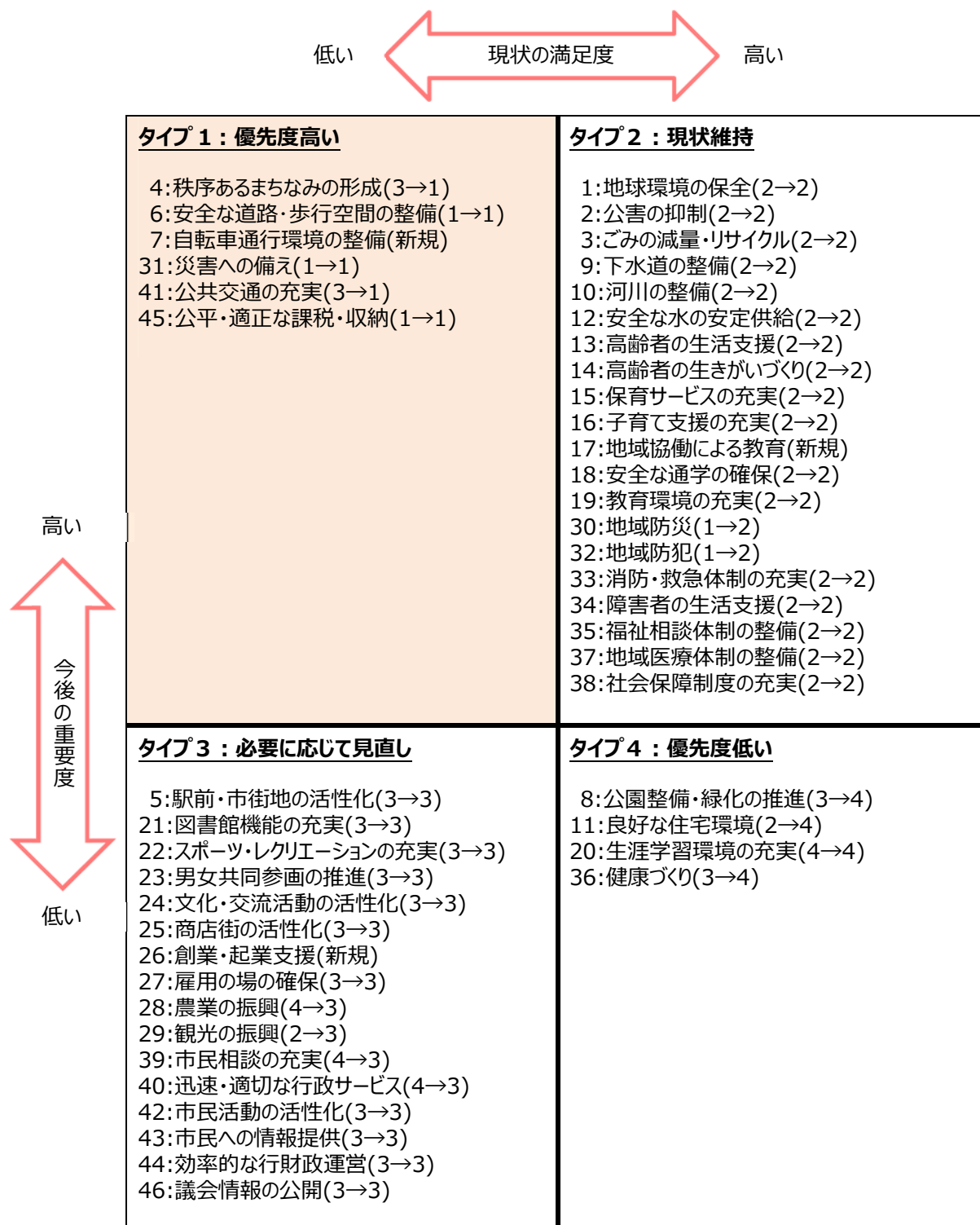
### ◆「現状の満足度」と「今後の重要度」の散布図





◆「現状の満足度」と「今後の重要度」のタイプ分類整理表

「タイプ1：優先度高い」に抽出された取り組みは、まちなみの形成や安全な道路・歩行空間などの基盤整備に関する取り組み、自転車通行環境の整備や公共交通の充実などの移動に関する取り組み、災害への備えに関する取り組み、公平・適正な課税・収納に関する取り組みとなっています。



※各施策タイトル末尾のカッコ内の数字について：  
 ([平成 18 年度調査時タイプ番号] → [平成 28 年度調査時タイプ番号])

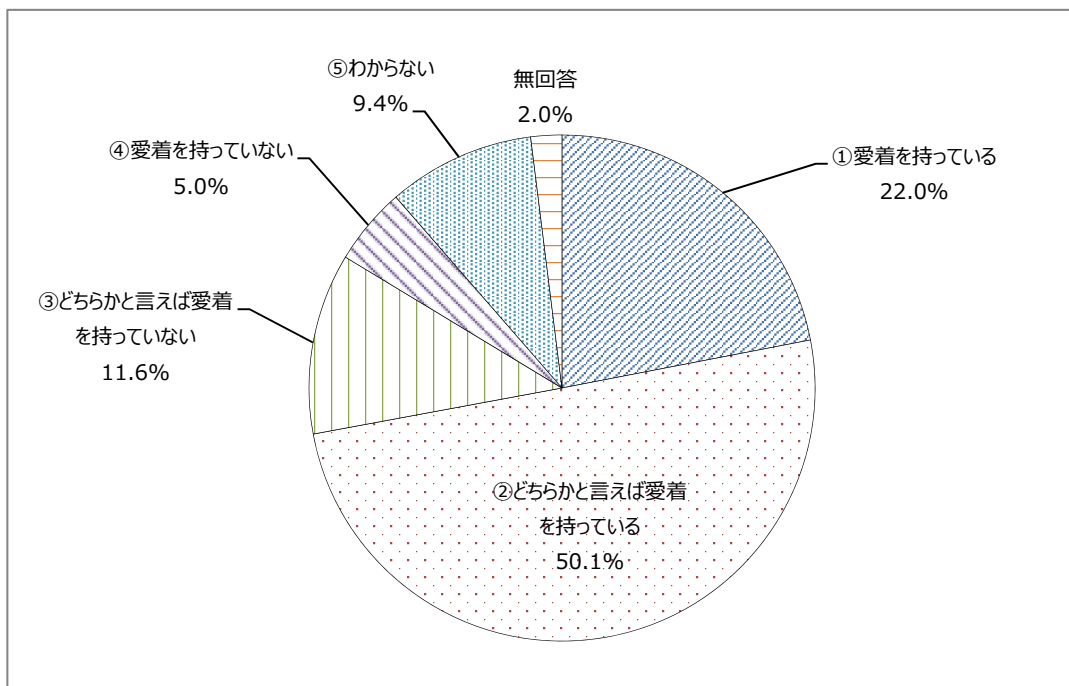
## 2.5 個別施策について

### 2.5.1 シティプロモーションについて

#### (1) 江南市への愛着を持っていますか。

江南市への愛着については、「②どちらかと言えば愛着を持っている」が50.1%と最も多く、次いで「①愛着を持っている」が22.0%となっており、合計すると72.1%となっています。

	回答数	構成比
①愛着を持っている	266	22.0%
②どちらかと言えば愛着を持っている	607	50.1%
③どちらかと言えば愛着を持っていない	140	11.6%
④愛着を持っていない	60	5.0%
⑤わからない	114	9.4%
無回答	24	2.0%
合計	1,211	100.0%

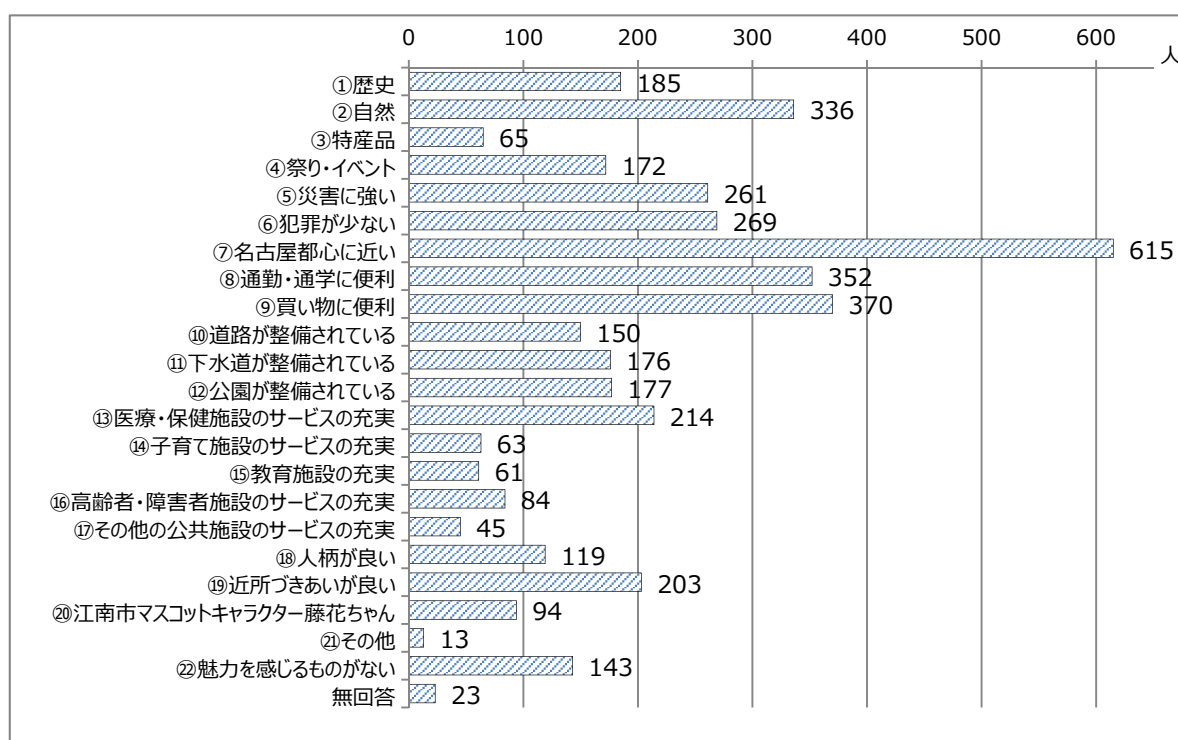


(2) 江南市のどんなところに魅力を感じますか。(複数回答可)

江南市の魅力については、「⑦名古屋都心に近い」が最も多く、次いで「⑨買い物に便利」、「⑧通勤・通学に便利」の順となっています。

	回答数	構成比
①歴史	185	15.3%
②自然	336	27.7%
③特産品	65	5.4%
④祭り・イベント	172	14.2%
⑤災害に強い	261	21.6%
⑥犯罪が少ない	269	22.2%
⑦名古屋都心に近い	615	50.8%
⑧通勤・通学に便利	352	29.1%
⑨買い物に便利	370	30.6%
⑩道路が整備されている	150	12.4%
⑪下水道が整備されている	176	14.5%
⑫公園が整備されている	177	14.6%
⑬医療・保健施設のサービスの充実	214	17.7%
⑭子育て施設のサービスの充実	63	5.2%
⑮教育施設の充実	61	5.0%
⑯高齢者・障害者施設のサービスの充実	84	6.9%
⑰その他の公共施設のサービスの充実	45	3.7%
⑱人柄が良い	119	9.8%
⑲近所づきあいが良い	203	16.8%
⑳江南市マスコットキャラクター 藤花ちゃん	94	7.8%
㉑その他	13	1.1%
㉒魅力を感じるものがない	143	11.8%
無回答	23	1.9%

(回答者数 = 1,211)

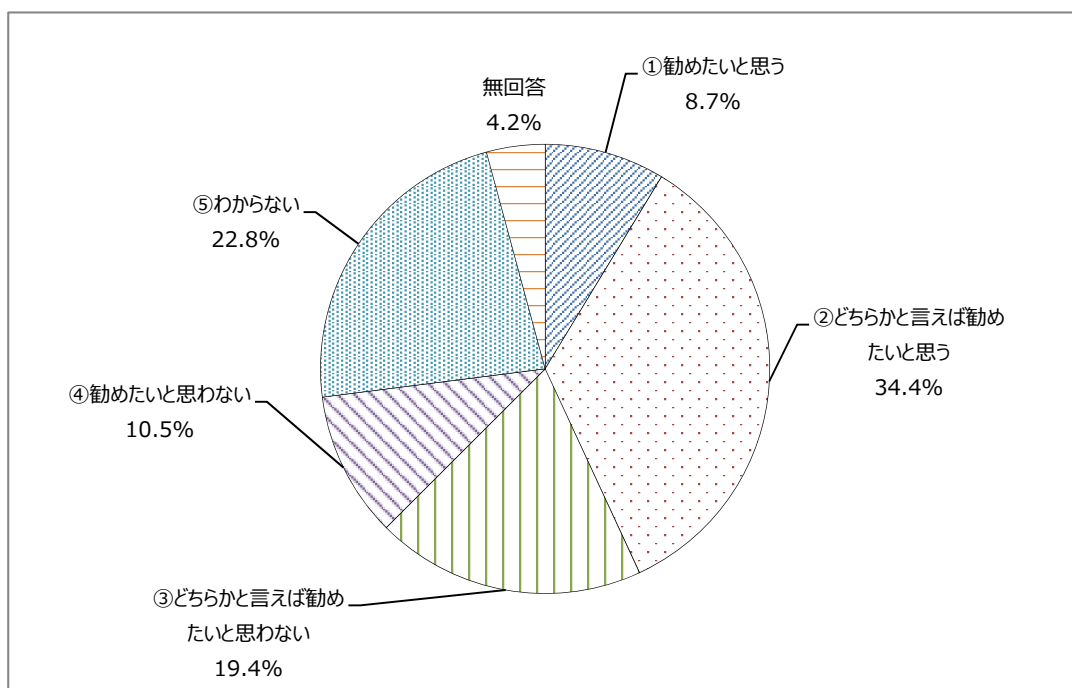


(3) 市外の人に移住を勧めたいと思いますか。

市外の人に移住を勧めたいかについて、最も多いのは「②どちらかと言えば勧めたいと思う」が、34.4%となっています。

なお、「①勧めたいと思う」8.7%と「②どちらかと言えば勧めたいと思う」34.4%の合計が43.1%、「③どちらかと言えば勧めたいと思わない」19.4%と「④勧めたいと思わない」10.5%の合計が29.9%となっており、「移住を勧めたい」という回答が上回っている結果となっています。

	回答数	構成比
①勧めたいと思う	105	8.7%
②どちらかと言えば勧めたいと思う	417	34.4%
③どちらかと言えば勧めたいと思わない	235	19.4%
④勧めたいと思わない	127	10.5%
⑤わからない	276	22.8%
無回答	51	4.2%
合計	1,211	100.0%

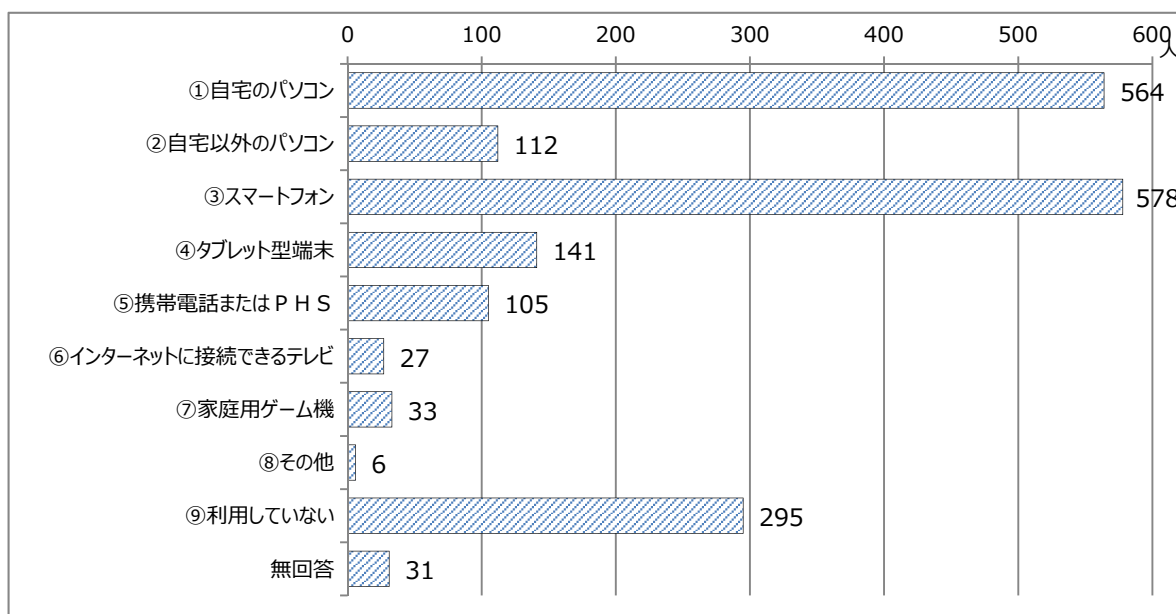


#### (4) インターネット利用時に利用する情報端末（複数回答可）

インターネット利用時に利用する情報端末で、最も多かったのは、「③スマートフォン」が 47.7%となっており、次いで「①自宅のパソコン」が 46.6%、「④タブレット型端末」の 11.6%となっています。

	回答数	構成比
①自宅のパソコン	564	46.6%
②自宅以外のパソコン	112	9.2%
③スマートフォン	578	47.7%
④タブレット型端末	141	11.6%
⑤携帯電話または P H S	105	8.7%
⑥インターネットに接続できるテレビ	27	2.2%
⑦家庭用ゲーム機	33	2.7%
⑧その他	6	0.5%
⑨利用していない	295	24.4%
無回答	31	2.6%

(回答者数 = 1,211)



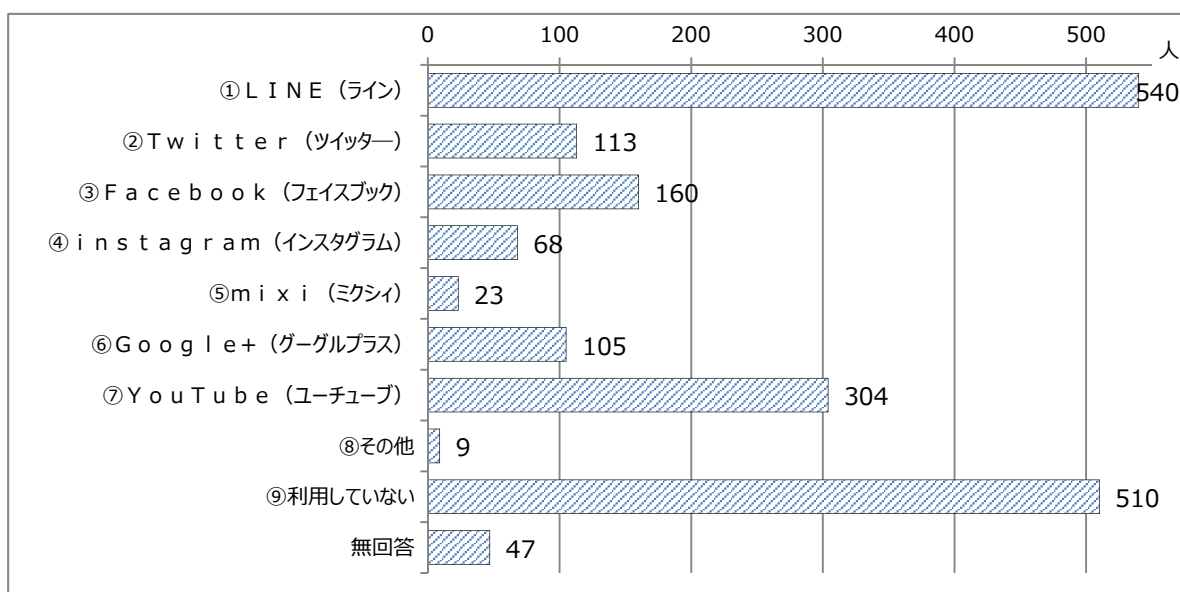
(5) よく利用するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）（複数回答可）

よく利用するSNSで最も多かったのは、「①LINE（ライン）」の44.6%で、次いで「⑦YouTube（ユーチューブ）」の25.1%、「③Facebook（フェイスブック）」の13.2%の順となっています。

一方、「⑨利用していない」が42.1%を占めています。

	回答数	構成比
①LINE（ライン）	540	44.6%
②Twitter（ツイッター）	113	9.3%
③Facebook（フェイスブック）	160	13.2%
④instagram（インスタグラム）	68	5.6%
⑤mixi（ミクシィ）	23	1.9%
⑥Google+（グーグルプラス）	105	8.7%
⑦YouTube（ユーチューブ）	304	25.1%
⑧その他	9	0.7%
⑨利用していない	510	42.1%
無回答	47	3.9%

（回答者数 = 1,211）



## (6) 江南市の市政情報やイベント情報等の発信に関する認知度、利用率

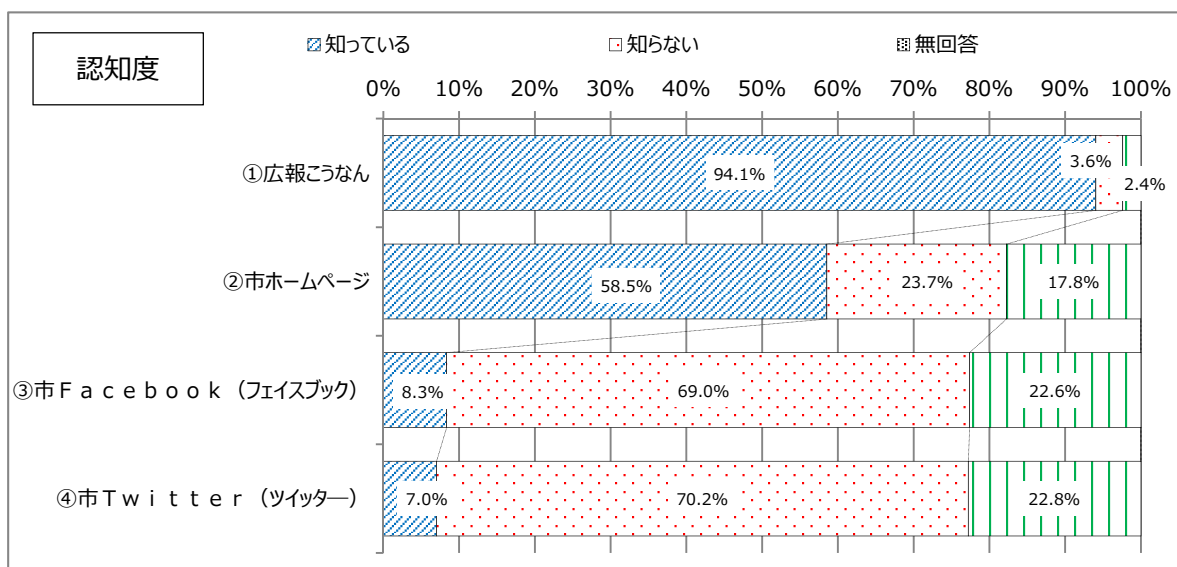
### ①認知度

江南市の市政情報やイベント情報等の発信に関する認知度については、「①広報こうなん」が 94.1%と高い認知度となっており、次いで「②市ホームページ」の 58.5%となっています。

SNS 系の「③市 Facebook (フェイスブック)」、「④市 Twitter (ツイッター)」は各々 8.3%、7.0%と、SNS での情報発信の認知度は低い状況となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

認知度	知っている	知らない	不明	合計
①広報こうなん	1,139 94.1%	43 3.6%	29 2.4%	1,211 100.0%
②市ホームページ	709 58.5%	287 23.7%	215 17.8%	1,211 100.0%
③市 Facebook (フェイスブック)	101 8.3%	836 69.0%	274 22.6%	1,211 100.0%
④市 Twitter (ツイッター)	85 7.0%	850 70.2%	276 22.8%	1,211 100.0%



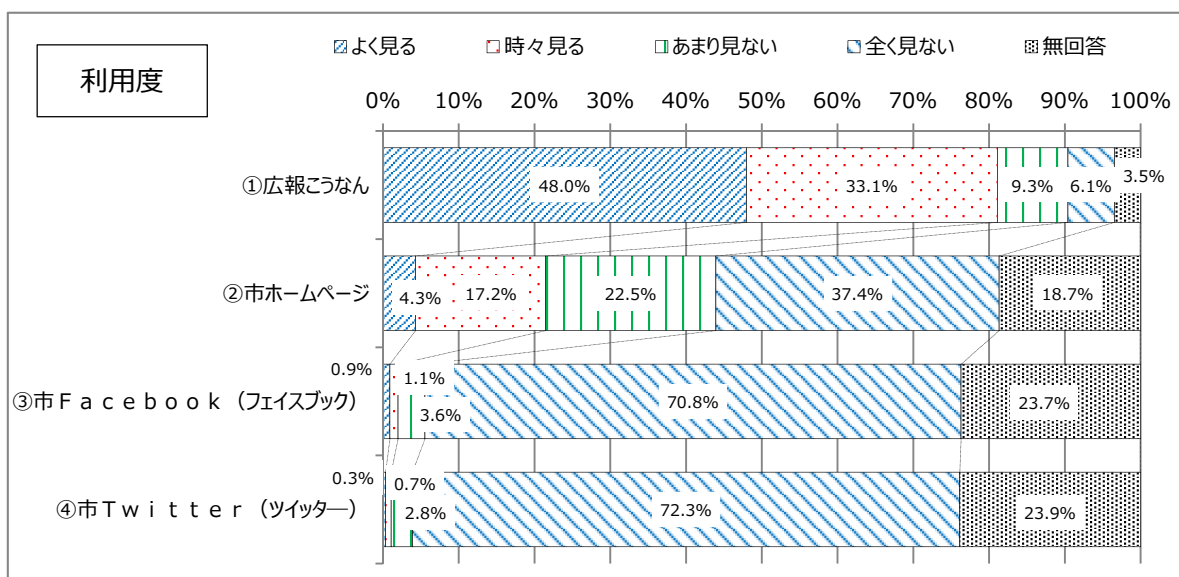
## ②利用度

江南市の市政情報やイベント情報等の発信に関する利用度については、「①広報こうなん」が「よく見る」の48.0%、「時々見る」33.1%を合計すると、81.1%となり、高い利用度となっています。

次いで「②市ホームページ」が、「よく見る」の4.3%、「時々見る」17.2%を合計すると、21.5%となっています。

SNS系の「③市Facebook（フェイスブック）」、「④市Twitter（ツイッター）」は「よく見る」、「時々見る」を合計すると、各々2.0%、1.0%と、SNSでの情報発信の利用度は低い状況となっています。

利用度	よく見る	時々見る	あまり見ない	全く見ない	無回答	合計
①広報こうなん	581 48.0%	401 33.1%	113 9.3%	74 6.1%	42 3.5%	1,211 100.0%
②市ホームページ	52 4.3%	208 17.2%	272 22.5%	453 37.4%	226 18.7%	1,211 100.0%
③市Facebook（フェイスブック）	11 0.9%	13 1.1%	43 3.6%	857 70.8%	287 23.7%	1,211 100.0%
④市Twitter（ツイッター）	4 0.3%	9 0.7%	34 2.8%	875 72.3%	289 23.9%	1,211 100.0%



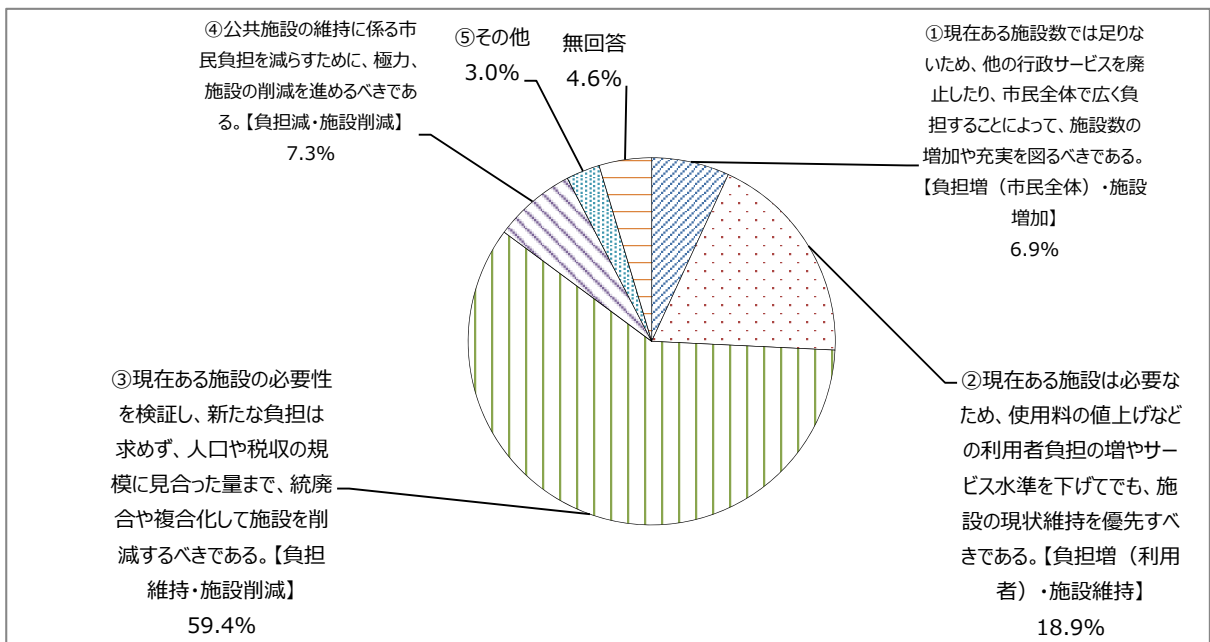


## 2.5.2 公共施設のあり方について

### (1) 今後の公共施設のあり方について

今後の公共施設のあり方について、最も多かったのは「③【負担維持・施設削減】」の59.4%で、次いで「②【負担増（利用者）・施設維持】」の18.9%、「④【負担減・施設削減】」の7.3%となっています。

	回答数	構成比
①現在ある施設数では足りないため、他の行政サービスを廃止したり、市民全体で広く負担することによって、施設数の増加や充実を図るべきである。【負担増（市民全体）・施設増加】	83	6.9%
②現在ある施設は必要のため、使用料の値上げなどの利用者負担の増やサービス水準を下げてでも、施設の現状維持を優先すべきである。【負担増（利用者）・施設維持】	229	18.9%
③現在ある施設の必要性を検証し、新たな負担は求めず、人口や税収の規模に見合った量まで、統廃合や複合化して施設を削減するべきである。【負担維持・施設削減】	719	59.4%
④公共施設の維持に係る市民負担を減らすために、極力、施設の削減を進めるべきである。【負担減・施設削減】	88	7.3%
⑤その他	36	3.0%
無回答	56	4.6%
合計	1,211	100.0%

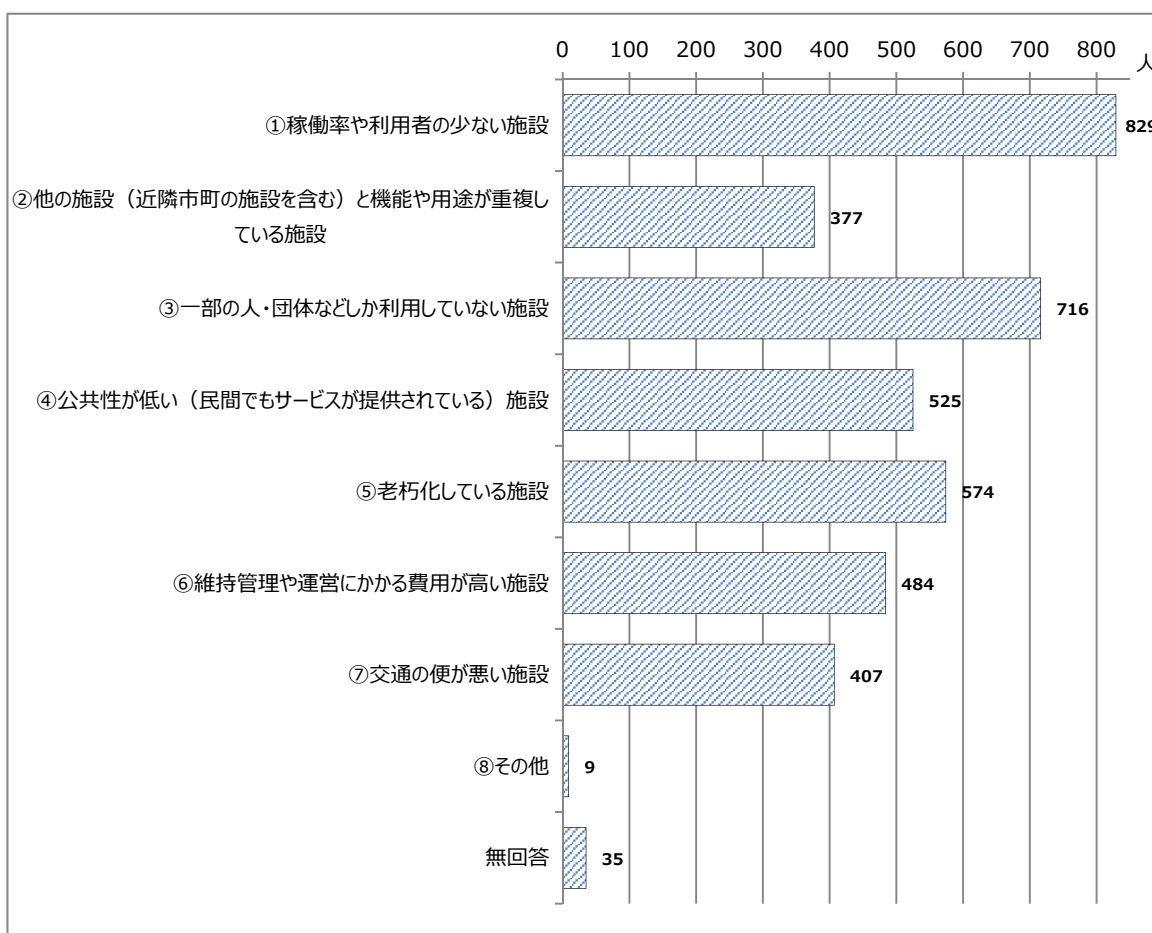


## (2) 公共施設の統廃合の検討対象施設について（複数回答可）

公共施設の統廃合の検討対象施設について、最も多かったのは「①稼働率や利用者の少ない施設」の68.5%で、次いで「③一部の人・団体などしか利用していない施設」の59.1%、「⑤老朽化している施設」の47.4%となっています。

	回答数	構成比
①稼働率や利用者の少ない施設	829	68.5%
②他の施設（近隣市町の施設を含む）と機能や用途が重複している施設	377	31.1%
③一部の人・団体などしか利用していない施設	716	59.1%
④公共性が低い（民間でもサービスが提供されている）施設	525	43.4%
⑤老朽化している施設	574	47.4%
⑥維持管理や運営にかかる費用が高い施設	484	40.0%
⑦交通の便が悪い施設	407	33.6%
⑧その他	9	0.7%
無回答	35	2.9%

(回答者数 = 1,211)



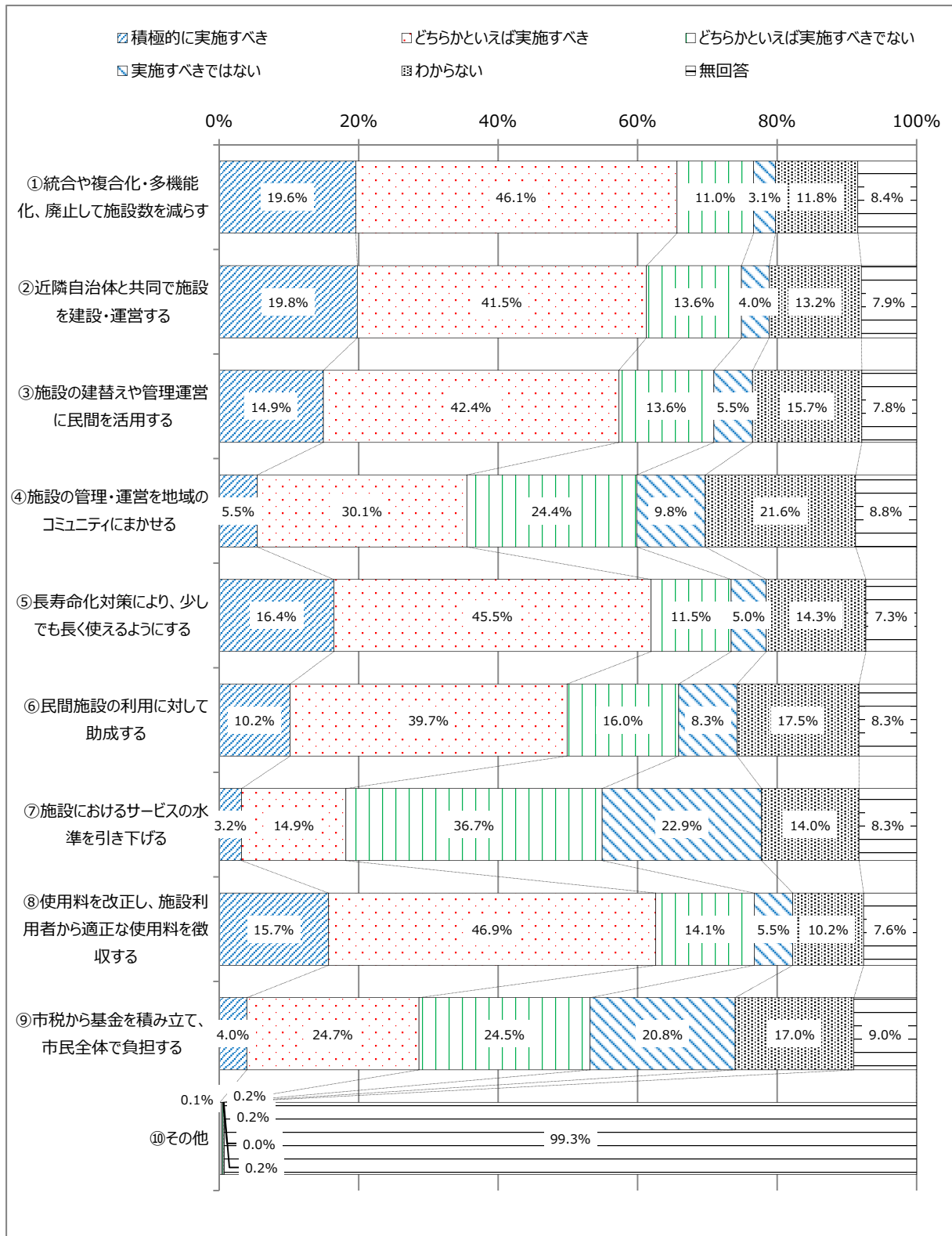
### (3) 公共施設の更新・維持管理費用の財源確保に必要な施策について

公共施設の更新・維持管理費用の財源確保に必要な施策については、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計値で最も多いのは、「①統合や複合化・多機能化、廃止して施設数を減らす」の 65.7%で、次いで「⑧使用料を改正し、施設利用者から適正な使用料を徴収する」の 62.6%、「⑤長寿命化対策により、少しでも長く使えるようにする」の 61.9%となっています。

また、「どちらかといえば実施すべきでない」と「実施すべきでない」の合計値で最も多いのは、「⑦施設におけるサービスの水準を引き下げる」の 59.6%、次いで、「⑨市税から基金を積み立て、市民全体で負担する」の 45.3%、「④施設の管理・運営を地域のコミュニティにまかせる」の 34.2%となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきではない	わからない	無回答	合計
①統合や複合化・多機能化、廃止して施設数を減らす	237 19.6%	558 46.1%	133 11.0%	38 3.1%	143 11.8%	102 8.4%	1,211 100.0%
②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	240 19.8%	502 41.5%	165 13.6%	48 4.0%	160 13.2%	96 7.9%	1,211 100.0%
③施設の建替えや管理運営に民間を活用する	181 14.9%	513 42.4%	165 13.6%	67 5.5%	190 15.7%	95 7.8%	1,211 100.0%
④施設の管理・運営を地域のコミュニティにまかせる	66 5.5%	364 30.1%	295 24.4%	119 9.8%	261 21.6%	106 8.8%	1,211 100.0%
⑤長寿命化対策により、少しでも長く使えるようにする	199 16.4%	551 45.5%	139 11.5%	61 5.0%	173 14.3%	88 7.3%	1,211 100.0%
⑥民間施設の利用に対して助成する	123 10.2%	481 39.7%	194 16.0%	101 8.3%	212 17.5%	100 8.3%	1,211 100.0%
⑦施設におけるサービスの水準を引き下げる	39 3.2%	181 14.9%	445 36.7%	277 22.9%	169 14.0%	100 8.3%	1,211 100.0%
⑧使用料を改正し、施設利用者から適正な使用料を徴収する	190 15.7%	568 46.9%	171 14.1%	67 5.5%	123 10.2%	92 7.6%	1,211 100.0%
⑨市税から基金を積み立て、市民全体で負担する	48 4.0%	299 24.7%	297 24.5%	252 20.8%	206 17.0%	109 9.0%	1,211 100.0%
⑩その他	1 0.1%	3 0.2%	3 0.2%	0 0.0%	2 0.2%	1,202 99.3%	1,211 100.0%



## 2.6 個別計画の中間見直しに関する調査

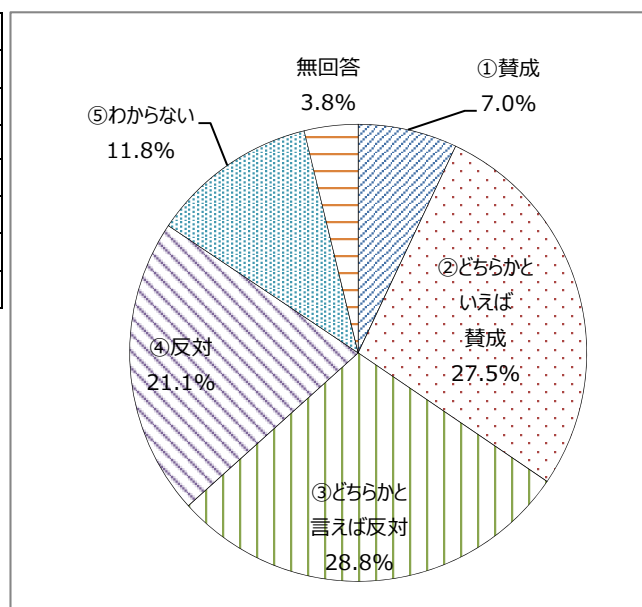
平成 24 年度から平成 33 年度の 10 年間を計画期間としている「第 2 次こうなん男女共同参画プラン」と「第 2 次江南市生涯学習基本計画」の 2 つの計画の中間見直しのために、別途調査にご協力を頂きました。その単純集計結果を以下に示します。

### 2.6.1 男女共同参画について

(1) あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、「①賛成」の 7.0%と「②どちらかといえば賛成」の 27.5%を合計すると 34.5%、一方、「③どちらかといえば反対」の 28.8%と「④反対」の 21.1%を合計すると 49.9%となっており、反対意見が賛成意見より 15.4 ポイント上回っています。

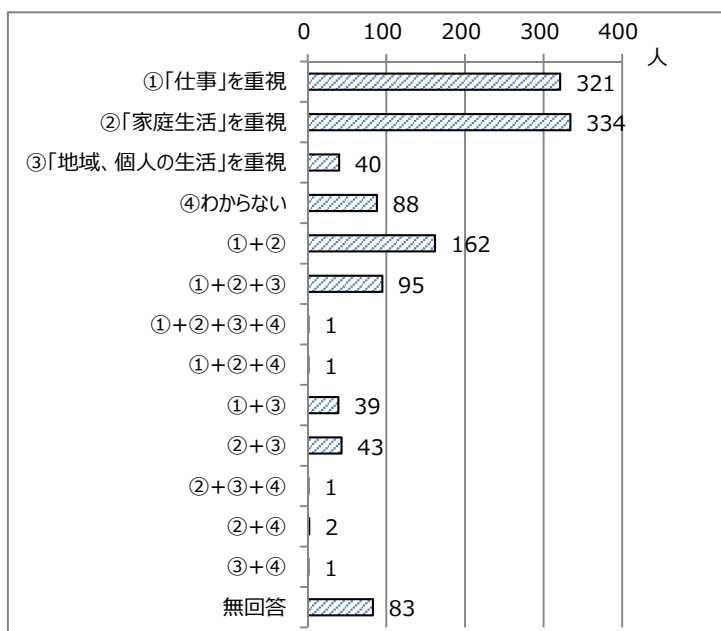
	回答数	構成比
①賛成	85	7.0%
②どちらかといえば賛成	333	27.5%
③どちらかといえば反対	349	28.8%
④反対	255	21.1%
⑤わからない	143	11.8%
無回答	46	3.8%
合計	1,211	100.0%



(2) あなたは生活する上でどのようなことを重視していますか。（「A現実の生活」と「B理想（希望）の生活」で重視する項目を全て選択）

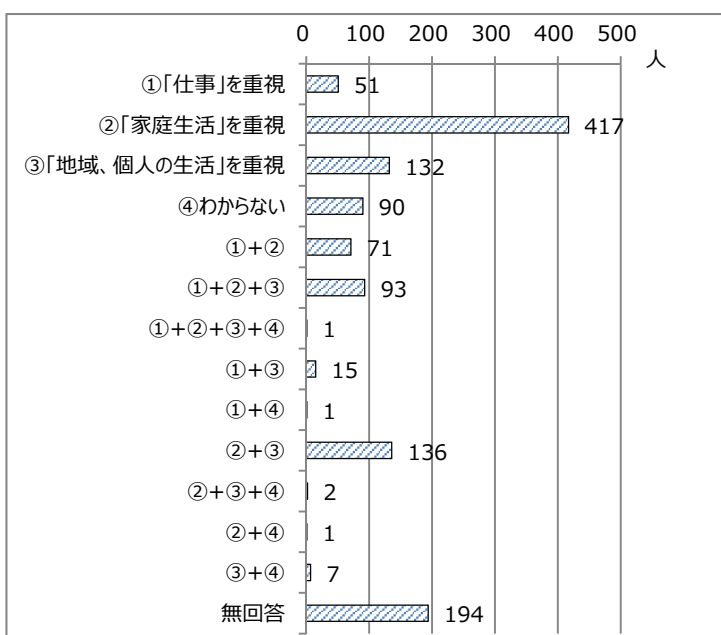
現実の生活では、「家庭生活を重視」のみを選択した回答者が最も多く、次いで「仕事を重視」の順となっていますが瀕差となっています。

A 現実の生活	回答数
①「仕事」を重視	321
②「家庭生活」を重視	334
③「地域、個人の生活」を重視	40
④わからない	88
①+②	162
①+②+③	95
①+②+③+④	1
①+②+④	1
①+③	39
②+③	43
②+③+④	1
②+④	2
③+④	1
無回答	83
総計	1,211



一方、理想（希望）の生活では、「家庭生活を重視」のみを選択した回答者が最も多く、次いで「家庭生活を重視」と「地域、個人の生活を重視」の両方を選択した回答者が多くなっています。

B 理想の生活	回答数
①「仕事」を重視	51
②「家庭生活」を重視	417
③「地域、個人の生活」を重視	132
④わからない	90
①+②	71
①+②+③	93
①+②+③+④	1
①+③	15
①+④	1
②+③	136
②+③+④	2
②+④	1
③+④	7
無回答	194
総計	1,211

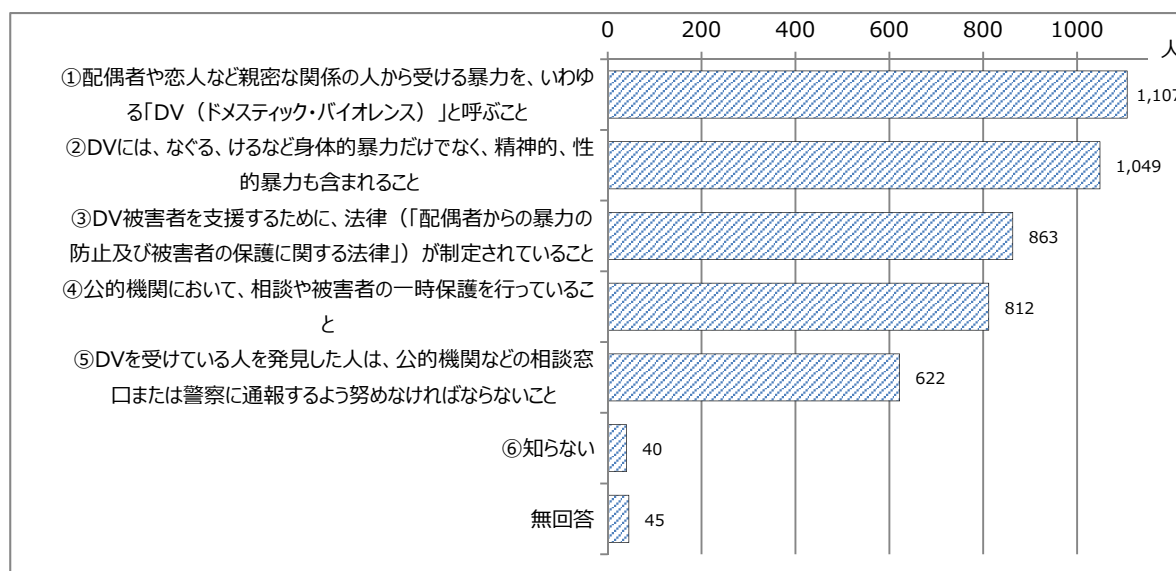


(3) あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する次のことについて知っていますか。（複数回答）

DV（ドメスティック・バイオレンス）の言葉の意味・内容に関する認識については、「①配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「DV（ドメスティック・バイオレンス）」と呼ぶこと」が91.4%と最も多く認知されており、次いで「②DVには、なぐる、けるなど身体的暴力だけでなく、精神的、性的暴力も含まれること」の86.6%、「③DV被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されていること」の71.3%の順となっています。

	回答数	構成比
①配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「DV（ドメスティック・バイオレンス）」と呼ぶこと	1,107	91.4%
②DVには、なぐる、けるなど身体的暴力だけでなく、精神的、性的暴力も含まれること	1,049	86.6%
③DV被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されていること	863	71.3%
④公的機関において、相談や被害者の一時保護を行っていること	812	67.1%
⑤DVを受けている人を発見した人は、公的機関などの相談窓口または警察に通報するよう努めなければならないこと	622	51.4%
⑥知らない	40	3.3%
無回答	45	3.7%

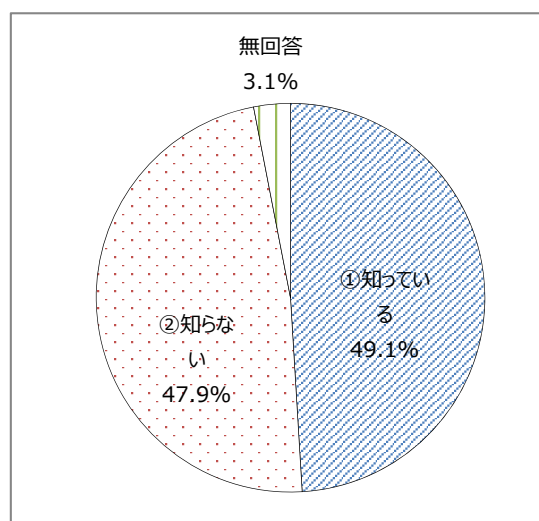
(回答者数 = 1,211)



(4) あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。

DV相談窓口の認知度は、「①知っている」が49.1%、「②知らない」が47.9%となっています。

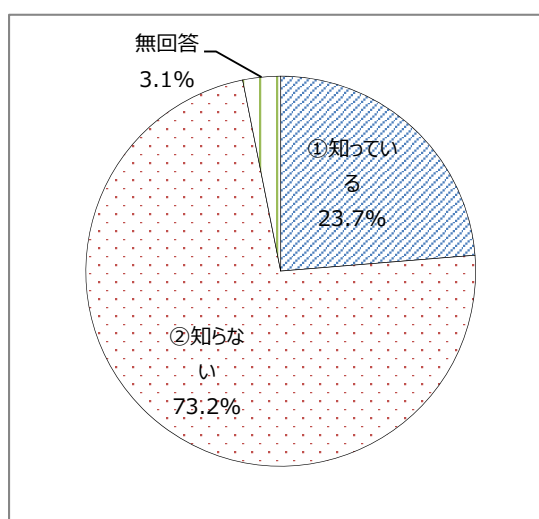
	回答数	構成比
①知っている	594	49.1%
②知らない	580	47.9%
無回答	37	3.1%
合計	1,211	100.0%



(5) あなたは、江南市が平成22年2月20日に江南市男女共同参画都市宣言を行っていることを知っていますか。

江南市男女共同参画都市宣言の認知度は、「①知っている」が23.7%、「②知らない」が73.2%となっており、認知度が低い状況となっています。

	回答数	構成比
①知っている	287	23.7%
②知らない	886	73.2%
無回答	38	3.1%
合計	1,211	100.0%



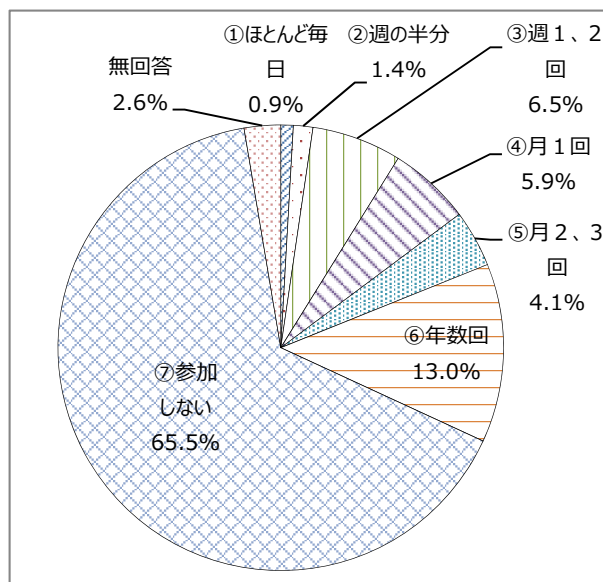


## 2.6.2 生涯学習について

(1) あなたは、生活上の課題解決方法を学ぶことや、趣味を生かした文化活動、レクリエーションを行う生涯学習活動にどの程度参加していますか。

生涯学習活動への参加頻度については、「⑦参加しない」が 65.5%と最も多く、次いで、「⑥年数回」の 13.0%、「③週 1、2 回」の 6.5%の順となっています。

	回答数	構成比
①ほとんど毎日	11	0.9%
②週の半分	17	1.4%
③週 1、2 回	79	6.5%
④月 1 回	72	5.9%
⑤月 2、3 回	50	4.1%
⑥年数回	157	13.0%
⑦参加しない	793	65.5%
無回答	32	2.6%
合計	1,211	100.0%

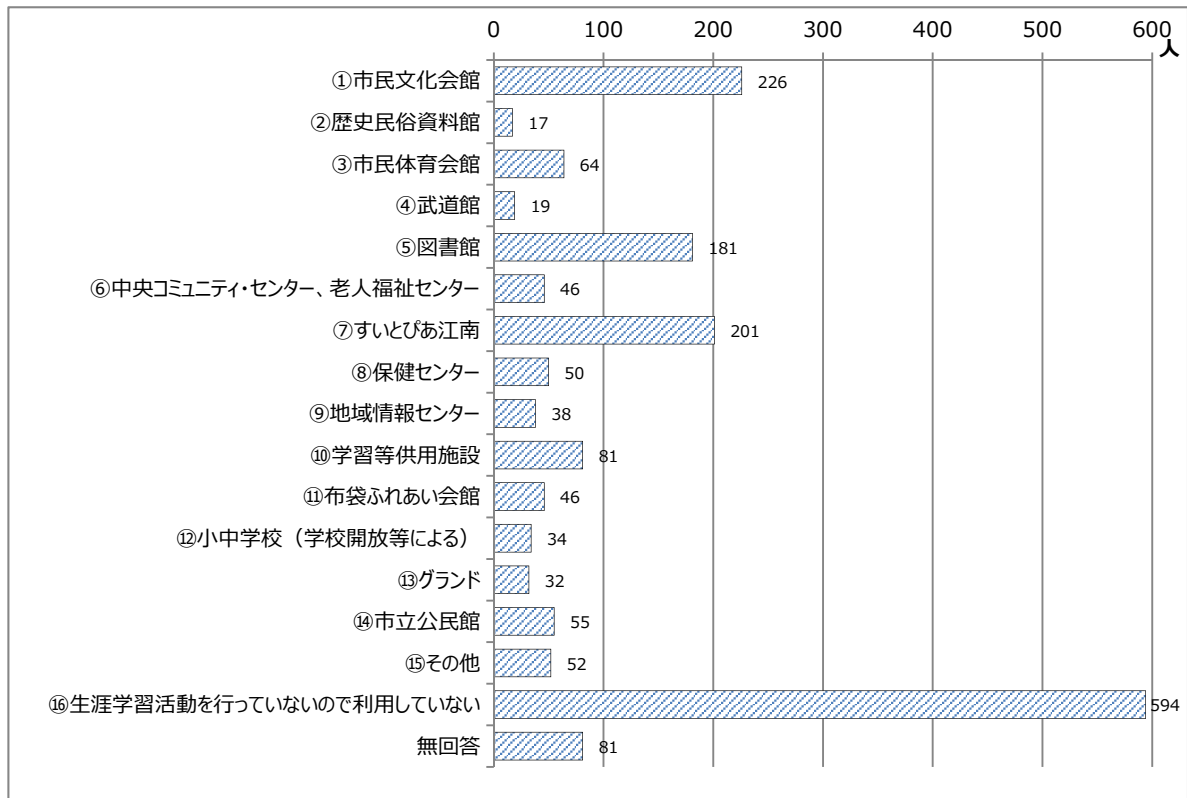


(2) あなたが生涯学習活動を行うときに、どこの施設をよく利用しますか。

(利用頻度の高い施設を 3 つ選択)

生涯学習活動で、よく利用する施設は、最も多いのが「①市民文化会館」の 18.7%で、次いで「⑦すいとびあ江南」の 16.6%、「⑤図書館」の 14.9%の順となっています。

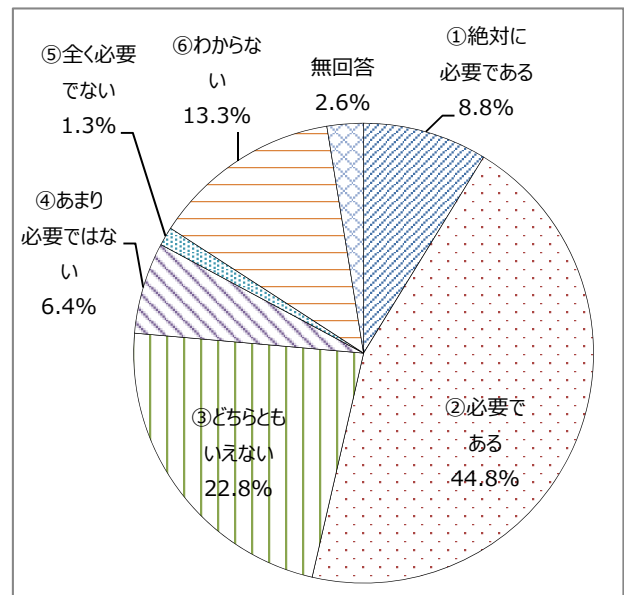
	回答数	構成比
①市民文化会館	226	18.7%
②歴史民俗資料館	17	1.4%
③市民体育会館	64	5.3%
④武道館	19	1.6%
⑤図書館	181	14.9%
⑥中央コミュニティ・センター、老人福祉センター	46	3.8%
⑦すいとびあ江南	201	16.6%
⑧保健センター	50	4.1%
⑨地域情報センター	38	3.1%
⑩学習等供用施設	81	6.7%
⑪布袋ふれあい会館	46	3.8%
⑫小中学校（学校開放等による）	34	2.8%
⑬グラウンド	32	2.6%
⑭市立公民館	55	4.5%
⑮その他	52	4.3%
⑯生涯学習活動を行っていないので利用していない	594	49.1%
無回答	81	6.7%



(3) あなたは、一般的に、生涯学習活動の必要性についてどのように思いますか。

生涯学習活動の必要性については、「絶対に必要である」8.8%、「必要である」44.8%を合計すると53.6%と過半数を超えています。

	回答数	構成比
①絶対に必要である	106	8.8%
②必要である	543	44.8%
③どちらともいえない	276	22.8%
④あまり必要ではない	78	6.4%
⑤全く必要でない	16	1.3%
⑥わからない	161	13.3%
無回答	31	2.6%
合計	1,211	100.0%



(4) 市における生涯学習活動の現状の満足度と、今後の重要度について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ選んで下さい。

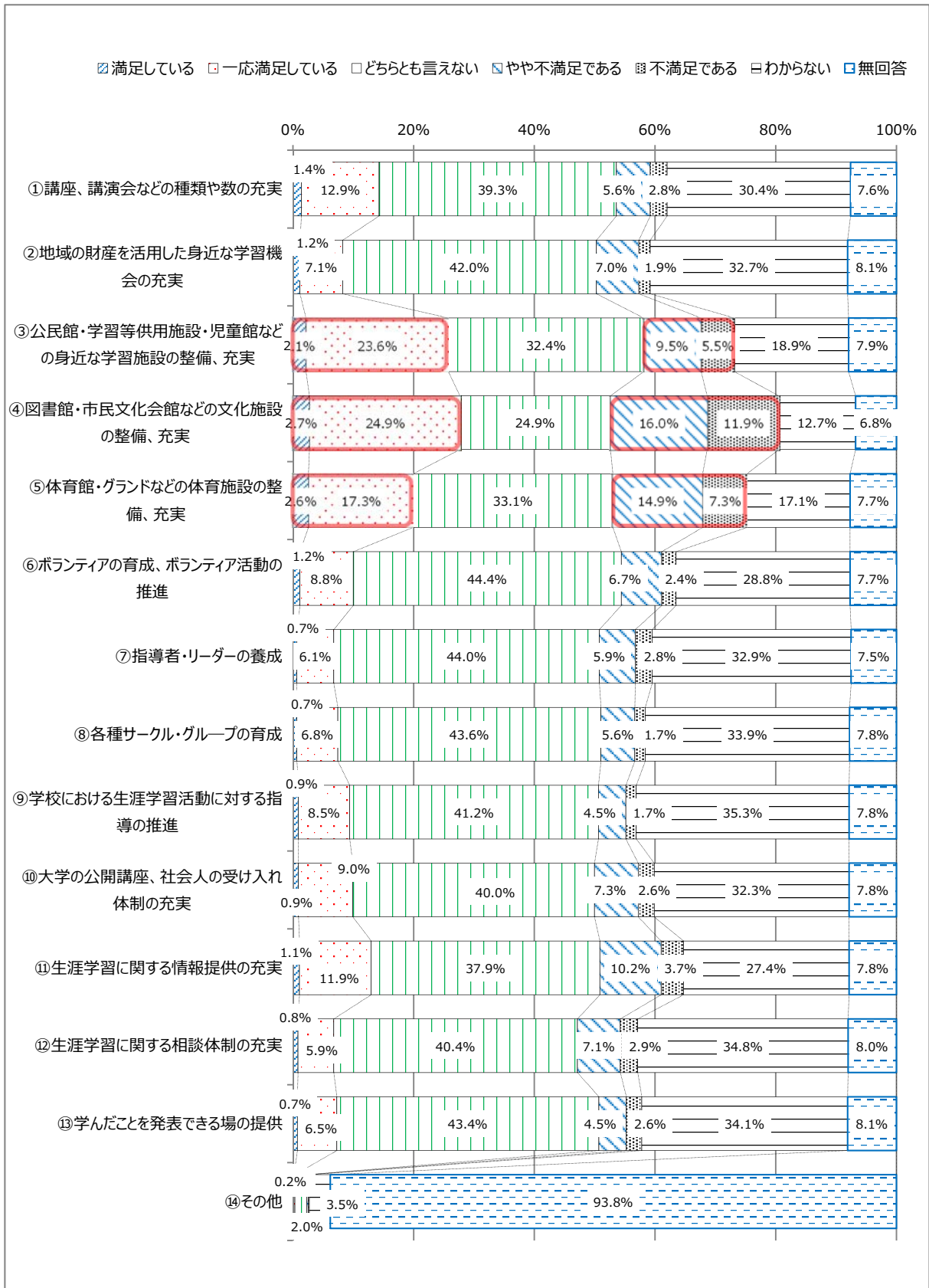
①現状の満足度

生涯学習活動の現状の満足度については、「④図書館・市民文化会館などの文化施設の整備、充実」が、「満足している」、「一応満足している」の合計値が 27.6%で他施設に比べて最も大きくなっており、次いで「③公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設の整備、充実」の 25.7%、「⑤体育館・グラウンドなどの体育施設の整備、充実」の 19.9%の順となっています。

一方、「やや不満足である」、「不満足である」の合計値での上位3位は、満足度の高い上位3位とほぼ同様になっており、「④図書館・市民文化会館などの文化施設の整備、充実」の 27.9%が最も大きく、次いで「⑤体育館・グラウンドなどの体育施設の整備、充実」の 22.2%、「③公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設の整備、充実」の 15.0%の順となっています。

[上段：回答数 下段：構成比(%) ]

	満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	わからない	無回答	合計
①講座、講演会などの種類や数の充実	17 1.4%	156 12.9%	476 39.3%	68 5.6%	34 2.8%	368 30.4%	92 7.6%	1,211 100.0%
②地域の財産を活用した身近な学習機会の充実	14 1.2%	86 7.1%	509 42.0%	85 7.0%	23 1.9%	396 32.7%	98 8.1%	1,211 100.0%
③公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設の整備、充実	26 2.1%	286 23.6%	392 32.4%	115 9.5%	67 5.5%	229 18.9%	96 7.9%	1,211 100.0%
④図書館・市民文化会館などの文化施設の整備、充実	33 2.7%	302 24.9%	302 24.9%	194 16.0%	144 11.9%	154 12.7%	82 6.8%	1,211 100.0%
⑤体育館・グラウンドなどの体育施設の整備、充実	31 2.6%	210 17.3%	401 33.1%	180 14.9%	89 7.3%	207 17.1%	93 7.7%	1,211 100.0%
⑥ボランティアの育成、ボランティア活動の推進	14 1.2%	107 8.8%	538 44.4%	81 6.7%	29 2.4%	349 28.8%	93 7.7%	1,211 100.0%
⑦指導者・リーダーの養成	8 0.7%	74 6.1%	533 44.0%	72 5.9%	34 2.8%	399 32.9%	91 7.5%	1,211 100.0%
⑧各種サークル・グループの育成	8 0.7%	82 6.8%	528 43.6%	68 5.6%	21 1.7%	410 33.9%	94 7.8%	1,211 100.0%
⑨学校における生涯学習活動に対する指導の推進	11 0.9%	103 8.5%	499 41.2%	55 4.5%	21 1.7%	427 35.3%	95 7.8%	1,211 100.0%
⑩大学の公開講座、社会人の受け入れ体制の充実	11 0.9%	109 9.0%	485 40.0%	88 7.3%	32 2.6%	391 32.3%	95 7.8%	1,211 100.0%
⑪生涯学習に関する情報提供の充実	13 1.1%	144 11.9%	459 37.9%	123 10.2%	45 3.7%	332 27.4%	95 7.8%	1,211 100.0%
⑫生涯学習に関する相談体制の充実	10 0.8%	72 5.9%	489 40.4%	86 7.1%	35 2.9%	422 34.8%	97 8.0%	1,211 100.0%
⑬学んだことを発表できる場の提供	9 0.7%	79 6.5%	526 43.4%	55 4.5%	31 2.6%	413 34.1%	98 8.1%	1,211 100.0%
⑭その他	2 0.2%	2 0.2%	24 2.0%	3 0.2%	2 0.2%	42 3.5%	1,136 93.8%	1,211 100.0%



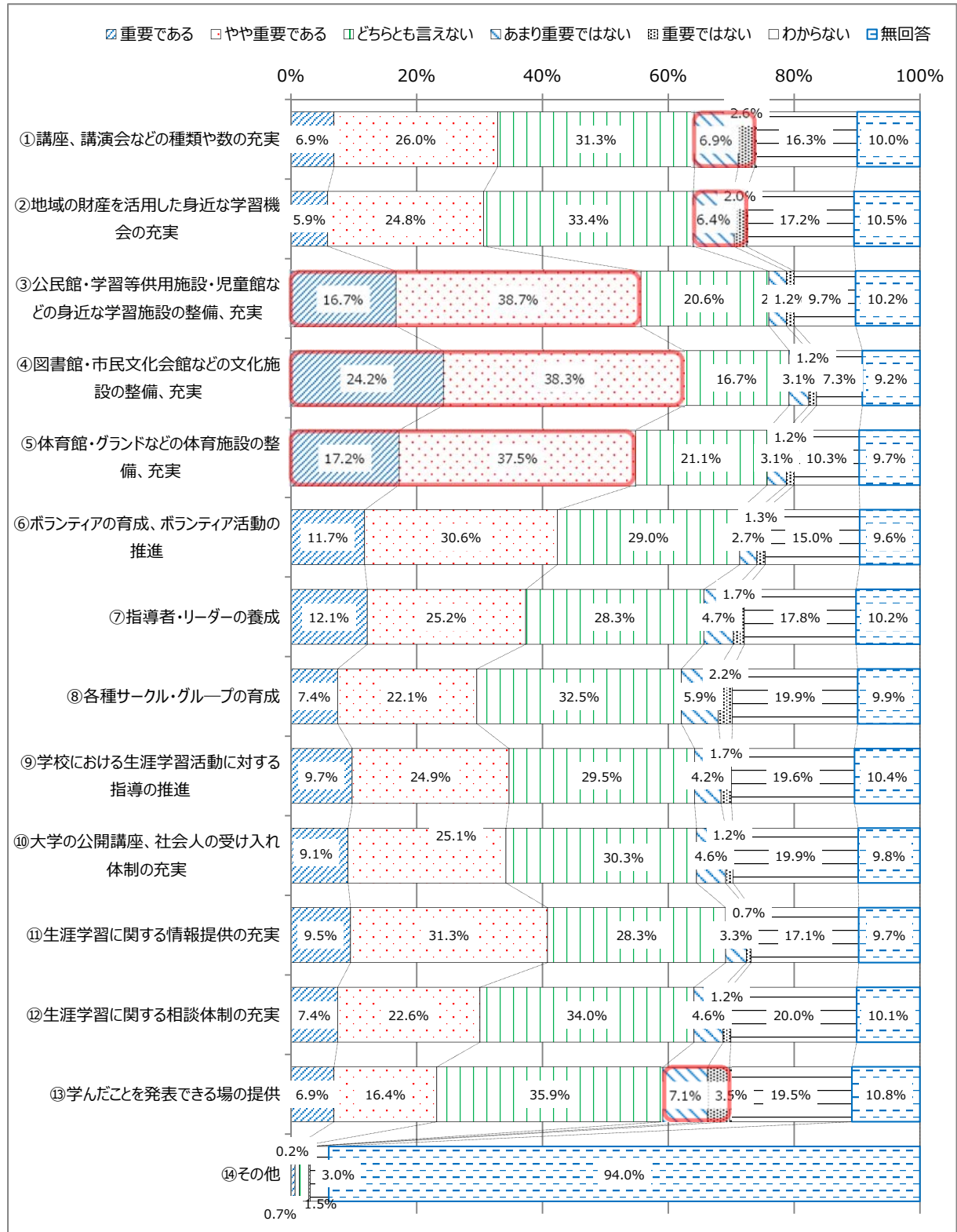
## ②今後の重要度

生涯学習活動の今後の重要度については、「④図書館・市民文化会館などの文化施設の整備、充実」が、「重要である」、「やや重要である」の合計値が 62.5%で他施設に比べて最も大きくなっており、次いで「③公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設の整備、充実」の 55.4%、「⑤体育館・グラウンドなどの体育施設の整備、充実」の 54.7%の順となっています。

一方、「あまり重要ではない」、「重要ではない」の合計値では、「⑩学んだことを発表できる場の提供」が 10.6%と最も大きく、次いで「①講座、講演会などの種類や数の充実」の 9.5%、「②地域の財産を活用した身近な学習機会の充実」の 8.4%の順となっています。

[上段：回答数 下段：構成比（%）]

	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答	合計
①講座、講演会などの種類や数の充実	83 6.9%	315 26.0%	379 31.3%	84 6.9%	32 2.6%	197 16.3%	121 10.0%	1,211 100.0%
②地域の財産を活用した身近な学習機会の充実	71 5.9%	300 24.8%	404 33.4%	77 6.4%	24 2.0%	208 17.2%	127 10.5%	1,211 100.0%
③公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設の整備、充実	202 16.7%	469 38.7%	249 20.6%	34 2.8%	15 1.2%	118 9.7%	124 10.2%	1,211 100.0%
④図書館・市民文化会館などの文化施設の整備、充実	293 24.2%	464 38.3%	202 16.7%	38 3.1%	15 1.2%	88 7.3%	111 9.2%	1,211 100.0%
⑤体育館・グラウンドなどの体育施設の整備、充実	208 17.2%	454 37.5%	255 21.1%	37 3.1%	15 1.2%	125 10.3%	117 9.7%	1,211 100.0%
⑥ボランティアの育成、ボランティア活動の推進	142 11.7%	371 30.6%	351 29.0%	33 2.7%	16 1.3%	182 15.0%	116 9.6%	1,211 100.0%
⑦指導者・リーダーの養成	147 12.1%	305 25.2%	343 28.3%	57 4.7%	21 1.7%	215 17.8%	123 10.2%	1,211 100.0%
⑧各種サークル・グループの育成	90 7.4%	268 22.1%	394 32.5%	71 5.9%	27 2.2%	241 19.9%	120 9.9%	1,211 100.0%
⑨学校における生涯学習活動に対する指導の推進	118 9.7%	302 24.9%	357 29.5%	51 4.2%	20 1.7%	237 19.6%	126 10.4%	1,211 100.0%
⑩大学の公開講座、社会人の受け入れ体制の充実	110 9.1%	304 25.1%	367 30.3%	56 4.6%	14 1.2%	241 19.9%	119 9.8%	1,211 100.0%
⑪生涯学習に関する情報提供の充実	115 9.5%	379 31.3%	343 28.3%	40 3.3%	9 0.7%	207 17.1%	118 9.7%	1,211 100.0%
⑫生涯学習に関する相談体制の充実	90 7.4%	274 22.6%	412 34.0%	56 4.6%	15 1.2%	242 20.0%	122 10.1%	1,211 100.0%
⑬学んだことを発表できる場の提供	83 6.9%	198 16.4%	435 35.9%	86 7.1%	42 3.5%	236 19.5%	131 10.8%	1,211 100.0%
⑭その他	8 0.7%	8 0.7%	18 1.5%	0 0.0%	3 0.2%	36 3.0%	1,138 94.0%	1,211 100.0%



## 2.7 江南市を魅力的なまちにするためのアイデア等について

総数 1,211 票中、386 票（約 31.9%）の回答を頂きました。ご意見の件数は 599 件となっており、将来、よりよい江南市にするためのご意見・ご提案について整理すると、以下のようになっています。

最も多いのは、「1:開発・魅力づくり」の 20.5%、次いで「2:施設整備」の 16.8%、「3:道路交通」の 15.3%の順となっています。

カテゴリー	回答票数	
	件数	割合
1 開発・魅力づくり	79	20.5%
2 施設整備	65	16.8%
3 道路交通	59	15.3%
4 高齢者福祉	48	12.4%
5 産業活性化	41	10.6%
6 子育て	38	9.8%
7 財政	35	9.1%
8 災害対策・下水道整備	35	9.1%
9 イベント・観光対策	31	8.0%
10 医療・福祉全般	25	6.5%
11 ごみ・リサイクル	25	6.5%
12 防犯対策	23	6.0%
13 土地利用	20	5.2%
14 議会・議員	16	4.1%
15 住宅政策	14	3.6%
16 市民意見の反映	13	3.4%
17 学校教育	10	2.6%
18 駅や公共施設のバリアフリー化	9	2.3%
19 市町村合併	7	1.8%
20 その他	6	1.6%
計	599	

### 1. 開発・魅力づくり【79 件】

- ・空きビル、空き家、空き店舗などが多く魅力が乏しい。
- ・駅前に商業施設等を誘致し活性化を目指すべきである。
- ・商店街の活性化。
- ・地域の魅力などについてもっとアピールをして欲しい。
- ・シティプロモーションの推進。
- ・住環境の良さをアピールしてもよいのではないか。

### 2. 施設整備【65 件】

- ・図書館を充実させてほしい。
- ・屋内プール、温水プールを整備してほしい。
- ・駐車場を整備してほしい。

### 3. 道路・公共交通【59 件】

#### (道路)

- ・狭く曲がっている道路が多い。
- ・道路網の整備。
- ・自転車レーンをつくる。

#### (公共交通)

- ・いこまい CAR の利用をしやすい改善してほしい。
- ・バスが不便である。運行本数を増やしてほしい。

### 4. 高齢者福祉【48 件】

- ・元気な高齢者が活躍できる場、働ける場をつくってほしい。
- ・高齢者の健康増進、医療との連携、介護保険の充実等が必要である。
- ・車の運転できない後期高齢者等は買い物が困難となる。
- ・移動手段が制限されるため買物や通院などの支援が必要である。

### 5. 産業活性化【41 件】

- ・若い人が働ける場所を増やしてほしい。
- ・企業の誘致を促進してほしい。

### 6. 子育て【38 件】

- ・子育ての支援は近隣地区に比べて充実していない。
- ・保育園を利用したいが保育料が高く悩んでしまう。
- ・子どもが安心して遊べるような場所が少ない。

### 7. 財政【35 件】

- ・税金は上がるが、サービスの向上は実感できない。
- ・税金をあげるなら市民に反映していることが分かるようにする必要がある。
- ・経費の無駄がないか、経費の使い方について見直しをして欲しい。

### 8. 災害対策・下水道設備【35 件】

- ・防災無線の放送が聞こえにくい（全く聞こえない）ため改善してほしい。
- ・集中豪雨に対応するための浸水対策を促進してほしい。
- ・浄化槽の悪臭がひどいところもあり、管理方法を考えてほしい。

### 9. イベント・観光対策【31 件】

- ・藤まつりや夏まつりなどの良いイベントがあるがマンネリ化している。
- ・観光客を呼び込もうとする姿勢が見られない。
- ・観光的にも歴史的知名度の高い曼陀羅寺などを中心にアピールしてはどうか。



#### 10. 医療・福祉全般【25件】

- ・医療費が中学生まで無料になり、ありがたいと思っている。
- ・福祉の充実を図ってほしい。障害があっても安心して生活できる環境を整備してほしい。
- ・地域の助け合いが円滑にできるようなボランティアシステムを構築してほしい。

#### 11. ごみ・リサイクル【25件】

- ・資源ごみの回収を大口町のように毎日できるようにしてほしい。
- ・資源ごみの分別方法があいまいで分かりにくい。
- ・資源ごみの回収方法を改善してほしい。

#### 12. 防犯対策【23件】

- ・暴走族が多く、バイクの騒音がひどい。
- ・不審者が目立つため警察のパトロールを増やしてほしい。
- ・駅に交番ができたため安心できるようになった。

#### 13. 土地利用【20件】

- ・調整区域が多すぎる。調整区域を減らす。
- ・農地を宅地や商業地に活用できるように制度を緩和する。

#### 14. 議会・議員【16件】

- ・市議会議員を減らし、コストを削減してほしい。
- ・市議会議員はもっと若い人を採用するほうがよい。

#### 15. 住宅政策【14件】

- ・空室の多い江南団地を活用して、名古屋のベッドタウンを目指す。
- ・土地価格を抑えて、若い世代が移り住みやすくすると良い。
- ・家賃補助の充実を望む。

#### 16. 市民意見の反映【13件】

- ・もう少し市民から意見を聞く場や機会があると良い。
- ・若い世代の意見もしっかりと取り込んで欲しい。

#### 17. 学校教育【10件】

- ・小学校の校区の見直しを検討いただきたい。
- ・校区でしぼるのではなく学校の選択制を導入してもらいたい。
- ・中高一貫校等の特徴をつくり外部より生徒を呼び寄せてはどうか。

#### 18. 駅や公共施設のバリアフリー化【9件】

- ・歩道が歩きにくい。車道と歩道をフラットにほしい。
- ・線路の凹凸がひどく、車いすやベビーカーで踏切を渡るのが困難である。

## 19. 市町村合併【7件】

- ・大口町との合併を進めるべきである。
- ・市町村の合併を再検討してほしい。

## 20. その他【6件】

- ・地方として身の丈に合った政策をしていくしかない。
- ・目標の達成に向けて一貫性のある行動をとってほしい。
- ・市役所のサービスや窓口対応などの改善に努めてほしい。
- ・他市町村との関係は必要であるが、あまり比較せず江南市独自の道を歩むべきである。

### 3 調査のまとめ

#### (1) 定住意識

本市を「住みやすい」と感じている市民は約 77%となっており、「今後も住み続けたい」と考えている市民は約 66%を占めています。

一方、「できれば市外に移りたい」、「市外に移る予定である」と考える市民が約 14%となっており、その理由として、「公共交通機関（電車・バス）が不便」が最も多く、次いで「買い物や娯楽を楽しめる環境ではない」、「仕事、学校、家族の都合でやむを得ない」、「道路・下水道などの都市基盤が遅れている」等を挙げています。

なお、この傾向は、年齢別では 20 歳代、職業別では契約社員・派遣社員に強くみられます。また、居住年数が短い人（1～10 年未満）に転出意向が高い傾向がみられます。

これは、若年層や居住年数の短い人に対する魅力が不足しており、近年のライフスタイルの変化に対応した生活環境を求めて、約 14%程度の市民が転出意向を示している状況にあると考えられます。

#### (2) 江南市の将来の姿について

##### ① 経済発展のあり方について

本市の経済発展のあり方については、30 歳代以上では「起業の促進や市外の事業所、商店などが進出しやすい環境整備や規制緩和により、市内に新たな雇用の場を確保することにより発展していく。」を挙げる割合が高くなっています。一方、10 歳代では、「名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなくなるような生活しやすい『住宅都市』として、発展していく。」を挙げる割合が 50%となっています。

全体としては、「起業の促進や事業所、商店などが進出しやすい環境整備や規制緩和により、市内に新たな雇用の場を確保することにより発展していく。」「名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなくなるような生活しやすい住宅都市として発展していく。」ともに約 3 割の回答割合となっていることから、住宅と産業のバランスが取れた市の将来像を探っていく必要があるものと考えられます。

##### ② 働き続けられる環境づくりのあり方について

本市の働き続けられる環境づくりのあり方については、女性は男性に比べ「事業所による就労環境向上への取組」を求める割合が多くなっています。

また、職業別では、パート・アルバイトや学生は、「事業所による就労環境向上への取組み」を求める割合が多く、契約社員・派遣社員においては、「行政による個人に対する支援（就労相談、職業紹介、経済支援など）」が、自営業・自由業や学生においては「行政による事業所に対する支援」を求める割合が多くなっています。

このことから、男女を問わず若者から高齢者まで幅広い年齢層の市民が多様な働き方ができるよう、年齢や職種に応じた就労支援の方法について検討する必要があるものと考えられます。

##### ③ 江南市の公共サービスのあり方について

今後の市の公共サービスのあり方については、全年代では、「負担維持・協働による公共サービス維持・向上」（税・公的保険料などの市民負担は増やさず、自分たちでできることは自分で行い、また互いに協力し合って地域に貢献することにより、公共サービス全体としての水準を維持・向上させる。）の

回答が約 43%と最も多くなっています。しかし、年代別にみると 10 歳代および 60 歳以上では前述の傾向にあります。20 歳代～50 歳代では、「負担維持・市のサービス一部減少」（税・公的保険料などの市民負担は増やさず、財源の制約内でメリハリのあるサービスを提供する。）を選択する割合が高く（約 41～45%程度）なっており、違いがみられます。

このことから、公共サービスのあり方については、年代により意向が異なることにも考慮しつつ、市民が互いに助け合う（共助）ことができる仕組みづくりを検討していくことが必要と考えられます。

#### ④ 江南市のまちづくりのあり方について

今後の江南市のまちづくりのあり方についての意向は、「生活機能の集約を図るとともに、各集落の拠点間を公共交通で連携したコンパクトなまちづくりを進めるべきである」が約 38%と最も多い一方で、「新たな開発等を進め市街地を拡大すべきである」が約 33%となっており、「コンパクトなまちづくり」と「市街地拡大」という相反する意見がそれぞれ 3 割以上ある状況です。

このことから、江南市の今後のまちづくりのあり方については、既に始まりつつある人口減少社会を踏まえ、市民参加のもと探っていく必要があると考えます。

#### ⑤ 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

今後の江南市のまちづくりの進め方、市民と行政の関係のあり方についての意向は、「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める」が約 57%で最も多く、次に多い「市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める」の約 27%の倍近い割合となっています。

このことから、市民と行政の協働によるまちづくりを前提とした将来像や仕組みを検討していく必要があると考えられます。

### （3）江南市の取り組みに関する満足度と重要度について

全体的な傾向として、「現状の満足度」と「今後の重要度」の関係をみると、満足度・重要度とも高い施策および満足度・重要度とも低い施策が多いことから、これまでに市が実施してきた施策の優先度は、市民のニーズと概ね一致していたものとうかがえます。

なお、今回の調査で「優先度」が高い施策（満足度が低く、重要度が高い施策）としては、「4:秩序あるまちなみの形成」、「6:安全な道路・歩行空間の整備」、「7:自転車通行環境の整備」、「31:災害への備え」、「41:公共交通の充実」、「45:公平・適正な課税・収納」の 6 つが挙げられています。

このうち、自転車や公共交通による移動利便性や安全性を高める施策が 3 つ含まれており、優先的に取り組んでいくことが望まれています。また、「45:公平・適正な課税・収納」についても優先度が高くなっていることから、税金の使われ方に関心が高いことがうかがえます。

### （4）個別施策について

#### ① シティプロモーションについて

江南市への愛着については、「どちらかと言えば愛着を持っている」が約 50%と最も多く、次いで「愛着を持っている」が約 20%となっており、合計すると約 70%が愛着を持っていることがうかがえます。

江南市の魅力については、「名古屋都心に近い」が最も多く約 51%、次いで「買い物に便利」が約 31%、「通勤・通学に便利」が約 29%の順となっています。また、市外の人に移住を勧めたいかについては、「勧めたいと思う」と「どちらかと言えば勧めたいと思う」の合計が約 43%となっており、「移住を勧めたい」という回答が「勧めたくない」を上回っている結果となっています。

このことから、市民は、名古屋都心に近く、通勤・通学や買い物に便利な江南市に愛着を感じており、市外の人にも移住を勧めたいという方が多くいることがうかがえます。

## ② 公共施設のあり方について

今後の公共施設のあり方について、最も多かったのは「負担維持・施設削減」の 59.4%で、次いで「負担増（利用者）・施設維持」の 18.9%、「負担減・施設削減」の 7.3%となっています。

公共施設の統廃合の検討対象施設について、最も多かったのは「稼働率や利用者の少ない施設」の 68.5%で、次いで「一部の人・団体などしか利用していない施設」の 59.1%、「老朽化している施設」の 47.4%となっています。

公共施設の更新・維持管理費用の財源確保に必要な施策については、「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計値で最も多いのは、「統合や複合化・多機能化、廃止して施設数を減らす」の 65.7%で、次いで「使用料を改正し、施設利用者から適正な使用料を徴収する」の 62.6%、「長寿命化対策により、少しでも長く使えるようにする」の 61.9%となっています。

## (5) 個別計画の中間見直しに関する調査

### ① 男女共同参画について

#### <「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について>

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、賛成意見が約 35%、反対意見が約 50%となっており、反対意見が賛成意見を上回っています。

#### <DV（ドメスティック・バイオレンス）の言葉の意味・内容に関する認識について>

DV（ドメスティック・バイオレンス）の言葉の意味・内容に関する認識については、「配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「DV（ドメスティック・バイオレンス）」と呼ぶこと」が最も多く認知されており、次いで「②DV には、なぐる、けるなど身体的暴力だけでなく、精神的、性的暴力も含まれること」、「③DV 被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されていること」の順となっています。

#### <生活上の重視することについて>

現実の生活では、「家庭生活を重視」と「仕事を重視」が双方約 50%程度で瀕差ですが、理想（希望）の生活では、「家庭生活を重視」が約 60%で、「仕事を重視」の約 19%より大きく上回っています。また、「地域、個人の生活を重視」が現実の生活の場合よりも割合が高くなっています。

#### <DV 相談窓口の認知度について>

DV 相談窓口の認知度は、「知っている」が約 49%、「知らない」が約 48%となっており、認知度は半数程度と低い状況となっています。

#### <江南市男女共同参画都市宣言の認知度について>

江南市男女共同参画都市宣言の認知度は、「知っている」が約 24%、「知らない」が約 73%となっており、認知度が低い状況となっています。

## ② 生涯学習について

### ＜生涯学習活動への参加頻度＞

生涯学習活動への参加頻度については、「参加しない」が約 66%と最も多い状況となっており、次いで、「年数回」が 13%、「週 1、2 回」が約 7%と低い状況となっています。今後の参加頻度向上に向けた取組が必要なことがうかがえます。

### ＜生涯学習活動で、よく利用する施設＞

生涯学習活動で、よく利用する施設は、最も多いのが「市民文化会館」の約 19%で、次いで「すいどぴあ江南」の 17%、「図書館」の約 15%の順となっています。

生涯学習活動の必要性については、「絶対に必要である」、「必要である」を合計すると過半数を超えています。

### ＜生涯学習活動の現状の満足度＞

生涯学習活動の現状の満足度については、「図書館・市民文化会館などの文化施設」が他施設に比べて最も大きくなっており、次いで「公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設」、「体育館・グラウンドなどの体育施設」の順となっています。

一方、不満足としているのは、「図書館・市民文化会館などの文化施設」が最も大きく、次いで「体育館・グラウンドなどの体育施設」、「公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設」の順となっており、満足度の高い上位 3 位とほぼ同様となっています。

### ＜生涯学習活動の今後の重要度＞

生涯学習活動の今後の重要度については、「図書館・市民文化会館などの文化施設の整備、充実」が、他施設に比べて最も大きくなっており、次いで「公民館・学習等供用施設・児童館などの身近な学習施設の整備、充実」、「体育館・グラウンドなどの体育施設の整備、充実」の順となっています。

一方、「あまり重要ではない」、「重要ではない」ものとしては、「学んだことを発表できる場の提供」が最も大きく、次いで「講座、講演会などの種類や数の充実」、「地域の財産を活用した身近な学習機会の充実」の順となっています。

## (6) 江南市を魅力的なまちにするためのアイデア等について

ご意見を、回答者全体の約 32%から回答を頂きました。市政への関心の高さがうかがえる結果となっています。寄せられた意見を分類すると、「開発・魅力づくり」、「施設整備」、「道路交通」に関する意見が多く、将来のまちづくりに対する市民の関心の高さ、期待の大きさがうかがえます。

**卷末資料：調查票**

---





## <第6次江南市総合計画の策定に向けた市民意向調査>

### 江南市のまちづくりについて

あなたのご意見をお聴かせください

#### 調査のお願い

皆様には、日ごろから市行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

江南市では、平成20年3月に「第5次江南市総合計画」を「江南市戦略計画」として策定し、これに基づいた計画的なまちづくりを進めてきました。この計画は平成29年度で目標年次を迎えることから、市では「第6次江南市総合計画」の策定に取り組んでいるところです。

策定に当たっては、広く市民の皆様のご意見をお聴きし、十分に反映しながら進めたいと考えております。その一環として、「江南市の現状と将来のあるべき姿」について、皆様のお考えをお聴きするため、市民意向調査を実施させていただくことといたしました。

なお、この調査では市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に3,000人を選ばせていただきました。回答の内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切なく、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成28年4月 江南市長 澤田 和延

#### ご回答にあたってのお願い

1. ご回答は、ご本人様（市民意向調査のあて名の方）がご記入ください。
2. 質問ごとに、回答欄にあてはまる番号をご記入ください。なお、ご回答の記入にあたって特に指示のある項目については、それに従ってお答えください。
3. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの用紙を入れていただき、**4月28日(木)**までに、郵便ポストへご投函ください。（※切手は不要です。）  
なお、市役所2階 市長政策室秘書政策課または各支所の窓口へお持ちいただいても結構です。
4. この調査についてご不明な点がありましたら、下記までご連絡をお願いします。

江南市役所 市長政策室 秘書政策課 企画政策グループ  
〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90 番地  
電話 0587-54-1111 (代表)  
FAX 0587-54-0800  
E-mail : seisaku@city.konan.lg.jp



ご協力  
お願いします!

はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

問1. 各設問について、あてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

(1) あなたの性別を教えてください。

回答欄

① 男性	② 女性
------	------

(2) あなたの年齢を教えてください。

回答欄

① 10歳代	② 20歳代	③ 30歳代
④ 40歳代	⑤ 50歳代	⑥ 60～64歳
⑦ 65～74歳	⑧ 75歳以上	

(3) お住まいの小校区を教えてください。不明な方は住所を記入してください。

回答欄

① 古知野東小校区	② 古知野西小校区	③ 古知野南小校区
④ 古知野北小校区	⑤ 布袋小校区	⑥ 布袋北小校区
⑦ 宮田小校区	⑧ 草井小校区	⑨ 藤里小校区
⑩ 門弟山小校区	⑪ 不明の場合の住所 ( 町 ) ※町名のみ	

(4) あなたを含めた同居家族の人数を教えてください。

回答欄

① 1人 (あなただけ)	② 2人	③ 3人
④ 4人	⑤ 5人以上	

(5) あなたと同居している方を教えてください。(複数回答可)

回答欄

※(4)で「①1人(あなただけ)」を選択した方は(6)へお進みください

① 就学前の子ども
② 小・中学生の子ども
③ ①②以外の18歳未満の子ども
④ 65歳～74歳の高齢者(あなた以外)
⑤ 75歳以上の高齢者(あなた以外)
⑥ その他(①～⑤のいずれにもあてはまらない方)

(6) あなたの主な職業または勤務形態を教えてください。あてはまるものがない場合は「⑧その他」を選択し、具体的に記述してください。

回答欄

① 正社員・役員等	② 契約社員・派遣社員	③ パート・アルバイト
④ 自営業・自由業	⑤ 専業主婦・主夫	⑥ 学生
⑦ 無職	⑧ その他(具体的に： )	

(7) 江南市にお住まいの期間について教えてください。

回答欄

① 生まれてからずっと江南市に住んでいる

**他市町村に住んだことがある場合は江南市での通算居住年数を以下からお選びください。**

② 1年未満

③ 1～5年未満

④ 5～10年未満

⑤ 10～15年未満

⑥ 15～20年未満

⑦ 20～25年未満

⑧ 25～30年未満

⑨ 30年以上

**居住に関する考えについておたずねします。**

問2. あなたにとって、江南市は住みやすいところですか。

次の中からあなたが感じている項目の番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

① 大変住みやすい

② どちらかといえば住みやすい

③ どちらかといえば住みにくい

④ 大変住みにくい

⑤ わからない

問3. あなたは今後も江南市に住み続けたいと思いますか。

次の中からあてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

① 今後も江南市に住み続けたい

⇒ 問5へお進みください

② できれば市外に移りたい

⇒ 問4へお進みください

③ 市外に移る予定である

⇒ 問4へお進みください

④ わからない

⇒ 問5へお進みください

問4. **問3で②または③を選んだ方におたずねします。**

市外に移りたい、または移る予定の理由について、次の中からあなたが、**最も感じているものを3つまで選び**、番号を右の回答欄に記入してください。①～⑯にあてはまるものがない場合は「⑰その他」を選択し、具体的に記述してください。

回答欄

① 仕事、学校、家族の都合でやむを得ない

② 買い物や娯楽を楽しめる環境でない

③ 通勤や通学に不便である

④ 商売や事業を行しやすい環境でない

⑤ 治安・防犯が心配である

⑥ 悪臭や騒音等により生活環境がよくない

⑦ 医療環境（病院や診療所）がよくない

⑧ 福祉サービス（高齢者や障害者）がよくない

⑨ 子育て環境（保育や教育）がよくない

⑩ 道路・下水道などの都市基盤整備が遅れている

⑪ 公園などの緑地が少ない

⑫ 公共交通機関（電車・バス）の利用が不便

⑬ 土地の価格が高く、満足する住宅用地の確保が難しい

⑭ 教養を深める場が少ない

⑮ 文化的な雰囲気が乏しい

⑯ 近所づきあいなどがわずらわしい

⑰ その他（具体的に：

）

今後の江南市のあり方についておたずねします。

問5. 江南市の経済発展のあり方について

江南市は、市外への通勤・通学者が多く、昼間人口が夜間人口に比べ少ないという特色があります。また、市内の産業経済は横ばいの状況にあり、納税義務者一人あたりの課税所得も減少傾向にあります。このような地域経済の縮小を克服し、地方創生に向けた地域の自立が求められています。

そこで、江南市が将来にわたり経済的に発展し、市民の皆様が豊かな生活を送るためには、どのような特色を打ち出して経済基盤を確保していくことが望ましいとお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。①～④にあてはまるものがない場合は「⑤その他」を選択し、お考えを具体的に記述してください。

回答欄

- ① 名古屋市や周辺都市で働く人が住みたくなるような生活しやすい『住宅都市』として、発展していく。
- ② 商業・工業など市内の既存の産業の活性化を図り、市内に雇用の場を確保することにより発展していく。
- ③ 起業の促進や市外の事業所、商店などが進出しやすい環境整備や規制緩和により、市内に新たな雇用の場を確保することにより発展していく。
- ④ 江南市の観光資源の魅力向上に努め、市外からの観光客等を増加させて活力を生み出し、観光都市として発展していく。
- ⑤ その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問6. 働き続けられる環境づくりのあり方について

ライフスタイルの多様化が進み、柔軟な働き方が求められ、子育て世代の働きやすさ、介護のための離職の防止、高齢者の活躍の場の確保などの環境整備の必要性が高まっています。

このような社会状況の中で、希望する人が働き続けられるようにするためには、どのような取り組みが必要だとお考えですか。

次の中から、働きたい（働き続けたい）希望を叶えるために、重要性が高いと思う取り組みを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。①～⑤にあてはまるものがない場合は「⑥その他」を選択し、お考えを具体的に記述してください。

回答欄

- ① 事業所による就労環境向上への取り組み
- ② 行政による事業所に対する支援（求人紹介、事業所の取り組みに対する補助など）
- ③ 行政による個人に対する支援（就労相談、職業紹介、経済支援など）
- ④ 行政による就労支援を行う民間団体（NPO<sup>注</sup>など）の育成支援
- ⑤ 特になし
- ⑥ その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

注：NPO とは、非営利で、不特定かつ多数の市民の利益の増進を目的として活動する団体をいいます。

## 問7. 江南市の公共サービスのあり方について

今後、人口減少・少子高齢化が一層進展する社会を迎えることになると、増加する高齢世代を、減少する若い世代で支えていくことが必要となります。このことは、「税や公的保険料<sup>注</sup>を負担する人が少なくなる一方で、税などでまかなわれる公共サービスを必要とする人が増える」ことを意味しております。

このような社会状況の中で、江南市においては、事務事業評価を毎年実施し恒常的な業務改善に努め、財政の健全化を図っておりますが、**今後の江南市の「公共サービスの水準と財政負担の関係」はどうあるべきとお考えですか。**

次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。①～④にあてはまるものがない場合は「⑤その他」を選択し、お考えを具体的に記述してください。

回答欄

- |  |                      |
|--|----------------------|
| <p>① 税・公的保険料などの市民負担を大きく増やして、市が提供するサービスを拡大する。<br/>【負担増・市のサービス拡大】</p> <p>② 税・公的保険料などの市民負担を増やして、市が提供するサービスを維持する。<br/>【負担微増・市のサービス維持】</p> <p>③ 税・公的保険料などの市民負担は増やさず、財源の制約内でメリハリのあるサービスを提供する。【負担維持・市のサービス一部減少】</p> <p>④ 税・公的保険料などの市民負担は増やさず、自分たちでできることは自分で行ない、また互いに協力し合って地域に貢献することにより、公共サービス全体としての水準を維持・向上させる。<br/>【負担維持・協働による公共サービス維持・向上】</p> <p>⑤ その他（具体的に： _____）</p> | <input type="text"/> |
|--|----------------------|

注：税や公的保険料とは、市民税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料などをいいます。

## 問8. 江南市のまちづくりのあり方について

人口減少社会を迎え、国からは、持続的な都市経営や、高齢者の生活環境・子育て環境の確保などのために、医療・福祉・商業等の生活機能を集約したコンパクトなまちづくりを進めることが重要という考え方が示されています。

今後、江南市においても人口減少・少子高齢化が進むことが見込まれますが、**市民の皆様が暮らしやすいまちにするためには、どのような方針でまちづくりを進めるべきだとお考えですか。**

次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。①～④にあてはまるものがない場合は「⑤その他」を選択し、お考えを具体的に記述してください。

回答欄

- |   |                      |
|---|----------------------|
| <p>① 生活機能の集約を図り、コンパクトなまちづくりを進める</p> <p>② 現状のまちのかたちを維持する</p> <p>③ 新たな開発等を進め市街地を拡大する</p> <p>④ どちらでもよい</p> <p>⑤ その他（具体的に： _____）</p> | <input type="text"/> |
|---|----------------------|

問9. 市民（地域）と行政との協働によるまちづくりについて

今後のまちづくりを進めていくための市民の活動や協働のあり方についておたずねします。

あてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

- (1) あなたは今後の江南市のまちづくりの進め方において、市民と行政の関係はどのようにあるべきだと思いますか。

回答欄

① 行政の支援を受けながら、市民主導でまちづくりを進める
② 市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める
③ 市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める
④ 行政が積極的に進めていく
⑤ その他（具体的に： _____）

- (2) あなたは、今後、市政やまちづくりの活動に参加したいと思いますか。

①～⑥のあてはまる番号を右の回答欄に記入後、指定のある設問へお進みください。

回答欄

① すでに参加している	}	⇒	(3)、(4)、(6)をお答えください
② 積極的に参加したい			
③ 機会があれば参加したい			
④ 参加したくない	}	⇒	(5)、(6)をお答えください
⑤ 関心がない			
⑥ わからない		⇒	(6)をお答えください

- (3) あなたは、どのような市政やまちづくり活動に参加していますか、または、参加しようと思いますか。

①～⑨にあてはまる活動がない場合は「⑩その他」に具体的に記述してください。（複数回答可）

回答欄

① 行政の計画づくりなどへの参加（審議会やワークショップなど）
② 区・町内会などのまちづくり活動
③ まちの美化・清掃活動・緑化などの活動
④ 子育て支援に関する活動
⑤ 子どもの健全育成に関する活動
⑥ 高齢者・障害者の生活支援等の福祉に関する活動
⑦ 文化・芸術・スポーツ活動
⑧ 環境の保全に関する活動
⑨ 国際交流に関する活動
⑩ その他（具体的に： _____）


(4) あなたは、市政やまちづくりの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。

①～⑦にあてはまる条件がない場合は「⑧その他」に具体的に記述してください。(複数回答可)

回答欄

① 自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	
② 趣味や特技を活かせる	
③ 簡単に参加できる	
④ 活動に必要な情報を得ることができる	
⑤ 家族や職場の理解が得られる	
⑥ 活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	
⑦ 活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	
⑧ その他 (具体的に : _____ )	


(5) 市政やまちづくりに参加したくない・関心がない理由は何ですか。

①～⑤にあてはまる理由がない場合は「⑥その他」に具体的に記述してください。

回答欄

① 仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない
② 市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない
③ 興味がある取り組みがない
④ 市政・まちづくりは行政にまかせている
⑤ 市政・まちづくりに対して不満や意見がない
⑥ その他 (具体的に : _____ )

--

(6) 市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、今後、行政においてどのような取り組みが必要だと思いますか。①～⑪にあてはまる項目がない場合は「⑫その他」に具体的に記述してください。

(3つまで選択可)

回答欄

① 行政情報の公開・提供の充実	② 自治会への加入の呼びかけ
③ 自治会や団体等への支援やまちづくりリーダーの育成	④ 交流スペースや会議場所の提供
⑤ 相談窓口の設置	⑥ 地域のまちづくり活動へのアドバイザーなどの専門家の派遣
⑦ 地域のまちづくり活動に対する補助金制度の拡充	⑧ 市民参加の意識啓発や参加機会の提供
⑨ 市の審議会・委員会などへの公募委員の拡充	⑩ 各種の市民活動に対する表彰制度などの創設
⑪ 地域の歴史、資源など、地域を知るための資料提供や勉強会などの開催	
⑫ その他 (具体的に : _____ )	


江南市の取り組みに関する満足度と重要度についておたずねします。

問 10. 江南市を豊かで暮らしやすいまちにするために、実現すべき江南市の理想的な姿を次のように整理しました。

あなたは、それぞれの項目について、現状にどのくらい満足し、今後の取り組みがどのくらい重要だとお考えですか。

項目ごとの現状の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに最も近い点数を「+2 ～ -2」の中からそれぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

現状の満足度・今後の重要度 (それぞれ1つを選択)		現状の満足度					今後の重要度					
		満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	
設問項目 (江南市の理想的な姿)												
記入例 →		+2	⊕1	0	-1	-2	+2	+1	0	⊖1	-2	
1. まちづくり分野												
(1)	日ごろから、省エネや再生エネルギーの導入などにより、環境に配慮して生活している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(2)	水質汚濁・騒音・悪臭など、公害のない快適な環境で生活している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(3)	市民、企業、行政などは、ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(4)	都市計画の推進により機能的で、安全で安心な美しいまちなみが形成されている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(5)	駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(6)	道路が整備され、人や車が安全に通行している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(7)	自転車のための交通基盤が整備され、安全で容易に市内の主要拠点へアクセスできる。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(8)	公園整備や緑化が進み、うるおいのある生活を送っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(9)	下水道や浄化槽が整備され、快適で衛生的な生活を送っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(10)	河川が整備され、浸水被害にあうことがなく、安心して暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	



設問項目 (江南市の理想的な姿)		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない
記入例 →		+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(11)	住宅環境が整備され、快適な生活が確保されている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(12)	安定的に安全な水道水が供給され、安心して水を利用（飲用）している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
2. ひとつくり分野											
(13)	高齢の方が、必要な福祉・介護サービスを受けることができ、安心して暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(14)	高齢の方が、生きがいをもち、自立して暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(15)	子育て家庭が、延長保育など様々な保育サービスが受けられ、安心して子育てしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(16)	学童保育や子育ての相談・育児教室などの支援が受けられ、楽しく子育てしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(17)	地域協働による学校運営の下、子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、学力・体力、社会性が身についている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(18)	地域で防犯パトロールが行われるなど、児童・生徒が安心して安全に登下校している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(19)	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、子どもたちが学習している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(20)	豊かな知識や技能を学ぶ生涯学習の環境が整っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(21)	図書館が活発に利用され、教養を深める場として活用されている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(22)	日ごろから身近にスポーツ・レクリエーションに親しむことができる。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(23)	男女に関わりなく、社会参加し、その個性・能力を發揮した生活を送っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2
(24)	芸術文化活動や地域に住む外国人との交流が、市民レベルで活発に行われている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2

現状の満足度・今後の重要度 (それぞれ1つを選択)		現状の満足度					今後の重要度						
		満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない		
設問項目 (江南市の理想的な姿)													
記入例 →		+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
3. しごとづくり分野													
(25)	魅力ある商店街が形成され、便利に買い物をしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(26)	創業・起業や企業誘致が進み、産業が活性化し、地元での雇用が増加している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(27)	地場産業を中心に産業が活性化し、地元での雇用が確保されている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(28)	効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(29)	江南市の魅力を広く発信し、多くの観光客でにぎわっている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
4. ちいきづくり分野													
(30)	災害時には、地域の特色に応じた自主的な防災組織の活動により各地域においてお互いに助け合っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(31)	住宅の耐震診断の実施や非常持ち出し袋・食料品などを準備し災害に備えている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(32)	防犯パトロールなど、地域ぐるみで犯罪の防止に取り組み、安全な生活を送っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(33)	火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(34)	福祉サービスが整っており、障害のある方が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域で生き生きと生活している。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(35)	心身の状況に応じたサービスが利用できるよう、福祉サービスの紹介など、相談支援体制が整っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(36)	健康づくりの取り組みがされ、健康に暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		
(37)	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2		

現状の満足度・今後の重要度 (それぞれ1つを選択)		現状の満足度					今後の重要度					
		満足している	一応満足している	どちらとも言えない	やや不満足である	不満足である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	
設問項目 (江南市の理想的な姿)												
記入例 →		+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(38)	国民健康保険などの社会保障制度により、病気にかかっても安心して暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
5. 行政分野												
(39)	身近なところで、生活上の相談ができ、安心・快適に暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(40)	迅速かつ適切に、行政サービスを受けることができる。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(41)	誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(42)	NPO <sup>注</sup> や町内会などの市民活動が活発で、市と協力し合ってまちづくりを行っている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(43)	行政情報や地域情報がわかりやすく提供されており、市民の意向が行政に反映されている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(44)	市民ニーズ（需要）に応じた、計画的で効率的な行財政運営が行われている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(45)	税金のしくみがわかりやすく、税が公平・適正に使われていると感じている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	
(46)	議会情報がわかりやすく公開されている。	+2	+1	0	-1	-2	+2	+1	0	-1	-2	

注：NPO とは、非営利で、不特定かつ多数の市民の利益の増進を目的として活動する団体をいいます。

個別の施策についておたずねします。

問 11. シティプロモーション<sup>注</sup>について

人口減少を抑制し地域の活性化につなげるためには、交流・定住人口の維持拡大を図る必要があります。そのための方法の1つとして地域のイメージを向上させ、市外から人や企業を呼び込む仕掛けとしてシティプロモーション<sup>注</sup>の推進を図ることが必要と考えています。江南市におけるシティプロモーション<sup>注</sup>の取り組みの参考とするため、次の(1)～(6)の項目について、あなたのお考えをお聞かせください。

注：シティプロモーションとは地域再生、観光振興、市民協働など様々な概念が含まれ、捉え方は多々ありますが、この調査では、「江南市に住む地域住民の愛着度の形成と、地域の売り込みや江南市の知名度の向上」と定義します。

(1) あなたは江南市に愛着を持っていますか。

次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。

① 愛着を持っている    ② どちらかと言えば愛着を持っている ③ どちらかと言えば愛着を持っていない                                ④ 愛着を持っていない ⑤ わからない	回答欄	
---	-----	--

(2) あなたは江南市のどんなところに魅力を感じますか

次の中から、あなたが魅力を感じるもの全てについて回答欄に「○」を記入してください。①～⑳にあてはまるものがない場合は「㉠その他」を選択し、具体的に記述してください。また、魅力を感じるものがない場合は「㉡魅力を感じるものがない」に「○」を記入してください。

項目	回答	項目	回答
① 歴史		② 自然	
③ 特産品		④ 祭り・イベント	
⑤ 災害に強い		⑥ 犯罪が少ない	
⑦ 名古屋都心に近い		⑧ 通勤・通学に便利	
⑨ 買い物に便利		⑩ 道路が整備されている	
⑪ 下水道が整備されている		⑫ 公園が整備されている	
⑬ 医療・保健施設のサービスの充実		⑭ 子育て施設のサービスの充実	
⑮ 教育施設の充実		⑯ 高齢者・障害者施設のサービスの充実	
⑰ その他の公共施設のサービスの充実		⑱ 人柄が良い	
⑲ 近所づきあいが良い		⑳ 江南市マスコットキャラクター-藤花ちゃん	
㉠ その他（具体的に：    )		㉡ 魅力を感じるものがない	

(3) あなたは市外の方に江南市での暮らし（定住）を勧めたいと思いますか。

次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。

① 勧めたいと思う    ② どちらかと言えば勧めたいと思う ③ どちらかと言えば勧めたいと思わない                                      ④ 勧めたいと思わない ⑤ わからない	回答欄	
---	-----	--

(4) あなたはインターネットを利用する際に、どんな情報端末をよく利用しますか。

次の中から、よく利用する情報端末全てについて回答欄に「○」を記入してください。①～⑦にあてはまるものがない場合は「⑧その他」を選択し、具体的に記述してください。また、インターネットを利用していない場合は「⑨利用していない」に「○」を記入してください。

項目	回答	項目	回答
① 自宅のパソコン		② 自宅以外のパソコン	
③ スマートフォン		④ タブレット型端末	
⑤ 携帯電話またはPHS		⑥ インターネットに接続できるテレビ	
⑦ 家庭用ゲーム機		⑧ その他 ( )	
⑨ 利用していない			

(5) あなたがよく利用するSNS<sup>注</sup>（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は何ですか。

次の中から、よく利用するSNS<sup>注</sup>全てについて回答欄に「○」を記入してください。①～⑦にあてはまるものがない場合は「⑧その他」を選択し、具体的に記述してください。また、SNS<sup>注</sup>を利用していない場合は「⑨利用していない」に「○」を記入してください。

項目	回答	項目	回答
① LINE（ライン）		② Twitter（ツイッター）	
③ Facebook（フェイスブック）		④ instagram（インスタグラム）	
⑤ mixi（ミクシィ）		⑥ Google+（グーグルプラス）	
⑦ YouTube（ユーチューブ）		⑧ その他 ( )	
⑨ 利用していない			

注：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）とは、[インターネット](#)上の交流を通して[社会的ネットワーク](#)を構築するサービスのことをいいます。

(6) 江南市では以下の4つの広報媒体を利用して市政情報やイベント情報等を発信しています。

あなたの各広報媒体に対する認知度と利用度に関して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

認知度・利用度 (それぞれ1つを選択)	認知度		利用度			
	知っている	知らない	よく見る	時々見る	あまり見ない	全く見ない
広報媒体						
記入例 →	①	2	1	②	3	4
① 広報こうなん	1	2	1	2	3	4
② 市ホームページ	1	2	1	2	3	4
③ 市Facebook（フェイスブック）	1	2	1	2	3	4
④ 市Twitter（ツイッター）	1	2	1	2	3	4

問 12. 公共施設のあり方について

市の公共施設の多くは昭和 40～50 年代に建設され、概ね 10 年後には多くの公共施設の更新時期を迎えます。その際の更新費用は市の財政を圧迫する要因になると想定されます。人口減少が見込まれる江南市において、今後の公共施設のあり方について、次の(1)～(3)の項目について、あなたのお考えをお聞かせください。

(1) あなたは、今後の公共施設のあり方についてどのようにお考えですか。

次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。①～④にあてはまるものがない場合は「⑤その他」を選択し、お考えを具体的に記述してください。

回答欄

- |  |   |
|--|---|
| <p>① 現在ある施設数では足りないため、他の行政サービスを廃止したり、市民全体で広く負担することによって、施設数の増加や充実を図るべきである。<br/>【負担増（市民全体）・施設増加】</p> <p>② 現在ある施設は必要なため、使用料の値上げなどの利用者負担の増やサービス水準を下げてでも、施設の現状維持を優先すべきである。<br/>【負担増（利用者）・施設維持】</p> <p>③ 現在ある施設の必要性を検証し、新たな負担は求めず、人口や税収の規模に見合った量まで、統廃合や複合化して施設を削減するべきである。<br/>【負担維持・施設削減】</p> <p>④ 公共施設の維持に係る市民負担を減らすために、極力、施設の削減を進めるべきである。<br/>【負担減・施設削減】</p> <p>⑤ その他（具体的に： _____ )</p> | <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto;"></div> |
|--|---|

(2) 今後、今ある公共施設を全て維持していくことが困難になった場合、公共施設の統廃合を検討する際に、どのような施設を統廃合の対象施設とするのが妥当だと考えますか。

次の中から、統廃合を検討すべき施設と考える全ての項目について回答欄に「○」を記入してください。①～⑦にあてはまるものがない場合は「⑧その他」を選択し、具体的に記述してください。（複数回答可）

項目	回答欄
① 稼働率や利用者の少ない施設	
② 他の施設（近隣市町の施設を含む）と機能や用途が重複している施設	
③ 一部の人・団体などしか利用していない施設	
④ 公共性が低い（民間でもサービスが提供されている）施設	
⑤ 老朽化している施設	
⑥ 維持管理や運営にかかる費用が高い施設	
⑦ 交通の便が悪い施設	
⑧ その他（具体的に： _____ )	

(3) 今後も公共施設を確保していくためには、更新・維持管理費用の財源を確保していかなければなりません。そのための以下の①～⑨の施策について、あなたの考えに最も近い選択肢をそれぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。また、以下の施策以外に有効だと思われる施策がある場合は「⑩その他」の欄に具体的に記述してください。

施策一覧	施策の実施意向 (1つ選択)	積極的に実施すべき	実施すべきでない どちらかといえば 実施すべき	実施すべきではない どちらかといえば 実施すべき	わからない	
	記入例 →	1	②	3	4	5
① 統合や複合化・多機能化、廃止して施設数を減らす		1	2	3	4	5
② 近隣自治体と共同で施設を建設・運営する		1	2	3	4	5
③ 施設の建替えや管理運営に民間を活用する		1	2	3	4	5
④ 施設の管理・運営を地域のコミュニティにまかせる		1	2	3	4	5
⑤ 長寿命化対策により、少しでも長く使えるようにする		1	2	3	4	5
⑥ 民間施設の利用に対して助成する		1	2	3	4	5
⑦ 施設におけるサービスの水準を引き下げる		1	2	3	4	5
⑧ 使用料を改正し、施設利用者から適正な使用料を徴収する		1	2	3	4	5
⑨ 市税から基金を積み立て、市民全体で負担する		1	2	3	4	5
⑩ その他（具体的に： _____ )						

**アンケートは、あともう少しです。**

**ご協力よろしくお願いします。**



個別計画の中間見直しのための調査にご協力ください。

平成 24 年度から平成 33 年度の 10 年間で計画期間としている「第 2 次こうなん男女共同参画プラン」と「第 2 次江南市生涯学習基本計画」の 2 つの計画の中間見直しのために、次の調査にご協力をお願いします。

問 13. 男女共同参画について

- (1) あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを 1 つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。

① 賛成	② どちらかといえば賛成
③ どちらかといえば反対	④ 反対
⑤ わからない	

回答欄

- (2) あなたは生活する上でどのようなことを重視していますか。「A 現実の生活」と「B 理想（希望）の生活」のそれぞれにおいて、①～③の項目について重視する項目全てに○印をつけてください。また、重視する項目がわからない場合は「④ わからない」に○印をつけてください。

生活の上で重視する項目	回答欄	
	A 現実の生活	B 理想（希望）の生活
① 「仕事」を重視		
② 「家庭生活」を重視		
③ 「地域、個人の生活」を重視		
④ わからない		

- (3) あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）に関する次のことについて知っていますか。知っているものすべてに○印をつけてください。

項目	回答欄
① 配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「DV（ドメスティック・バイオレンス）」と呼ぶこと	
② DV には、なぐる、けるなど身体的暴力だけでなく、精神的、性的暴力も含まれること	
③ DV 被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されていること	
④ 公的機関において、相談や被害者の一時保護を行っていること	
⑤ DV を受けている人を発見した人は、公的機関などの相談窓口または警察に通報するよう努めなければならないこと	
⑥ 知らない	

- (4) あなたは、DV について相談できる窓口があることを知っていますか。あてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

① 知っている	② 知らない
---------	--------

回答欄

- (5) あなたは、江南市が平成 22 年 2 月 20 日に江南市男女共同参画都市宣言を行っていることを知っていますか。あてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

① 知っている	② 知らない
---------	--------

回答欄



問 14. 生涯学習について

(1) あなたは、生活上の課題解決方法を学ぶことや、趣味を生かした文化活動、レクリエーションを行う生涯学習活動に、どの程度参加していますか。あてはまる番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

① ほとんど毎日	② 週の半分	③ 週1、2回
④ 月2、3回	⑤ 月1回	⑥ 年数回
⑦ 参加しない		

(2) あなたが生涯学習活動を行うときに、どの施設をよく利用しますか。利用頻度の高い施設を3つまで選んで○をつけてください。①～⑭にあてはまる施設がない場合は「⑮その他」を選択し、施設名を記述してください。また、利用がない場合は⑯を選択してください。

施設	回答欄	施設	回答欄
① 市民文化会館		② 歴史民俗資料館	
③ 市民体育会館		④ 武道館	
⑤ 図書館		⑥ 中央コミュニティ・センター、老人福祉センター	
⑦ すいとぴあ江南		⑧ 保健センター	
⑨ 地域情報センター		⑩ 学習等供用施設	
⑪ 布袋ふれあい会館		⑫ 小中学校（学校開放等による）	
⑬ グランド		⑭ 市立公民館	
⑮ その他（                                      ）		⑯ 生涯学習活動を行っていないので利用していない	

(3) あなたは、一般的に、生涯学習活動の必要性についてどのように思いますか。

次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、番号を右の回答欄に記入してください。

回答欄

① 絶対に必要である	② 必要である
③ どちらともいえない	④ あまり必要ではない
⑤ 全く必要でない	⑥ わからない



最後に、江南市を魅力的なまちにするためのアイデア等がありましたらお聴かせください。

問 15. 将来、よりよい江南市にするために、ご意見・ご提案がありましたら、お聴かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた回答用紙は、同封した返信用封筒に入れ、**4月28日(木)までに**郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。(切手は不要です。)

なお、市役所2階市長政策室秘書政策課または各支所の窓口へお持ちいただいても結構です。

